

平成16年の犯罪情勢

平成17年6月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪二関スル件」、「暴力行為等処罰二関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分二関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯.....殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯.....暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯.....窃盗

知能犯.....詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯.....賭博、わいせつ

その他の刑法犯.....公務執行妨害、住居侵入、逮捕・監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で事件を送致・送付又は微罪処分をした件数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分率で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは20歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは14歳以上20歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(9) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳以上20歳未満の少年の検挙人員をいう。

(10) 犯罪手口の名称変更

平成16年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(11) 発生場所

ア 「共同住宅（4階建以上）」とは、中高層（4階建以上）住宅とし、「共同住宅（3階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成15年は、デパート、スーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、深夜飲食店、その他の飲食店（平成15年は、景品交換所の区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下道路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、駐車（輪）場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭とした（平成7年以前は、道路上、駐車（輪）場、広場、新幹線内、その他の列車内、航空機内、船舶内、バス内及びその他の自動車内とした。）

コ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法第1条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第82条の2の専修学校及び同法第83条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

サ 「都市公園」とは、都市公園法第2条に規定する公園及び緑地で、同法第2条の2の規定に基づき設置されたものをいう。

(12) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(13) 暴力団構成員等

暴力団構成員等には、暴力団構成員のほか、準構成員を含む。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成16年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

- 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 刑法犯の包括罪種別認知状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第 2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

- 1 街頭犯罪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 路上強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (2) ひったくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (3) 街頭における強姦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (4) 街頭における強制わいせつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (5) 街頭における略取・誘拐・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (6) 街頭における暴行・傷害・恐喝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (7) 自動車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - (8) オートバイ盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - (9) 自転車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (10) 車上ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (11) 部品ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - (12) 自動販売機ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 2 侵入犯罪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
 - (1) 侵入強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
 - (2) 侵入窃盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
 - (3) 住居侵入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

第 3 振り込め詐欺の特徴的傾向

- 1 詐欺の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 2 振り込め詐欺（恐喝）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
 - (1) いわゆるオレオレ詐欺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
 - (2) 誘拐等を偽装した恐喝（いわゆるオレオレ恐喝）・・・・・・ 45
 - (3) 架空請求詐欺（恐喝）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
 - (4) 融資保証金詐欺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

第4 刑法犯の現況

1 重要犯罪	5 1
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	5 1
(2) 殺人事件の状況	5 2
ア 捜査本部設置事件の状況	5 3
イ 通り魔殺人事件	5 4
ウ 保険金目的殺人事件	5 5
(3) 強盗事件の状況	5 5
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	5 7
イ サラリーマン金融対象強盗事件	5 9
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	6 0
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	6 1
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	6 2
カ 現金輸送車対象強盗事件	6 3
キ タクシー対象強盗事件	6 3
(4) 主な性犯罪の状況	6 5
(5) 略取・誘拐事件の状況	6 7
2 重要窃盗犯	7 0
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	7 0
(2) 組織窃盗事件の状況	7 1
(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件	7 2
3 特殊事件・事故	7 3
(1) 人質立てこもり事件	7 3
(2) 業務上過失事件・事故	7 3
4 構造的な不正事案等	7 5
(1) 政治的・構造的な不正事案	7 5
ア 贈収賄事件	7 5
イ 談合・競売入札妨害事件	7 6
ウ 公職選挙法違反事件	7 6
エ 公務員犯罪	7 9
(2) 金融・不良債権関連事犯及び企業犯罪	7 9
ア 金融・不良債権関連事犯	7 9
イ 企業犯罪	8 1

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪	8 2
ア 通貨偽造犯罪	8 2
イ その他の知能犯罪	8 3
5 風俗犯の認知・検挙状況	8 4
(1) 強制わいせつの認知・検挙状況	8 4
(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	8 4
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	8 4
(4) 賭博の認知・検挙状況	8 5
6 その他の特徴的な犯罪	8 7
(1) 薬物常用者による犯罪	8 7
(2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	8 8
(3) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	9 0
ア カードの窃盗被害の状況	9 0
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	9 0
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	9 1
7 少年による犯罪	9 3
(1) 少年の刑法犯検挙状況	9 3
(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	9 4
(3) 触法少年の補導状況	9 5
8 来日外国人による犯罪	9 6
(1) 刑法犯の検挙状況	9 6
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	9 6
(3) 凶悪犯の検挙状況	9 7
(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	9 8
(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	9 9
9 暴力団による犯罪	1 0 0
(1) 暴力団構成員等の状況	1 0 0
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	1 0 0
10 被疑者の国外逃亡	1 0 2
(1) 国外逃亡被疑者数	1 0 2
(2) 罪種別の国外逃亡被疑者数	1 0 2
(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者数	1 0 3
(4) 推定逃亡先国（地域）別の国外逃亡被疑者数	1 0 3
(5) 犯行日から出国までの期間別の国外逃亡被疑者数	1 0 4

11	女性・子どもを被害者とする犯罪	105
(1)	女性を被害者とする犯罪	105
ア	女性の犯罪被害の状況	105
イ	年齢層別の犯罪被害の状況	107
ウ	場所別被害の発生状況	107
エ	配偶者による暴力事件	108
(2)	子どもを被害者とする犯罪	109
ア	子どもの犯罪被害の状況	109
イ	就学別の犯罪被害の状況	110
ウ	場所別被害の発生状況	111

第5 資料

1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	115
2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	116
3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	118
4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	120
5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	122
6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	124
7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	124
8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	126
9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	126
10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	128
11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	128
12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	130
13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	130
14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	132
15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	132
16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	134
17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	136
18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	138
19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	140
20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	142

第1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

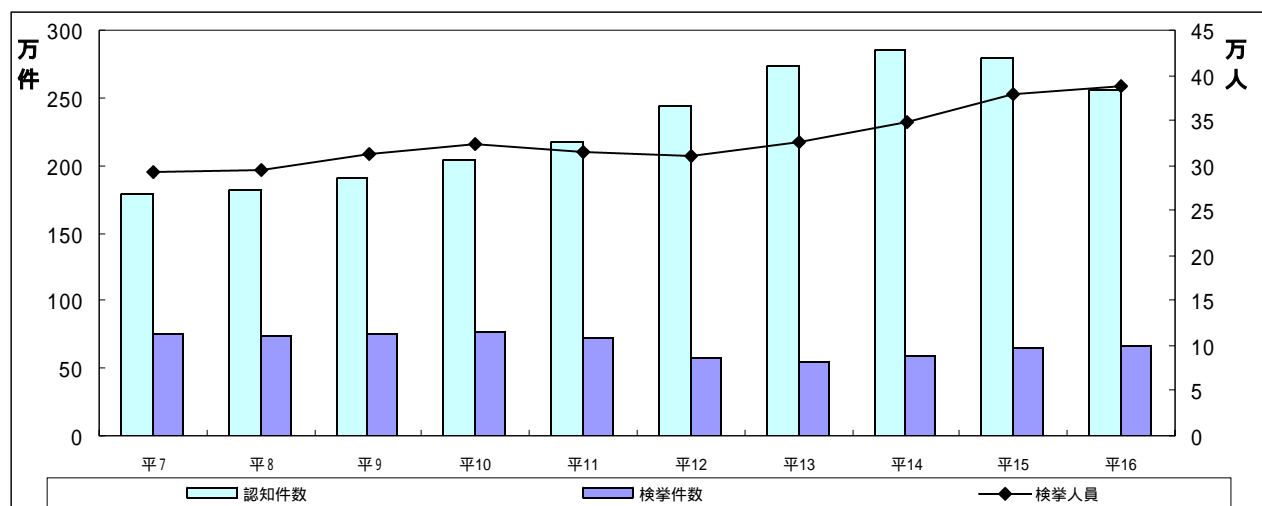
刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年には279万136件で、前年に比べ6万3,603件(2.2%)減少し、平成16年は256万2,767件で、前年に比べ22万7,369件(8.1%)減少するなど、刑法犯認知件数の増加傾向に歯止めが掛かっている。

検挙件数は、平成11年以降減少していたが、平成14年以降増加に転じ、平成16年は66万7,620件で、前年に比べ1万9,301件(3.0%)増加している。

検挙人員は、ここ10年、30万人前後で推移し、平成13年以降毎年増加しており、平成16年は38万9,027人で、前年に比べ9,425人(2.5%)増加している。

検挙率は、平成7年以降減少傾向にあったが、平成14年以降増加に転じ、平成16年は26.1%で、前年に比べ2.9ポイント上昇している(図表1-1)。

図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	-227,369	-8.1
検挙件数		753,174	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	19,301	3.0
検挙人員		293,252	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	9,425	2.5
うち少年		126,249	133,581	152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	-9,557	-6.6
	(割合%)	43.1	45.2	48.7	48.5	44.9	42.7	42.6	40.8	38.0	34.7	-3.3	-
うち来日外国人		6,527	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	173	2.0
	(割合%)	2.2	2.0	1.7	1.7	1.9	2.0	2.2	2.2	2.3	2.3	0.0	-
うち暴力団構成員等		18,896	18,779	18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	-793	-3.9
	(割合%)	6.4	6.4	5.9	6.2	6.2	6.4	6.0	5.9	5.3	5.0	-0.3	-
検挙率		42.2	40.6	40.0	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2	26.1	2.9ポイント	

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知状況の推移

平成16年の刑法犯認知件数を包括罪種別に見ると、凶悪犯が1万3,064件で前年に比べ594件(4.3%)減少、粗暴犯は7万6,616件で前年に比べ2,143件(2.7%)減少、窃盗犯は198万1,574件で前年に比べ25万4,270件(11.4%)減少、知能犯は9万9,258件で前年に比べ2万4,504件(32.8%)増加、風俗犯は1万2,346件で前年に比べ688件(5.3%)減少している。

平成16年の刑法犯認知件数は平成7年に比べ1.4倍となっており、その内、粗暴犯は2.1倍、風俗犯は2.0倍、凶悪犯は1.9倍、知能犯は1.7倍、窃盗犯は1.3倍となっている(図表1-2)。

図表1-2 包括罪種別の認知状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
刑法犯総数		1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	-227,369	-8.1
(指数)		100	102	107	114	121	137	153	160	156	144	-	-
凶悪犯		6,768	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	13,064	-594	-4.3
(指数)		100	104	114	122	134	156	177	186	202	193	-	-
粗暴犯		35,860	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	76,616	-2,143	-2.7
(指数)		100	105	113	116	122	180	203	214	220	214	-	-
窃盗犯		1,570,492	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	-254,270	-11.4
(指数)		100	101	106	114	122	136	149	151	142	126	-	-
知能犯		56,928	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754	99,258	24,504	32.8
(指数)		100	107	108	104	94	97	93	110	131	174	-	-
風俗犯		6,157	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034	12,346	-688	-5.3
(指数)		100	105	110	109	121	159	192	198	212	201	-	-
その他の刑法犯		106,739	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087	379,909	5,822	1.6
(指数)		100	104	110	120	132	161	230	292	350	356	-	-

注：指数は、平成7年を100とした場合の値である。

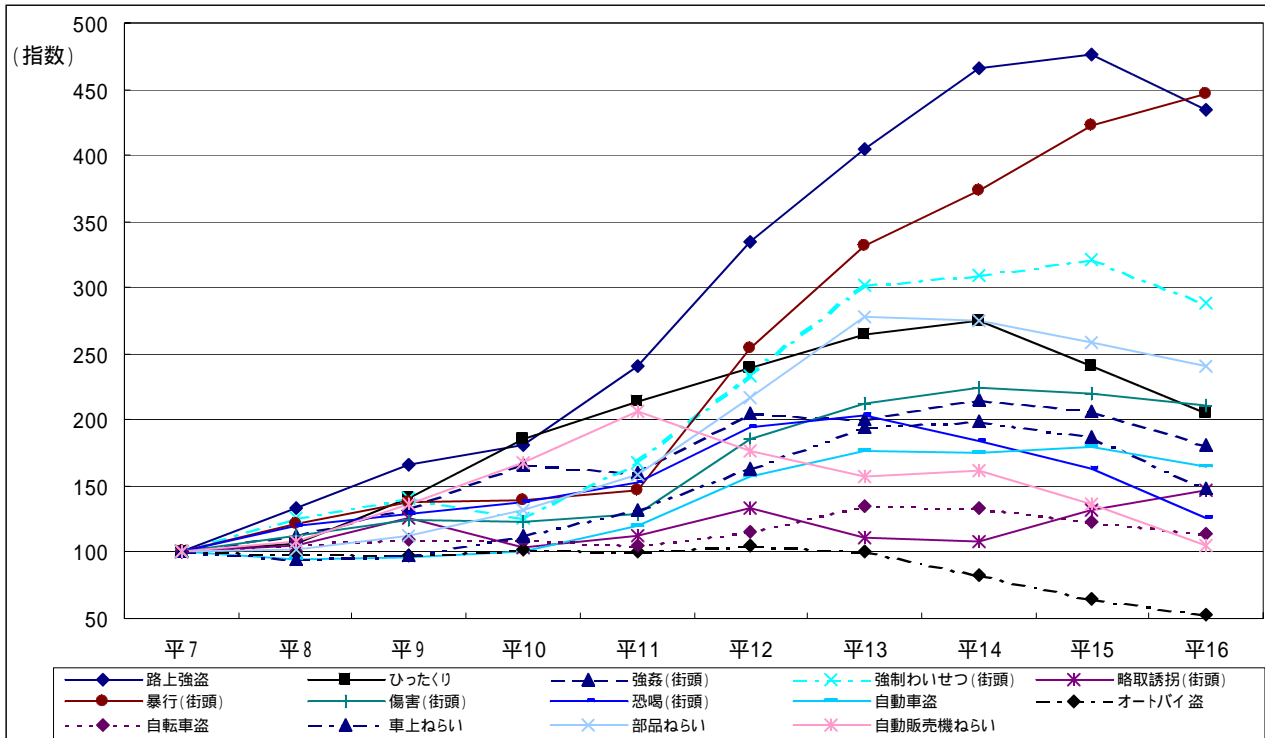
第2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

(余白)

1 街頭犯罪

平成16年の主な街頭犯罪の認知件数は前年に比べ、街頭における略取・誘拐及び街頭における暴行を除き減少している。特に、車上ねらい、自動販売機ねらい、自転車盗、自動二輪車・原動機付自転車を対象とする窃盗（以下「オートバイ盗」という。）及びひったくりは大幅に減少している（図表2-1）。

図表2-1 街頭犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
路上強盗	620	826	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,695	260	-8.8
(指数)	100	133	167	180	241	334	405	466	477	435	435	-	-
ひったくり	19,220	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	39,399	-6,955	-15.0
(指数)	100	107	140	186	214	240	265	275	241	205	205	-	-
強姦(街頭)	403	454	535	668	648	825	806	869	832	732	732	-100	-12.0
(指数)	100	113	133	166	161	205	200	216	206	182	182	-	-
強制わいせつ(街頭)	1,914	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,510	-635	-10.3
(指数)	100	125	140	125	167	234	302	309	321	288	288	-	-
略取誘拐(街頭)	161	170	202	166	181	216	179	175	213	237	237	24	11.3
(指数)	100	106	125	103	112	134	111	109	132	147	147	-	-
暴行(街頭)	3,429	4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	15,319	842	5.8
(指数)	100	122	138	140	147	255	331	374	422	447	447	-	-
傷害(街頭)	9,111	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	19,218	-880	-4.4
(指数)	100	113	124	122	128	186	213	225	221	211	211	-	-
恐喝(街頭)	6,805	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	8,534	-2,555	-23.0
(指数)	100	120	129	137	153	194	204	184	163	125	125	-	-
自動車盗	35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	58,737	-5,486	-8.5
(指数)	100	94	97	100	121	157	177	175	180	164	164	-	-
オートバイ盗	241,509	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	126,717	-28,262	-18.2
(指数)	100	100	97	102	101	105	100	82	64	52	52	-	-
自転車盗	387,269	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	444,268	-32,321	-6.8
(指数)	100	107	110	109	105	115	135	133	123	115	115	-	-
車上ねらい	222,473	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	328,921	-85,898	-20.7
(指数)	100	94	98	113	132	163	194	199	186	148	148	-	-
部品ねらい	46,629	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	112,161	-8,565	-7.1
(指数)	100	102	113	131	158	217	277	276	259	241	241	-	-
自動販売機ねらい	108,075	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	112,965	-34,913	-23.6
(指数)	100	108	136	168	206	176	158	162	137	105	105	-	-

注：指数は、平成7年を100とした場合の値である。

(1) 路上強盗

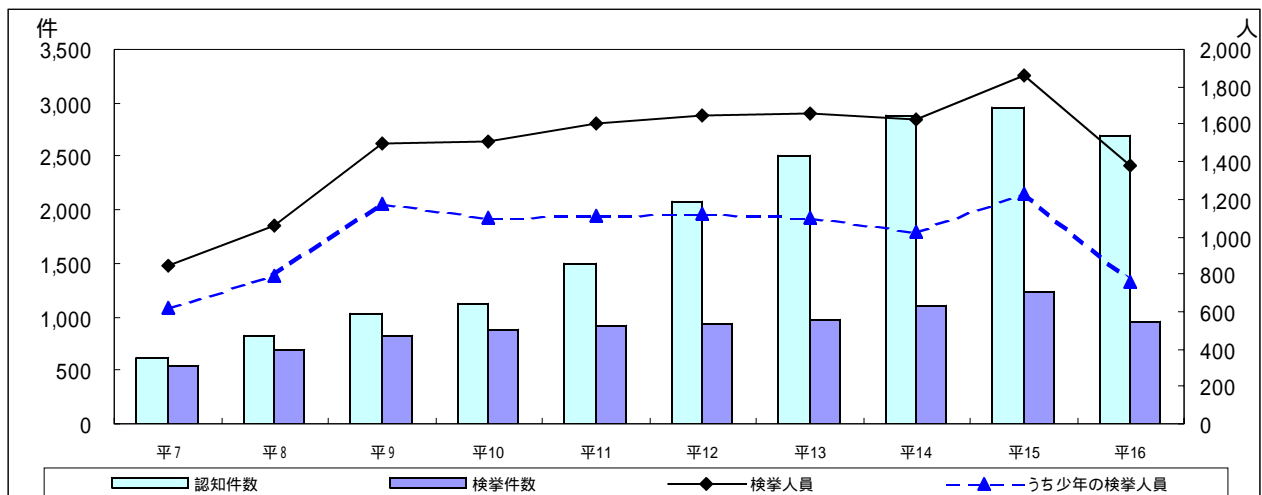
路上強盗の認知件数は、平成8年以降一貫して増加し、平成15年には平成7年の4.8倍となったが、平成16年は2,695件で、前年に比べ260件（8.8%）減少している。

検挙件数、検挙人員は、ここ10年、ほぼ増加していたが、平成16年の検挙件数は955件で、前年に比べ271件（22.1%）減少し、検挙人員は1,377人で、前年に比べ488人（26.2%）減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は、平成9年には78.7%を占めていたが、年々減少し、平成16年は763人で、検挙人員全体の55.4%（前年に比べ10.4ポイント減少）となっている（図表2-1-(1)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害者は20歳代の男性が最も多い（図表2-1-(1)-2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、その他・該当なしを除くと自動車を利用したものが最も多い（図表2-1-(1)-5、6）。

図表2-1-(1)-1 路上強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件(人)	件(人)	率(%)	件(人)	率(%)	件(人)	率(%)	件(人)	率(%)	件(人)	率(%)	件(人)
認知件数		620	826	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	-260	-8.8
うち未遂		34	47	63	69	84	96	126	154	186	155	-31	-16.7
検挙件数		544	684	824	873	925	930	968	1,104	1,226	955	-271	-22.1
検挙人員		850	1,058	1,497	1,503	1,609	1,645	1,658	1,631	1,865	1,377	-488	-26.2
うち少年		615	791	1,178	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027	1,227	763	-464	-37.8
(割合%)		72.4	74.8	78.7	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0	65.8	55.4	-10.4	-
検挙率		87.7	82.8	79.7	78.0	61.9	44.9	38.6	38.2	41.5	35.4	-6.1	ポイント

図表 2 - 1 - (1) - 2 路上強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,955	100.0	2,695	100.0	-260	-8.8
街頭		2,864	96.9	2,591	96.1	-273	-9.5
道路上		2,468	83.5	2,238	83.0	-230	-9.3
駐車(輪)場		283	9.6	259	9.6	-24	-8.5
都市公園		73	2.5	62	2.3	-11	-15.1
空き地		11	0.4	14	0.5	3	27.3
公共交通機関等		16	0.5	12	0.4	-4	-25.0
その他の交通機関		4	0.1	2	0.1	-2	-50.0
その他の街頭		9	0.3	4	0.1	-5	-55.6
その他		91	3.1	104	3.9	13	14.3

図表 2 - 1 - (1) - 3 路上強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
		平15	650	364	187	61	53	70	71	77	125	245	423	626	
平16		567	378	173	50	48	56	53	75	95	233	365	602	0	2,695
(割合%)		21.0	14.0	6.4	1.9	1.8	2.1	2.0	2.8	3.5	8.6	13.5	22.3	0.0	100.0
増減	件数	-83	14	-14	-11	-5	-14	-18	-2	-30	-12	-58	-24	-3	-260
率(%)		-12.8	3.8	-7.5	-18.0	-9.4	-20.0	-25.4	-2.6	-24.0	-4.9	-13.7	-3.8	-100.0	-8.8

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 4 路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成16年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	2,693	495	967	389	249	294	299
男性	1,621	333	580	248	166	184	110
(割合%)	60.2	12.4	21.5	9.2	6.2	6.8	4.1
女性	1,072	162	387	141	83	110	189
(割合%)	39.8	6.0	14.4	5.2	3.1	4.1	7.0

注：被害者が団体・法人のものを除く。

図表 2 - 1 - (1) - 5 路上強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,214	100.0	942	100.0	-272	-22.4
成人事件の総数		576	47.4	529	56.2	-47	-8.2
単独		358	62.2	299	56.5	-59	-16.5
共犯		218	37.8	230	43.5	12	5.5
少年事件の総数		523	43.1	330	35.0	-193	-36.9
単独		76	14.5	66	20.0	-10	-13.2
共犯		447	85.5	264	80.0	-183	-40.9
成人・少年共犯事件の総数		115	9.5	83	8.8	-32	-27.8

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (1) - 6 路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,214	100.0	942	100.0	-272	-22.4
自動車		413	34.0	382	40.6	-31	-7.5
うち盗難自動車		41	3.4	82	8.7	41	100.0
自二車・原付車		182	15.0	101	10.7	-81	-44.5
うち盗難自二車・原付車		73	6.0	36	3.8	-37	-50.7
自転車		191	15.7	70	7.4	-121	-63.4
その他・該当なし		428	35.3	389	41.3	-39	-9.1

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(2) ひったくり

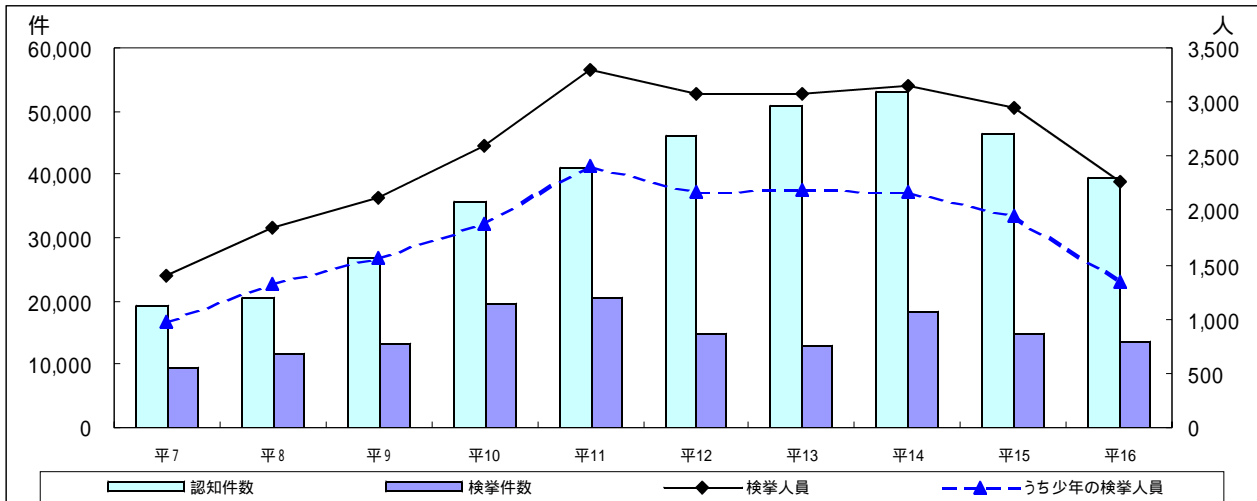
ひったくりの認知件数は、平成3年以降年々増加し、平成14年には平成2年の5.2倍となったが、平成15年には減少に転じ、平成16年は3万9,399件で、前年に比べ6,955件(15.0%)減少している。

検挙件数、検挙人員は増加傾向にあったが、平成15年には、検挙件数、検挙人員ともに減少し、平成16年の検挙件数は1万3,561件で、前年に比べ1,300件(8.7%)減少し、検挙人員は2,259人で、前年に比べ694人(23.5%)減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は高く、平成16年は1,352人で、検挙人員全体の59.8%(前年に比べ6.5ポイント減少)となっている(図表2-1-(2)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い(図表2-1-(2)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、自動二輪車・原動機付自転車を利用したものが最も多い(図表2-1-(2)-5、6)。

図表 2 - 1 - (2) - 1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		19,220	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	-6,955	-15.0
	うち未遂	620	689	938	1,286	1,681	2,320	2,718	3,027	3,031	2,489	-542	-17.9
検挙件数		9,525	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	-1,300	-8.7
検挙人員		1,408	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	-694	-23.5
うち少年 (割合%)		973	1,331	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	-605	-30.9
		69.1	72.1	74.0	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6	66.3	59.8	-6.5	-
検挙率		49.6	57.0	49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	2.3	ポイント

図表 2 - 1 - (2) - 2 ひったくりの発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		46,354	100.0	39,399	100.0	-6,955	-15.0
街頭	街頭	45,599	98.4	38,718	98.3	-6,881	-15.1
	道路上	45,004	97.1	38,178	96.9	-6,826	-15.2
	駐車(輪)場	427	0.9	408	1.0	-19	-4.4
	都市公園	63	0.1	47	0.1	-16	-25.4
	空き地	4	0.0	5	0.0	1	25.0
	公共交通機関等	67	0.1	56	0.1	-11	-16.4
	その他の交通機関	0	0.0	1	0.0	1	-
	その他の街頭	34	0.1	23	0.1	-11	-32.4
その他		755	1.6	681	1.7	-74	-9.8

図表 2 - 1 - (2) - 3 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平15	3,346	1,571	1,066	1,301	1,928	2,973	3,179	3,885	4,128	7,623	8,677	6,676	1
平16	3,183	1,286	835	1,133	1,464	2,421	2,659	3,038	3,380	6,310	7,796	5,893	1	39,399	
(割合%)		8.1	3.3	2.1	2.9	3.7	6.1	6.7	7.7	8.6	16.0	19.8	15.0	0.0	100.0
増減	件数	-163	-285	-231	-168	-464	-552	-520	-847	-748	-1,313	-881	-783	0	-6,955
	率(%)	-4.9	-18.1	-21.7	-12.9	-24.1	-18.6	-16.4	-21.8	-18.1	-17.2	-10.2	-11.7	0.0	-15.0

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 4 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成16年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	39,390	2,789	9,367	5,085	4,270	6,676	11,203
男性	2,376	218	391	340	273	437	717
(割合%)	6.0	0.6	1.0	0.9	0.7	1.1	1.8
女性	37,014	2,571	8,976	4,745	3,997	6,239	10,486
(割合%)	94.0	6.5	22.8	12.0	10.1	15.8	26.6

注：被害者が団体・法人のものを除く。

図表 2 - 1 - (2) - 5 ひったくりの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		14,683	100.0	13,493	100.0	-1,190	-8.1
成人事件の総数		8,556	58.3	9,078	67.3	522	6.1
単独		7,352	85.9	7,500	82.6	148	2.0
共犯		1,204	14.1	1,578	17.4	374	31.1
少年事件の総数		5,460	37.2	3,976	29.5	-1,484	-27.2
単独		2,087	38.2	1,286	32.3	-801	-38.4
共犯		3,373	61.8	2,690	67.7	-683	-20.2
成人・少年共犯事件の総数		667	4.5	439	3.3	-228	-34.2

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (2) - 6 ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		14,683	100.0	13,493	100.0	-1,190	-8.1
自動車		1,476	10.1	2,013	14.9	537	36.4
うち盗難自動車		455	3.1	737	5.5	282	62.0
自二車・原付車		10,418	71.0	9,124	67.6	-1,294	-12.4
うち盗難自二車・原付車		5,136	35.0	4,433	32.9	-703	-13.7
自転車		1,778	12.1	1,630	12.1	-148	-8.3
その他・該当なし		1,011	6.9	726	5.4	-285	-28.2

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(3) 街頭における強姦

強姦の認知件数は、年々増加傾向にあり、特に、街頭における強姦の増加率が高く、平成15年には平成7年の2.1倍となったが、平成16年は2,176件で、前年に比べ296件（12.0%）減少し、うち街頭における強姦は732件で、強姦全体の33.6%を占めており、前年に比べ100件（12.0%）減少している。

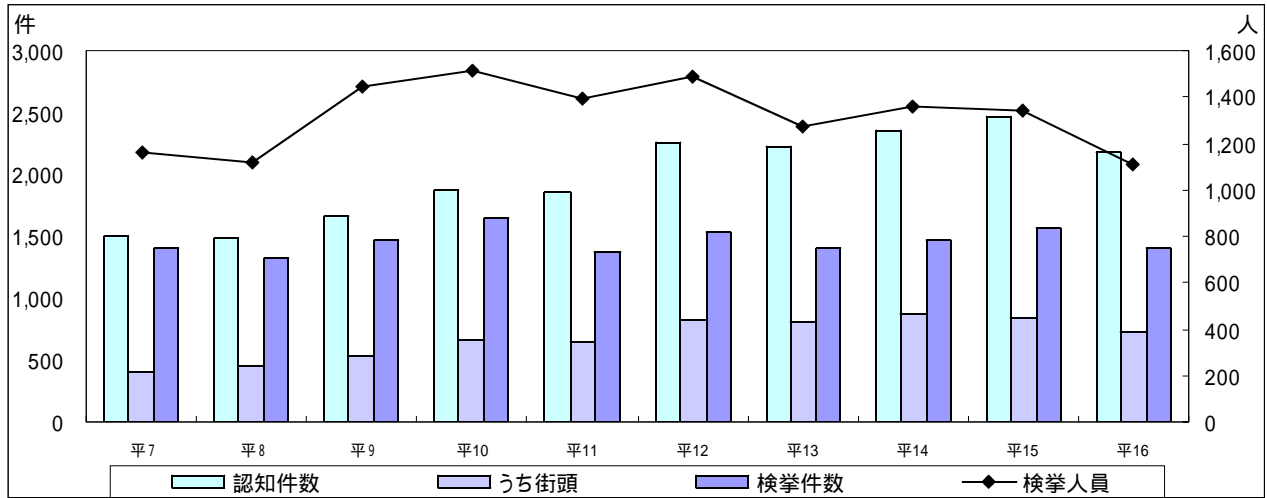
検挙件数、検挙人員は1,500件（人）前後で推移しており、平成16年の検挙件数は1,403件で、前年に比べ166件（10.6%）減少し、検挙人員は1,107人で、前年に比べ235人（17.5%）減少している（図表 2 - 1 - (3) - 1）。

平成16年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は、街頭では道路上、発生時間帯は午前0

時から午前2時、被害女性は20歳未満が最も多い(図表2-1-(3)-2、3、4)

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(3)-5)

図表2-1-(3)-1 強姦の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		1,500	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	-296	-12.0
	うち街頭	403	454	535	668	648	825	806	869	832	732	-100	-12.0
	うち未遂	93	110	137	189	137	172	149	148	158	161	3	1.9
検挙件数		1,410	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	-166	-10.6
検挙人員		1,160	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	-235	-17.5
検挙率		94.0	88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	1.0	ポイント

図表2-1-(3)-2 街頭における強姦の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,472	100.0	2,176	100.0	-296	-12.0
街頭	街頭	832	33.7	732	33.6	-100	-12.0
	道路上	350	14.2	296	13.6	-54	-15.4
	駐車(輪)場	199	8.1	177	8.1	-22	-11.1
	都市公園	50	2.0	56	2.6	6	12.0
	空き地	81	3.3	61	2.8	-20	-24.7
	公共交通機関等	5	0.2	15	0.7	10	200.0
	その他の交通機関	145	5.9	126	5.8	-19	-13.1
	その他の街頭	2	0.1	1	0.0	-1	-50.0
その他		1,640	66.3	1,444	66.4	-196	-12.0

図表 2 - 1 - (3) - 3 街頭における強姦の発生時間帯別認知件数

年次	時間													不明	総数
	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時			
平15	154	126	72	26	15	10	12	23	36	67	122	164	5	832	
平16	147	116	59	20	12	11	13	12	26	72	118	121	5	732	
(割合%)	20.1	15.8	8.1	2.7	1.6	1.5	1.8	1.6	3.6	9.8	16.1	16.5	0.7	100.0	
増減 件数	-7	-10	-13	-6	-3	1	1	-11	-10	5	-4	-43	0	-100	
率(%)	-4.5	-7.9	-18.1	-23.1	-20.0	10.0	8.3	-47.8	-27.8	7.5	-3.3	-26.2	0.0	-12.0	

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 4 街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数（平成16年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	732	404	260	46	13	9	0
(割合%)	100.0	55.2	35.5	6.3	1.8	1.2	0.0

図表 2 - 1 - (3) - 5 強姦の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,495	100.0	1,345	100.0	-150	-10.0
成人事件の総数		1,306	87.4	1,206	89.7	-100	-7.7
単独		1,164	89.1	1,113	92.3	-51	-4.4
共犯		142	10.9	93	7.7	-49	-34.5
少年事件の総数		159	10.6	122	9.1	-37	-23.3
単独		112	70.4	97	79.5	-15	-13.4
共犯		47	29.6	25	20.5	-22	-46.8
成人・少年共犯事件の総数		30	2.0	17	1.3	-13	-43.3

注：解決事件を除く。

(4) 街頭における強制わいせつ

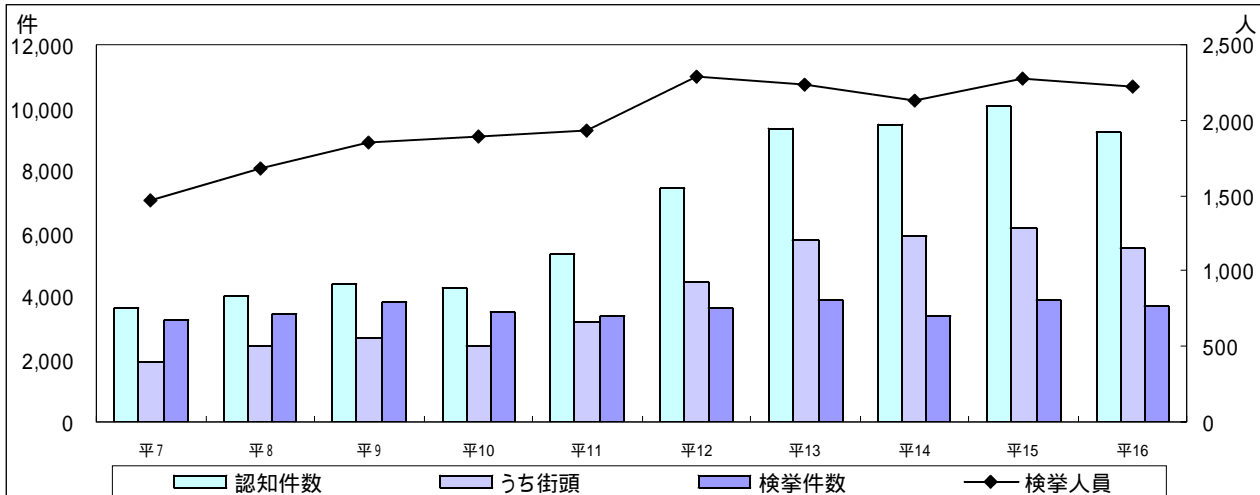
強制わいせつの認知件数は、平成11年以降増加しており、平成15年には1万件に達したが、平成16年は9,184件で、前年に比べ845件(8.4%)減少している。うち街頭における強制わいせつは5,510件で、強制わいせつ全体の60.0%を占めており、前年に比べ635件(10.3%)減少している。

検挙件数は3千件台、検挙人員は2千人前後で推移しており、平成16年の検挙件数は3,656件で、前年に比べ237件(6.1%)減少し、検挙人員は2,225人で、前年に比べ48人(2.1%)減少している(図表2-1-(4)-1)。

平成16年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は20歳未満の女性が最も多い(図表2-1-(4)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(4)-5)。

図表 2 - 1 - (4) - 1 強制わいせつの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15	平 16	増減	
													件(人)数
認知件数		3,644	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	-845	-8.4
うち街頭		1,914	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	-635	-10.3
うち未遂		129	188	179	164	216	289	364	353	413	311	-102	-24.7
検挙件数		3,232	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	-237	-6.1
検挙人員		1,464	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	-48	-2.1
検挙率		88.7	85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	1.0ポイント	

図表 2 - 1 - (4) - 2 街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数

区分	年次	平 15		平 16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		10,029	100.0	9,184	100.0	-845	-8.4
街頭		6,145	61.3	5,510	60.0	-635	-10.3
道路上		4,304	42.9	3,722	40.5	-582	-13.5
駐車(輪)場		718	7.2	688	7.5	-30	-4.2
都市公園		300	3.0	259	2.8	-41	-13.7
空き地		112	1.1	103	1.1	-9	-8.0
公共交通機関等		610	6.1	647	7.0	37	6.1
その他の交通機関		76	0.8	76	0.8	0	0.0
その他の街頭		25	0.2	15	0.2	-10	-40.0
その他		3,884	38.7	3,674	40.0	-210	-5.4

図表 2 - 1 - (4) - 3 街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0 ~ 2時	2 ~ 4時	4 ~ 6時	6 ~ 8時	8 ~ 10時	10 ~ 12時	12 ~ 14時	14 ~ 16時	16 ~ 18時	18 ~ 20時	20 ~ 22時	22 ~ 24時	不明	総数
		平 15	692	348	182	308	418	164	185	444	660	856	1,006	858	24
平 16	681	312	162	345	355	144	171	340	544	787	881	778	10	5,510	
(割合%)		12.4	5.7	2.9	6.3	6.4	2.6	3.1	6.2	9.9	14.3	16.0	14.1	0.2	100.0
増減	件数	-11	-36	-20	37	-63	-20	-14	-104	-116	-69	-125	-80	-14	-635
率(%)		-1.6	-10.3	-11.0	12.0	-15.1	-12.2	-7.6	-23.4	-17.6	-8.1	-12.4	-9.3	-58.3	-10.3

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 4 街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数（平成16年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	5,510	3,498	1,595	306	80	24	7
男性	128	106	16	5	0	1	0
(割合%)	2.3	1.9	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0
女性	5,382	3,392	1,579	301	80	23	7
(割合%)	97.7	61.6	28.7	5.5	1.5	0.4	0.1

図表 2 - 1 - (4) - 5 強制わいせつの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		3,751	100.0	3,496	100.0	-255	-6.8
成人事件の総数		3,286	87.6	3,117	89.2	-169	-5.1
単独		3,258	99.1	3,086	99.0	-172	-5.3
共犯		28	0.9	31	1.0	3	10.7
少年事件の総数		461	12.3	374	10.7	-87	-18.9
単独		446	96.7	360	96.3	-86	-19.3
共犯		15	3.3	14	3.7	-1	-6.7
成人・少年共犯事件の総数		4	0.1	5	0.1	1	25.0

注：解決事件を除く。

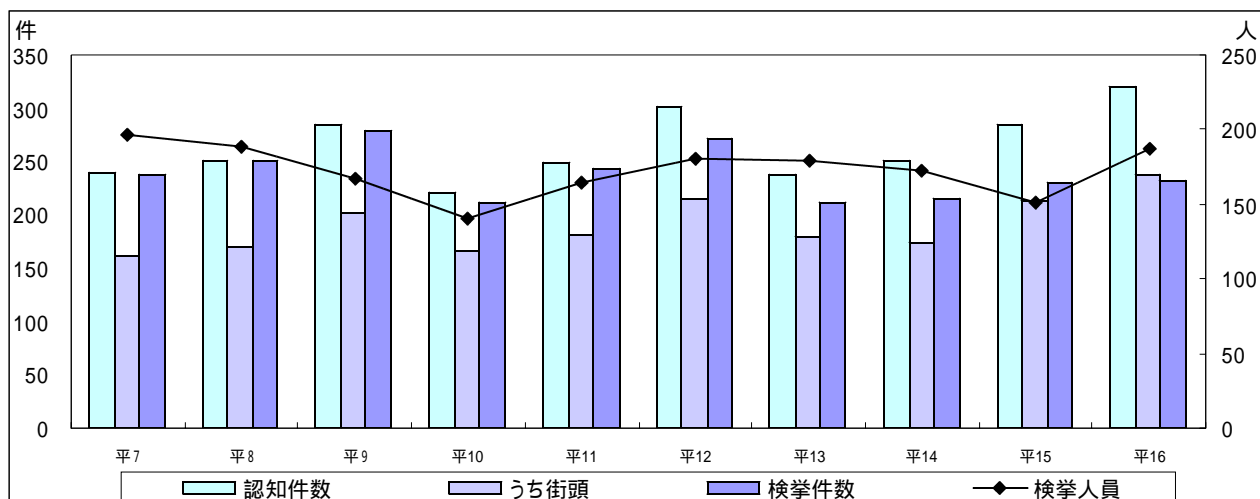
(5) 街頭における略取・誘拐

略取・誘拐の認知件数は、ここ10年、200件から300件の間で推移していたが、平成16年は320件で、前年に比べ36件（12.7%）増加している。うち街頭における略取・誘拐は237件で、略取・誘拐全体の74.1%を占めており、前年に比べ24件（11.3%）増加している。また、検挙件数は200件台で、検挙人員は100人台で推移しており、平成16年の検挙件数は232件で、前年に比べ1件（0.4%）増加し、検挙人員は187人で、前年に比べ36人（23.8%）増加している（図表 2 - 1 - (5) - 1）。

平成16年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後4時から午後6時、被害者は20歳未満の女性が最も多い（図表 2 - 1 - (5) - 2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い（図表 2 - 1 - (5) - 5）。

図表 2 - 1 - (5) - 1 略取・誘拐の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数	認知件数	240	251	284	221	249	302	237	251	284	320	36	12.7
	うち街頭	161	170	202	166	181	216	179	175	213	237	24	11.3
	うち未遂	25	32	33	31	26	59	35	44	61	77	16	26.2
検挙件数	検挙件数	238	250	279	211	244	272	211	215	231	232	1	0.4
検挙人員	検挙人員	196	189	167	141	164	180	179	173	151	187	36	23.8
検挙率	検挙率	99.2	99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	-8.8	ポイント

図表 2 - 1 - (5) - 2 街頭における略取・誘拐の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		284	100.0	320	100.0	36	12.7
街頭	街頭	213	75.0	237	74.1	24	11.3
	道路上	158	55.6	183	57.2	25	15.8
	駐車(輪)場	27	9.5	32	10.0	5	18.5
	都市公園	12	4.2	11	3.4	-1	-8.3
	空き地	4	1.4	1	0.3	-3	-75.0
	公共交通機関等	7	2.5	8	2.5	1	14.3
	その他の交通機関	5	1.8	1	0.3	-4	-80.0
	その他の街頭	0	0.0	1	0.3	1	-
その他		71	25.0	83	25.9	12	16.9

図表 2 - 1 - (5) - 3 街頭における略取・誘拐の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平15	17	11	3	11	13	14	12	25	40	24	21	21	1
平16	19	10	4	12	18	15	12	32	44	22	22	25	2	237	
(割合%)		8.0	4.2	1.7	5.1	7.6	6.3	5.1	13.5	18.6	9.3	9.3	10.5	0.8	100.0
増減	件数	2	-1	1	1	5	1	0	7	4	-2	1	4	1	24
	率(%)	11.8	-9.1	33.3	9.1	38.5	7.1	0.0	28.0	10.0	-8.3	4.8	19.0	100.0	11.3

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 4 街頭における略取・誘拐の被害者の年齢別認知件数（平成16年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	237	184	37	4	6	1	5
男性	39	24	5	1	4	1	4
(割合%)	16.5	10.1	2.1	0.4	1.7	0.4	1.7
女性	198	160	32	3	2	0	1
(割合%)	83.5	67.5	13.5	1.3	0.8	0.0	0.4

図表 2 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		225	100.0	224	100.0	-1	-0.4
成人事件の総数		206	91.6	201	89.7	-5	-2.4
単独		171	83.0	172	85.6	1	0.6
共犯		35	17.0	29	14.4	-6	-17.1
少年事件の総数		15	6.7	13	5.8	-2	-13.3
単独		13	86.7	5	38.5	-8	-61.5
共犯		2	13.3	8	61.5	6	300.0
成人・少年共犯事件の総数		4	1.8	10	4.5	6	150.0

注：解決事件を除く。

(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝

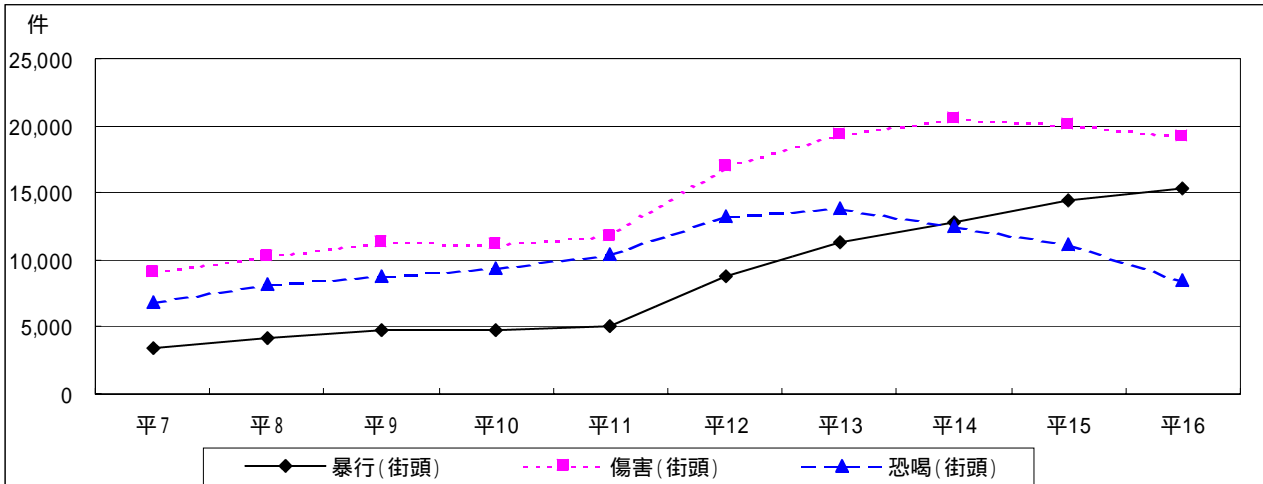
暴行の認知件数は平成12年以降急激に増加し、平成16年は2万3,691件で、前年に比べ1,745件（8.0%）増加している。うち街頭における暴行は1万5,319件で、暴行全体の64.7%を占めており、前年に比べ842件（5.8%）増加している。

傷害の認知件数は平成12年以降急激に増加し、平成16年は3万5,937件で、前年に比べ631件（1.7%）減少している。うち街頭における傷害は1万9,218件で、傷害全体の53.5%を占めており、前年に比べ880件（4.4%）減少している。

恐喝の認知件数は平成13年まで増加していたが、平成14年以降減少し、平成16年は1万4,424件で、前年に比べ3,171件（18.0%）減少している。うち街頭における恐喝は8,534件で、恐喝全体の59.2%を占めており、前年に比べ2,555件（23.0%）減少している（図表 2 - 1 - (6) - 1）。

平成16年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は暴行、傷害、恐喝のいずれも道路上が最も多く、被害者は暴行が20歳未満の女性、傷害は20歳代の男性、恐喝は20歳未満の男性が最も多い。また、凶器を使用したものは、傷害、恐喝のいずれも包丁類（その他の刃物を含む。）が最も多い（図表 2 - 1 - (6) - 2、3、4）。

図表 2 - 1 - (6) - 1 街頭における暴行・傷害・恐喝の認知状況の推移



区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
													件(人)数
暴行		6,190	6,469	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937	23,691	1,754	8.0
	うち街頭	3,429	4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	842	5.8
	(割合%)	55.4	64.6	65.1	65.2	64.8	66.0	67.1	65.9	66.0	64.7	-1.3	-
傷害		17,482	17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	36,568	35,937	-631	-1.7
	うち街頭	9,111	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	-880	-4.4
	(割合%)	52.1	57.5	58.6	57.3	57.8	56.2	57.1	56.3	55.0	53.5	-1.5	-
恐喝		11,207	12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	17,595	14,424	-3,171	-18.0
	うち街頭	6,805	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	-2,555	-23.0
	(割合%)	60.7	67.1	68.0	67.2	70.6	69.9	70.8	68.0	63.0	59.2	-3.8	-
	うち未遂	741	861	957	1,159	1,200	1,861	1,967	1,789	1,797	1,484	-313	-17.4

図表 2 - 1 - (6) - 2 街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
暴行の認知件数		21,937	100.0	23,691	100.0	1,754	8.0
街頭		14,477	66.0	15,319	64.7	842	5.8
道路上		10,921	49.8	11,431	48.3	510	4.7
駐車(輪)場		1,379	6.3	1,500	6.3	121	8.8
都市公園		432	2.0	431	1.8	-1	-0.2
空き地		85	0.4	90	0.4	5	5.9
公共交通機関等		1,471	6.7	1,646	6.9	175	11.9
その他の交通機関		119	0.5	155	0.7	36	30.3
その他の街頭		70	0.3	66	0.3	-4	-5.7
その他		7,460	34.0	8,372	35.3	912	12.2
傷害の認知件数		36,568	100.0	35,937	100.0	-631	-1.7
街頭		20,098	55.0	19,218	53.5	-880	-4.4
道路上		13,938	38.1	13,217	36.8	-721	-5.2
駐車(輪)場		3,302	9.0	3,080	8.6	-222	-6.7
都市公園		1,041	2.8	1,060	2.9	19	1.8
空き地		276	0.8	227	0.6	-49	-17.8
公共交通機関等		1,313	3.6	1,334	3.7	21	1.6
その他の交通機関		164	0.4	229	0.6	65	39.6
その他の街頭		64	0.2	71	0.2	7	10.9
その他		16,470	45.0	16,719	46.5	249	1.5
恐喝の認知件数		17,595	100.0	14,424	100.0	-3,171	-18.0
街頭		11,089	63.0	8,534	59.2	-2,555	-23.0
道路上		7,535	42.8	5,530	38.3	-2,005	-26.6
駐車(輪)場		2,247	12.8	1,921	13.3	-326	-14.5
都市公園		662	3.8	573	4.0	-89	-13.4
空き地		136	0.8	115	0.8	-21	-15.4
公共交通機関等		377	2.1	250	1.7	-127	-33.7
その他の交通機関		77	0.4	108	0.7	31	40.3
その他の街頭		55	0.3	37	0.3	-18	-32.7
その他		6,506	37.0	5,890	40.8	-616	-9.5

図表 2 - 1 - (6) - 3 街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成16年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
暴行(街頭)認知件数	15,319	4,672	4,425	2,670	1,475	1,353	724
男性	9,274	1,964	2,454	1,870	1,187	1,192	607
(割合%)	60.5	12.8	16.0	12.2	7.7	7.8	4.0
女性	6,045	2,708	1,971	800	288	161	117
(割合%)	39.5	17.7	12.9	5.2	1.9	1.1	0.8
傷害(街頭)認知件数	19,218	4,217	5,301	3,927	2,282	2,053	1,438
男性	15,423	3,194	4,207	3,187	1,917	1,750	1,168
(割合%)	80.3	16.6	21.9	16.6	10.0	9.1	6.1
女性	3,795	1,023	1,094	740	365	303	270
(割合%)	19.7	5.3	5.7	3.9	1.9	1.6	1.4
恐喝(街頭)認知件数	8,514	4,916	2,246	673	287	245	147
男性	7,838	4,623	2,055	599	237	208	116
(割合%)	92.1	54.3	24.1	7.0	2.8	2.4	1.4
女性	676	293	191	74	50	37	31
(割合%)	7.9	3.4	2.2	0.9	0.6	0.4	0.4

注：被害者が団体・法人のものを除く。

図表 2 - 1 - (6) - 4 街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
街頭における傷害の認知件数		20,098	100.0	19,218	100.0	-880	-4.4
銃砲類(けん銃様のものを含む)		16	0.1	24	0.1	8	50.0
刀剣類		25	0.1	53	0.3	28	112.0
包丁類(その他の刃物を含む)		366	1.8	333	1.7	-33	-9.0
凶器以外		-	-	0	0.0	-	-
不明		180	0.9	242	1.3	62	34.4
該当なし、供用物なし		19,511	97.1	18,566	96.6	-945	-4.8
街頭における恐喝の認知件数		11,089	100.0	8,534	100.0	-2,555	-23.0
銃砲類(けん銃様のものを含む)		6	0.1	11	0.1	5	83.3
刀剣類		15	0.1	23	0.3	8	53.3
包丁類(その他の刃物を含む)		137	1.2	183	2.1	46	33.6
凶器以外		-	-	50	0.6	-	-
不明		65	0.6	78	0.9	13	20.0
該当なし、供用物なし		10,866	98.0	8,189	96.0	-2,677	-24.6

注：平成16年の街頭における恐喝の「凶器以外」の内訳は、電話・ファックスが48件、チラシ・パンフレットが2件である。また、平成15年は、凶器以外の犯罪供用物の区分はない。

(7) 自動車盗

自動車盗の認知件数は、平成11年以降急激に増加し、平成14年に若干減少し、平成15年に再び増加したが、平成16年は5万8,737件で、前年に比べ5,486件(8.5%)減少している。

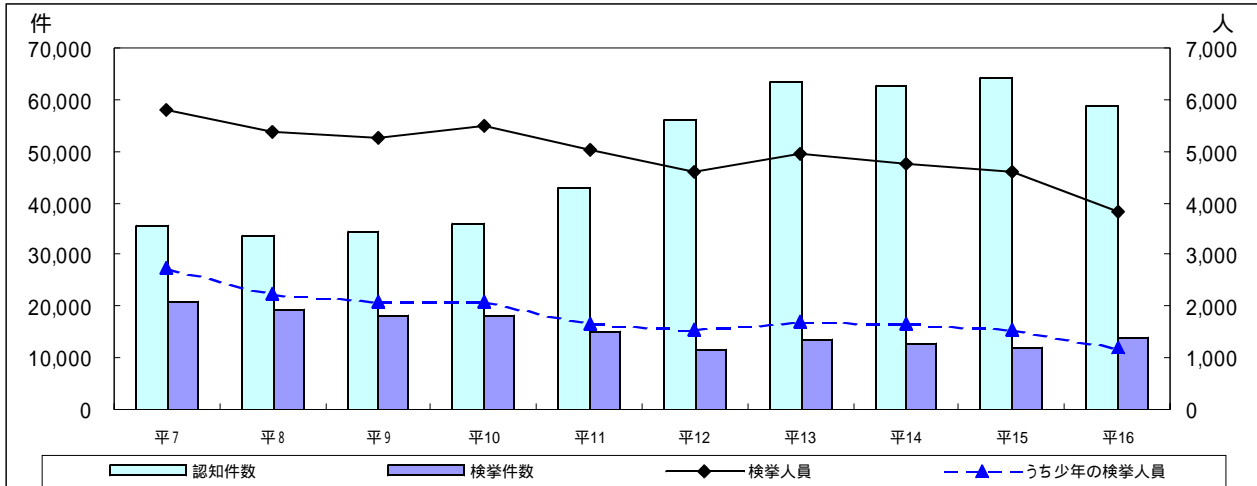
検挙件数、検挙人員は減少傾向にあったが、平成16年の検挙件数は1万3,765件で、前年に比べ1,834件(15.4%)増加し、検挙人員は3,823人で、前年に比べ776人(16.9%)減少している。検挙人員に占める少年の割合は年々減少し、平成16年は1,216人で、検挙人員全体の31.8%(前年に比べ1.7ポイント減少)を占めている(図表2-1-(7)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多い。また、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は年々減少傾向にあり、平成16年は全体の27.2%で、前年に比べ1.7ポイント減少している。更に、平成9年以降年々増加していた被害額300万円未満の自動車盗は、平成16年には減少している(図表2-1-(7)-2、3、4)。

被害自動車の還付率は、平成12年まで減少していたが、以降横ばいで、平成16年は29.0%となっている(図表2-1-(7)-5)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯、共犯の数に大きな差はなく、少年事件では共犯が多い(図表2-1-(7)-6)。

図表 2 - 1 - (7) - 1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件(人)数	率(%)
認知件数	35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5
検挙件数	20,821	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	1,834	15.4
検挙人員	5,806	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	-776	-16.9
うち少年	2,752	2,257	2,106	2,091	1,658	1,531	1,691	1,680	1,542	1,216	-326	-21.1
(割合%)	47.4	42.0	40.0	38.1	33.0	33.4	34.3	35.2	33.5	31.8	-1.7	-
検挙率	58.3	57.1	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	4.8ポイント	

図表 2 - 1 - (7) - 2 自動車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		64,223	100.0	58,737	100.0	-5,486	-8.5
街頭		51,151	79.6	45,774	77.9	-5,377	-10.5
道路上		9,110	14.2	7,203	12.3	-1,907	-20.9
駐車(輪)場		40,499	63.1	37,083	63.1	-3,416	-8.4
都市公園		25	0.0	15	0.0	-10	-40.0
空き地		1,473	2.3	1,428	2.4	-45	-3.1
公共交通機関等		42	0.1	40	0.1	-2	-4.8
その他の街頭		2	0.0	5	0.0	3	150.0
その他		13,072	20.4	12,963	22.1	-109	-0.8

図表 2 - 1 - (7) - 3 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件数	率(%)
認知件数	35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5
キーあり	20,807	18,981	18,052	18,752	19,234	21,195	21,743	20,204	18,568	15,999	-2,569	-13.8
(割合%)	58.2	56.3	52.3	52.3	44.6	37.7	34.4	32.2	28.9	27.2	-1.7	-
キーなし	14,923	14,741	16,437	17,132	23,858	35,010	41,532	42,469	45,655	42,738	-2,917	-6.4

注: 「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (7) - 4 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知件数		35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5
200万円未満		29,012	25,673	25,317	25,509	27,671	34,284	40,405	42,089	44,538	41,484	-3,054	-6.9
(割合%)		81.2	76.1	73.4	71.1	64.2	61.0	63.9	67.2	69.3	70.6	1.3	-
200～300万円未満		2,986	3,355	3,697	4,164	5,657	8,311	9,563	9,693	9,736	8,535	-1,201	-12.3
(割合%)		8.4	9.9	10.7	11.6	13.1	14.8	15.1	15.5	15.2	14.5	-0.7	-
300万円以上		3,237	4,254	4,990	5,757	9,107	12,447	11,499	8,932	7,373	6,195	-1,178	-16.0
(割合%)		9.1	12.6	14.5	16.0	21.1	22.1	18.2	14.3	11.5	10.5	-1.0	-
被害なし・被害額認定困難		495	440	485	454	657	1,163	1,808	1,959	2,576	2,523	-53	-2.1

図表 2 - 1 - (7) - 5 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率(%)
認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5
還付件数		18,261	17,912	17,764	16,512	16,914	19,579	19,422	20,036	17,049	-2,987	-14.9
還付率(%)		54.2	51.9	49.5	38.3	30.1	30.9	31.0	31.2	29.0	-2.2	-

図表 2 - 1 - (7) - 6 自動車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		11,594	100.0	13,140	100.0	1,546	13.3
成人事件の総数		9,483	81.8	11,553	87.9	2,070	21.8
単独		5,963	62.9	5,862	50.7	-101	-1.7
共犯		3,520	37.1	5,691	49.3	2,171	61.7
少年事件の総数		1,623	14.0	1,261	9.6	-362	-22.3
単独		550	33.9	389	30.8	-161	-29.3
共犯		1,073	66.1	872	69.2	-201	-18.7
成人・少年共犯事件の総数		488	4.2	326	2.5	-162	-33.2

注：解決事件を除く。

(8) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は、平成13年まで24万件前後で推移していたが、平成14年以降急激に減少し、平成16年は12万6,717件で、前年に比べ2万8,262件(18.2%)減少している。

検挙件数は平成10年以降減少し、平成16年は1万1,715件で、前年に比べ732件(5.9%)減少し、検挙人員はここ10年連続して減少し、平成16年は9,203人で、前年に比べ2,010人(17.9%)減少している。

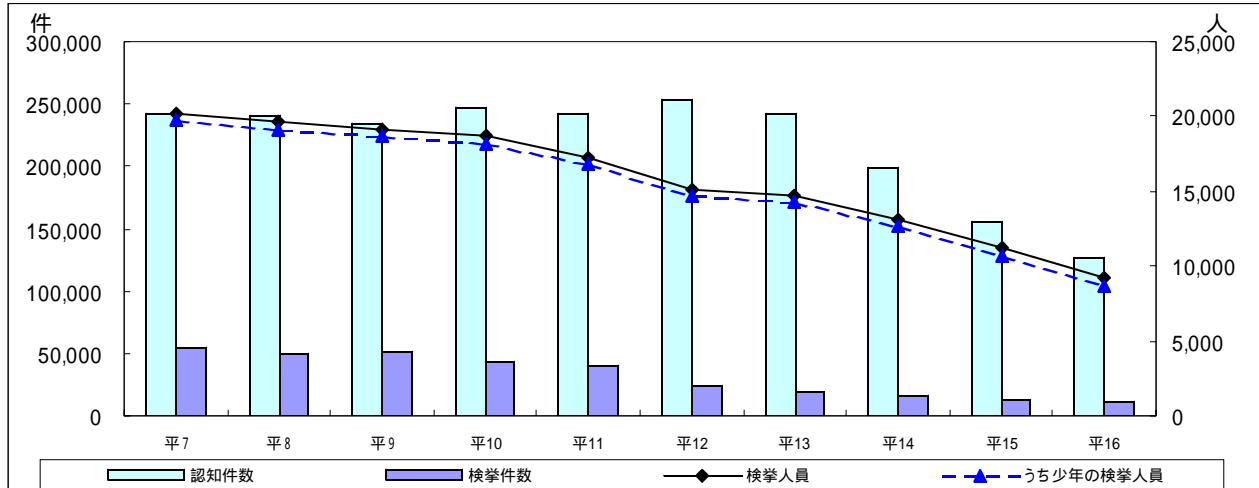
検挙人員に占める少年の割合が特に高く、平成16年は8,735人で、検挙人員全体の94.9%(前年に比べ0.2ポイント減少)を占めている(図表2-1-(8)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメインスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものは、全体の22.5%となっている。また、

被害自動二輪車・原動機付自転車の還付率は37.2%で、前年に比べ1.3ポイント減少している
(図表2-1-(8)-2、3、4)

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い(図表2-1-(8)-5)。

図表2-1-(8)-1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件(人)数	率(%)
認知件数	241,509	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	-28,262	-18.2
検挙件数	55,141	49,883	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	11,715	-732	-5.9
検挙人員	20,249	19,669	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	11,213	9,203	-2,010	-17.9
うち少年 (割合%)	19,770 97.6	19,109 97.2	18,749 98.0	18,202 97.4	16,872 97.5	14,746 97.4	14,288 97.2	12,650 96.5	10,669 95.1	8,735 94.9	-1,934 -0.2	-18.1 -
検挙率	22.8	20.8	21.6	17.7	16.6	9.4	8.0	7.9	8.0	9.2	1.2ポイント	

図表2-1-(8)-2 オートバイ盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		154,979	100.0	126,717	100.0	-28,262	-18.2
街頭		109,714	70.8	88,578	69.9	-21,136	-19.3
道路上		34,756	22.4	28,052	22.1	-6,704	-19.3
駐車(輪)場		73,021	47.1	58,930	46.5	-14,091	-19.3
都市公園		267	0.2	260	0.2	-7	-2.6
空き地		1,185	0.8	933	0.7	-252	-21.3
公共交通機関等		482	0.3	400	0.3	-82	-17.0
その他の街頭		3	0.0	3	0.0	0	0.0
その他		45,265	29.2	38,139	30.1	-7,126	-15.7

図表 2 - 1 - (8) - 3 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知件数		241,509	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	-28,262	-18.2
キーあり (割合%)		51,643 21.4	51,680 21.5	53,379 22.7	55,019 22.3	53,941 22.2	54,254 21.4	50,346 20.8	43,039 21.7	33,969 21.9	28,574 22.5	-5,395 0.6	-15.9 -
キーなし		189,866	188,720	181,270	191,345	189,036	199,179	192,171	155,603	121,010	98,143	-22,867	-18.9

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (8) - 4 被害自動二輪車・原動機付自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率(%)
認知件数		240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	-28,262	-18.2
還付件数		87,662	93,841	89,790	88,123	85,483	86,163	72,503	59,599	47,120	-12,479	-20.9
還付率(%)		36.5	40.0	36.4	36.3	33.7	35.5	36.5	38.5	37.2	-1.3	-

注：還付に関する統計は、平成8年以降。また、還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (8) - 5 オートバイ盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		11,796	100.0	10,754	100.0	-1,042	-8.8
成人事件の総数		1,780	15.1	1,772	16.5	-8	-0.4
単独		1,339	75.2	1,321	74.5	-18	-1.3
共犯		441	24.8	451	25.5	10	2.3
少年事件の総数		9,725	82.4	8,399	78.1	-1,326	-13.6
単独		4,488	46.1	3,571	42.5	-917	-20.4
共犯		5,237	53.9	4,828	57.5	-409	-7.8
成人・少年共犯事件の総数		291	2.5	583	5.4	292	100.3

注：解決事件を除く。

(9) 自転車盗

自転車盗の認知件数は、平成13年まで増加傾向にあったが、平成14年以降減少傾向に転じ、平成16年は44万4,268件で、前年に比べ3万2,321件（6.8%）減少している。

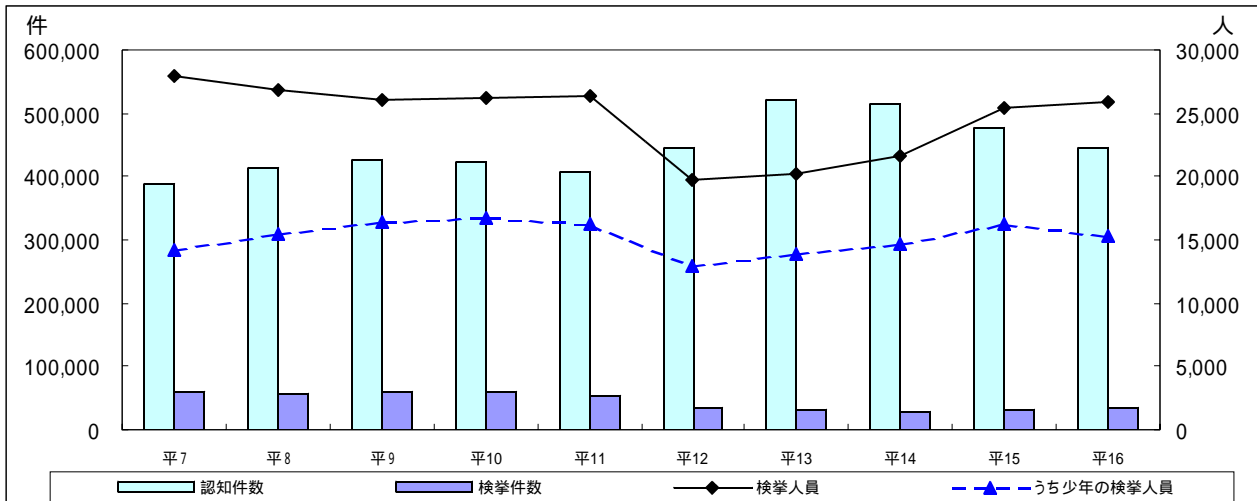
検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少したが、検挙件数は平成15年以降、検挙人員は平成13年以降増加に転じた。平成16年の検挙件数は3万5,828件で、前年に比べ3,339件（10.3%）増加し、検挙人員は2万5,926人で、前年に比べ473人（1.9%）増加している。

検挙人員に占める少年の割合が高く、平成16年は1万5,342人で、検挙人員全体の59.2%（前年に比べ4.9ポイント減少）を占めている（図表2-1-(9)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多く、被害時の状況を見ると、盗難防止のための施錠がなされていなかったものは、全体の43.7%を占めている。また、被害自転車の還付率は37.6%で、前年と同様となっている（図表2-1-(9)-2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-1-(9)-5）。

図表 2 - 1 - (9) - 1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件(人)数	率(%)
認知件数	387,269	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	-32,321	-6.8
検挙件数	60,931	55,970	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	35,828	3,339	10.3
検挙人員	27,987	26,871	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	25,926	473	1.9
うち少年 (割合%)	14,227 50.8	15,466 57.6	16,476 63.4	16,675 63.6	16,271 61.8	12,991 65.8	13,843 68.6	14,710 67.8	16,316 64.1	15,342 59.2	-974 -4.9	- -
検挙率	15.7	13.5	13.8	14.0	13.0	7.8	6.2	5.7	6.8	8.1	1.3ポイント	

図表 2 - 1 - (9) - 2 自転車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		476,589	100.0	444,268	100.0	-32,321	-6.8
街頭		368,064	77.2	341,493	76.9	-26,571	-7.2
道路上		110,362	23.2	103,496	23.3	-6,866	-6.2
駐車(輪)場		247,855	52.0	228,586	51.5	-19,269	-7.8
都市公園		2,090	0.4	2,020	0.5	-70	-3.3
空き地		2,667	0.6	2,377	0.5	-290	-10.9
公共交通機関等		5,061	1.1	4,999	1.1	-62	-1.2
その他の街頭		29	0.0	15	0.0	-14	-48.3
その他		108,525	22.8	102,775	23.1	-5,750	-5.3

図表 2 - 1 - (9) - 3 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件数	率(%)
認知件数	387,269	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	-32,321	-6.8
施錠あり	237,765	242,635	245,268	238,717	233,778	258,421	313,920	311,787	280,444	249,951	-30,493	-10.9
施錠なし	149,504	171,203	181,964	184,466	174,528	186,880	207,881	202,333	196,145	194,317	-1,828	-0.9
(割合%)	38.6	41.4	42.6	43.6	42.7	42.0	39.8	39.4	41.2	43.7	2.5	-

注: 「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (9) - 4 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率 (%)
認知件数		413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	-32,321	-6.8
還付件数		122,063	134,920	138,528	128,274	127,050	154,784	166,185	179,352	167,092	-12,260	-6.8
還付率 (%)		29.5	31.6	32.7	31.4	28.5	29.7	32.3	37.6	37.6	0.0	-

注：還付に関する統計は、平成8年以降。また、還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (9) - 5 自転車の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		27,301	100.0	28,797	100.0	1,496	5.5
成人事件の総数		12,395	45.4	14,537	50.5	2,142	17.3
単独		12,091	97.5	13,435	92.4	1,344	11.1
共犯		304	2.5	1,102	7.6	798	262.5
少年事件の総数		14,726	53.9	14,024	48.7	-702	-4.8
単独		11,563	78.5	11,017	78.6	-546	-4.7
共犯		3,163	21.5	3,007	21.4	-156	-4.9
成人・少年共犯事件の総数		180	0.7	236	0.8	56	31.1

注：解決事件を除く。

(10) 車上ねらい

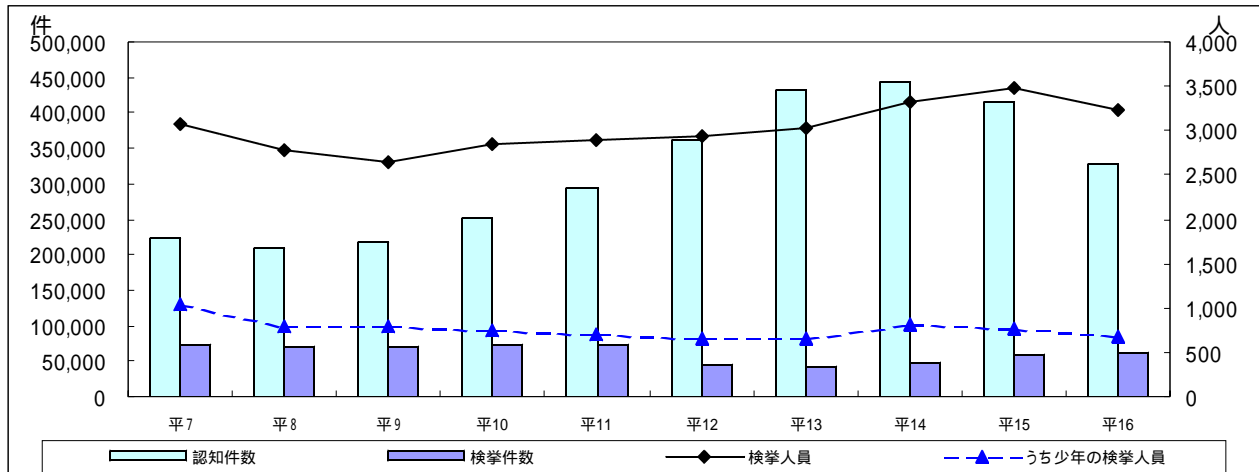
車上ねらいの認知件数は、平成14年まで増加傾向にあったが、平成15年には減少し、平成16年は32万8,921件で、前年に比べ8万5,898件（20.7%）減少している。

検挙件数は、平成11年まで7万件台で推移していたが、平成12年以降4万件台に減少し、平成15年には再び6万件台に増加し、平成16年は6万3,171件で、前年に比べ2,692件（4.5%）増加している。また、検挙人員は、3千人前後で推移しており、平成16年は3,238人で、前年に比べ253人（7.2%）減少している（図表2-1-(10)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多く、被害時の状況を見ると、施錠なしで被害に遭っているものは、全体の29.0%を占めている（図表2-1-(10)-2、3）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い（図表2-1-(10)-4）。

図表 2 - 1 - (10) - 1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
	認知件数	222,473	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	-85,898	-20.7
	検挙件数	72,061	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479	63,171	2,692	4.5
	検挙人員	3,069	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491	3,238	-253	-7.2
	うち少年	1,037	798	793	742	704	658	663	816	776	681	-95	-12.2
	(割合%)	33.8	28.8	30.0	26.0	24.3	22.4	21.9	24.6	22.2	21.0	-1.2	-
	検挙率	32.4	33.4	32.7	29.5	25.0	12.6	10.0	11.0	14.6	19.2	4.6	ポイント

図表 2 - 1 - (10) - 2 車上ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
	認知件数	414,819	100.0	328,921	100.0	-85,898	-20.7
	街頭	348,110	83.9	273,116	83.0	-74,994	-21.5
	道路上	67,352	16.2	55,241	16.8	-12,111	-18.0
	駐車(輪)場	274,029	66.1	212,222	64.5	-61,807	-22.6
	都市公園	1,433	0.3	1,418	0.4	-15	-1.0
	空き地	4,782	1.2	3,781	1.1	-1,001	-20.9
	公共交通機関等	448	0.1	397	0.1	-51	-11.4
	その他の街頭	66	0.0	57	0.0	-9	-13.6
	その他	66,709	16.1	55,805	17.0	-10,904	-16.3

図表 2 - 1 - (10) - 3 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
	認知件数	222,473	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	-85,898	-20.7
	施錠あり	110,093	105,549	116,132	146,461	185,318	245,071	312,380	324,713	305,871	233,481	-72,390	-23.7
	施錠なし	112,380	104,531	101,039	105,631	109,317	117,691	119,760	118,585	108,948	95,440	-13,508	-12.4
	(割合%)	50.5	49.8	46.5	41.9	37.1	32.4	27.7	26.8	26.3	29.0	2.7	-

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい(施錠なし)」とする。

図表 2 - 1 - (10) - 4 車上ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		60,049	100.0	62,404	100.0	2,355	3.9
成人事件の総数		53,848	89.7	57,773	92.6	3,925	7.3
単独		39,863	74.0	36,974	64.0	-2,889	-7.2
共犯		13,985	26.0	20,799	36.0	6,814	48.7
少年事件の総数		3,630	6.0	2,865	4.6	-765	-21.1
単独		1,902	52.4	1,010	35.3	-892	-46.9
共犯		1,728	47.6	1,855	64.7	127	7.3
成人・少年共犯事件の総数		2,571	4.3	1,766	2.8	-805	-31.3

注：解決事件を除く。

(11) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は、平成12年から急激に増加し、平成13年を頂点に平成14年、15年と減少し、平成16年は11万2,161件で、前年に比べ8,565件(7.1%)減少している。

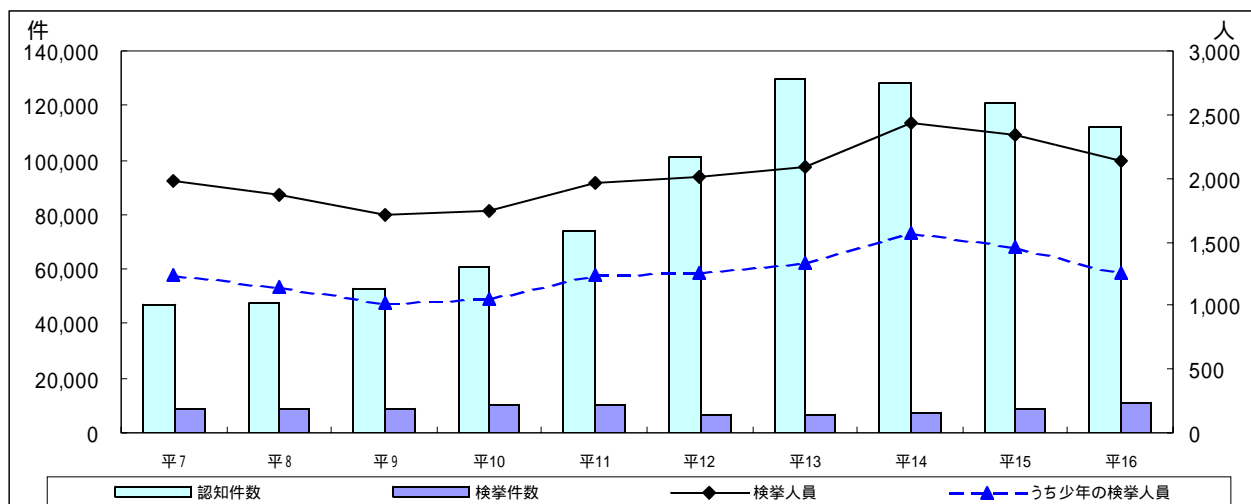
検挙件数は増加傾向にあり、平成16年の検挙件数は1万668件で、前年に比べ2,153件(25.3%)増加し、検挙人員は平成14年まで年々増加していたが、平成15年にわずかながら減少し、平成16年は2,134人で、前年に比べ211人(9.0%)減少している。

検挙人員に占める少年の割合が高く、平成16年は1,255人で、検挙人員全体の58.8%(前年に比べ3.8ポイント減少)を占めている(図表2-1-(11)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多い(図表2-1-(11)-2)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では単独犯、共犯の数に大きな差はない(図表2-1-(11)-3)。

図表 2 - 1 - (11) - 1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件(人)数	率(%)
認知件数	46,629	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	-8,565	-7.1
検挙件数	8,942	9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	8,515	10,668	2,153	25.3
検挙人員	1,982	1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	2,345	2,134	-211	-9.0
うち少年 (割合%)	1,241 62.6	1,149 61.3	1,024 59.7	1,054 60.4	1,234 62.8	1,259 62.8	1,329 63.8	1,574 64.8	1,468 62.6	1,255 58.8	-213 -3.8	-14.5 -
検挙率	19.2	19.0	16.5	17.2	13.8	6.4	5.1	5.6	7.1	9.5	2.4ポイント	

図表 2 - 1 - (11) - 2 部品ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		120,726	100.0	112,161	100.0	-8,565	-7.1
街頭		99,046	82.0	90,615	80.8	-8,431	-8.5
道路上		11,133	9.2	9,515	8.5	-1,618	-14.5
駐車(輪)場		85,649	70.9	79,042	70.5	-6,607	-7.7
都市公園		107	0.1	101	0.1	-6	-5.6
空き地		1,555	1.3	1,355	1.2	-200	-12.9
公共交通機関等		595	0.5	590	0.5	-5	-0.8
その他の街頭		7	0.0	12	0.0	5	71.4
その他		21,680	18.0	21,546	19.2	-134	-0.6

図表 2 - 1 - (11) - 3 部品ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		8,429	100.0	10,503	100.0	2,074	24.6
成人事件の総数		5,655	67.1	8,464	80.6	2,809	49.7
単独		3,840	67.9	4,818	56.9	978	25.5
共犯		1,815	32.1	3,646	43.1	1,831	100.9
少年事件の総数		1,876	22.3	1,652	15.7	-224	-11.9
単独		992	52.9	885	53.6	-107	-10.8
共犯		884	47.1	767	46.4	-117	-13.2
成人・少年共犯事件の総数		898	10.7	387	3.7	-511	-56.9

注：解決事件を除く。

(12) 自動販売機ねらい

自動販売機ねらいの認知件数は、平成11年を頂点に減少傾向にあり、平成16年は11万2,965件で、前年に比べ3万4,913件（23.6%）減少している。

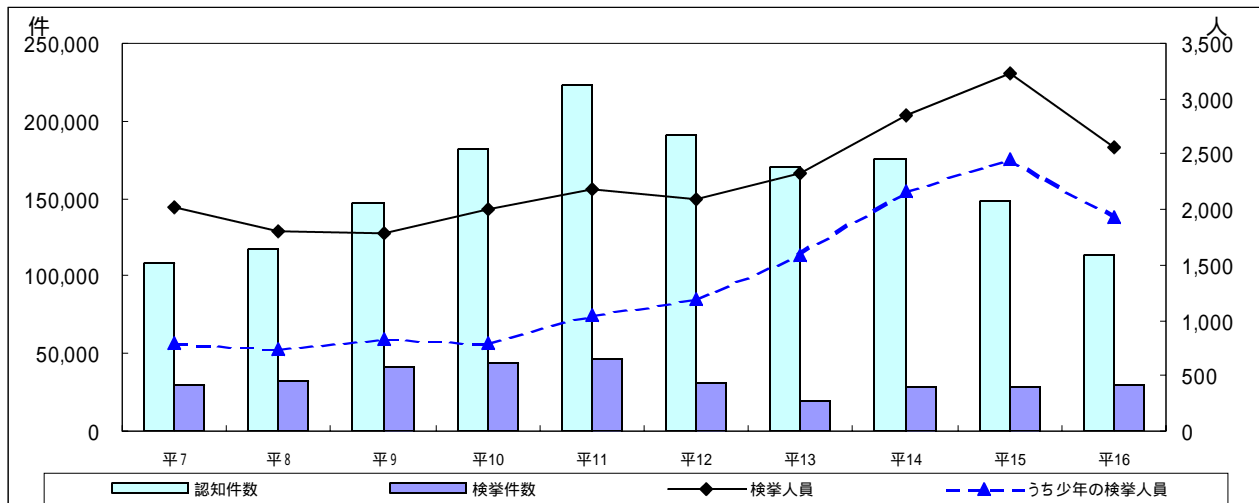
検挙件数は平成13年に大きく減少したが、平成16年は2万9,748件で、前年に比べ1,596件（5.7%）増加している。検挙人員は平成13年から増加傾向にあるが、平成16年は2,560人で、前年に比べ671人（20.8%）減少している。

検挙人員に占める少年の割合が高く、平成16年は1,933人で、検挙人員全体の75.5%（前年に比べ0.4ポイント減少）となっている（図表2-1-(12)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は商店が最も多い（図表2-1-(12)-2）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い（図表2-1-(12)-3）。

図表2-1-(12)-1 自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件(人)数	率(%)
認知件数	108,075	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	-34,913	-23.6
検挙件数	29,581	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152	29,748	1,596	5.7
検挙人員	2,025	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231	2,560	-671	-20.8
うち少年 (割合%)	802 39.6	740 41.0	821 46.1	789 39.3	1,044 47.6	1,196 57.4	1,593 68.4	2,163 75.9	2,453 75.9	1,933 75.5	-520 -0.4	- -
検挙率	27.4	27.8	28.5	24.2	20.6	16.1	11.1	16.6	19.0	26.3	7.3ポイント	

図表 2 - 1 - (12) - 2 自動販売機ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		147,878	100.0	112,965	100.0	-34,913	-23.6
街頭		45,060	30.5	36,981	32.7	-8,079	-17.9
道路上		20,898	14.1	17,962	15.9	-2,936	-14.0
駐車(輪)場		17,384	11.8	14,224	12.6	-3,160	-18.2
都市公園		1,015	0.7	775	0.7	-240	-23.6
空き地		4,986	3.4	3,450	3.1	-1,536	-30.8
公共交通機関等		735	0.5	541	0.5	-194	-26.4
その他の街頭		42	0.0	29	0.0	-13	-31.0
一般事務所		21,300	14.4	15,724	13.9	-5,576	-26.2
商店		39,049	26.4	26,193	23.2	-12,856	-32.9
その他		42,469	28.7	34,067	30.2	-8,402	-19.8

図表 2 - 1 - (12) - 3 自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数

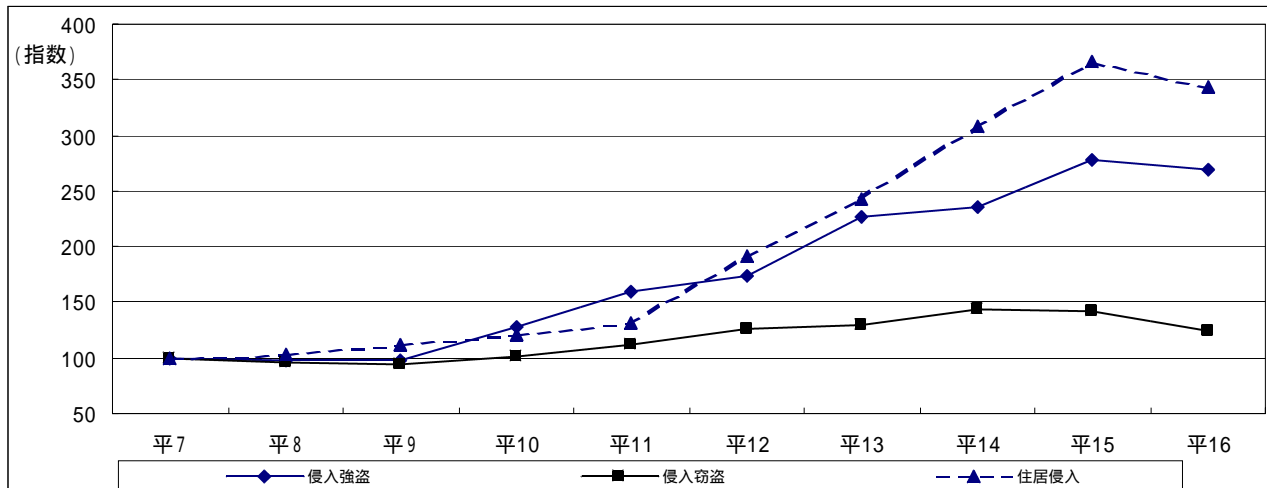
区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		28,121	100.0	29,710	100.0	1,589	5.7
成人事件の総数		23,812	84.7	25,127	84.6	1,315	5.5
単独		11,766	49.4	8,683	34.6	-3,083	-26.2
共犯		12,046	50.6	16,444	65.4	4,398	36.5
少年事件の総数		3,133	11.1	3,482	11.7	349	11.1
単独		557	17.8	570	16.4	13	2.3
共犯		2,576	82.2	2,912	83.6	336	13.0
成人・少年共犯事件の総数		1,176	4.2	1,101	3.7	-75	-6.4

注：解決事件を除く。

2 侵入犯罪

平成16年の主な侵入犯罪の認知件数は、前年に比べ、侵入強盗、侵入窃盗及び住居侵入ともに減少している（図表2-2）。

図表2-2 侵入犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
侵入強盗		1,032	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	-89	-3.1
(指数)		100	97	97	127	160	173	226	236	278	269	-	-
侵入窃盗		234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8
(指数)		100	95	94	101	111	126	129	144	142	124	-	-
住居侵入		11,009	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	-2,491	-6.2
(指数)		100	102	112	121	132	191	242	308	367	344	-	-

注：指数は、平成7年を100とした場合の値である。

(1) 侵入強盗

侵入強盗の認知件数は、平成10年以降急激に増加し、平成15年には平成9年の2.9倍となったが、平成16年は2,776件で、前年に比べ89件（3.1%）減少している。また、侵入強盗に伴う身体犯の認知件数は、年々増加傾向にあったが、平成16年は727件で、前年に比べ14件（1.9%）減少している。

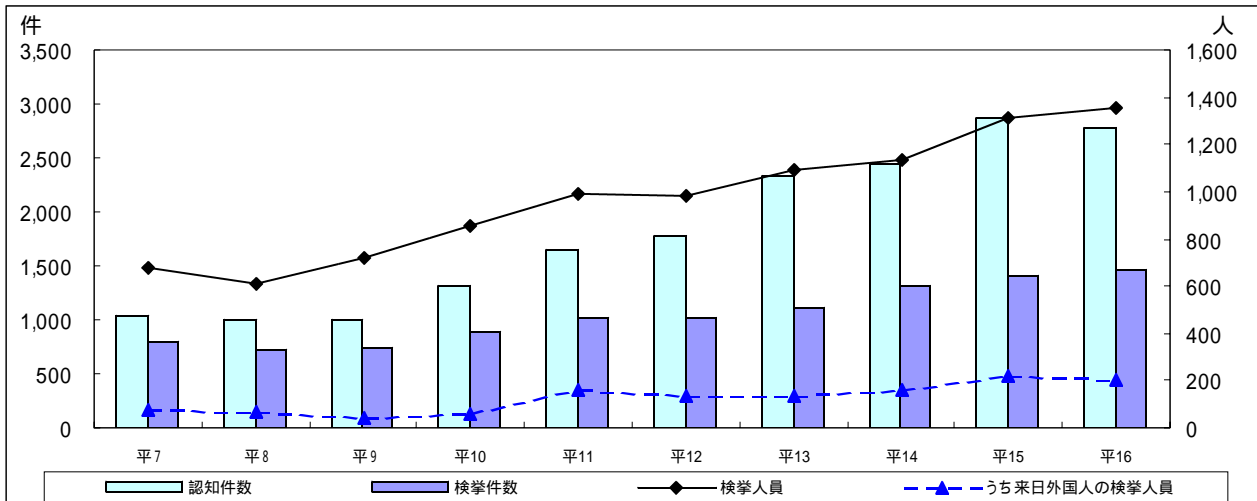
検挙件数、検挙人員は、平成10年以降増加しており、平成16年の検挙件数は1,458件で、前年に比べ56件（4.0%）増加し、検挙人員は1,356人で、前年に比べ46人（3.5%）増加している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降急激に増加し、平成16年は201人で、前年に比べ17人（7.8%）減少したが、平成9年の4.7倍となっている（図表2-2-(1)-1、2）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は商店が44.7%、住宅が34.4%（うち一戸建住宅が16.7%、4階建以上の共同住宅が9.5%、3階建以下の共同住宅が8.2%）、生活環境営業が10.5%となっており、発生時間帯は午前2時から午前4時が最も多い（図表2-2-(1)-3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(1)-5）。

図表 2 - 2 - (1) - 1 侵入強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		1,032	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	-89	-3.1
	うち未遂	177	174	192	267	329	338	453	414	561	521	-40	-7.1
検挙件数		792	727	734	897	1,020	1,024	1,116	1,314	1,402	1,458	56	4.0
検挙人員		679	610	719	854	993	982	1,094	1,134	1,310	1,356	46	3.5
うち来日外国人 (割合%)		74	65	43	63	160	132	138	163	218	201	-17	-7.8
		10.9	10.7	6.0	7.4	16.1	13.4	12.6	14.4	16.6	14.8	-1.8	-
検挙率		76.7	72.4	73.3	68.3	61.9	57.3	47.8	53.9	48.9	52.5	3.6	ポイント

図表 2 - 2 - (1) - 2 侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
侵入強盗		1,032	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	-89	-3.1
侵入強盗に伴う身体犯		321	335	340	379	527	550	627	689	741	727	-14	-1.9
	侵入強盗殺人・致死	14	16	24	44	44	42	58	52	48	51	3	6.3
	侵入強盗傷人	271	271	252	287	398	446	477	557	572	552	-20	-3.5
	侵入強盗強姦	36	48	64	48	85	62	92	80	121	124	3	2.5

注：「侵入強盗に伴う身体犯」とは、侵入強盗殺人・致死、侵入強盗傷人、侵入強盗強姦とした。

図表 2 - 2 - (1) - 3 侵入強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,865	100.0	2,776	100.0	-89	-3.1
住宅		891	31.1	954	34.4	63	7.1
	一戸建住宅	403	14.1	464	16.7	61	15.1
	共同住宅(4階建以上)	240	8.4	263	9.5	23	9.6
	共同住宅(3階建以下)	248	8.7	227	8.2	-21	-8.5
一般事務所		83	2.9	57	2.1	-26	-31.3
商店		1,294	45.2	1,242	44.7	-52	-4.0
生活環境営業		305	10.6	292	10.5	-13	-4.3
金融機関等		211	7.4	189	6.8	-22	-10.4
その他		81	2.8	42	1.5	-39	-48.1

注：「その他」とは、学校(幼稚園)、病(医)院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (1) - 4 侵入強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平15		302	516	430	81	113	170	183	212	150	210	248	242	8	2,865
平16		280	493	423	95	105	203	172	172	164	224	234	210	1	2,776
	(割合%)	10.1	17.8	15.2	3.4	3.8	7.3	6.2	6.2	5.9	8.1	8.4	7.6	0.0	100.0
増減	件数	-22	-23	-7	14	-8	33	-11	-40	14	14	-14	-32	-7	-89
	率(%)	-7.3	-4.5	-1.6	17.3	-7.1	19.4	-6.0	-18.9	9.3	6.7	-5.6	-13.2	-87.5	-3.1

注：平成16年は、発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 2 - (1) - 5 侵入強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,392	100.0	1,443	100.0	51	3.7
成人事件の総数		1,296	93.1	1,311	90.9	15	1.2
単独		1,050	81.0	996	76.0	-54	-5.1
共犯		246	19.0	315	24.0	69	28.0
少年事件の総数		67	4.8	84	5.8	17	25.4
単独		54	80.6	56	66.7	2	3.7
共犯		13	19.4	28	33.3	15	115.4
成人・少年共犯事件の総数		29	2.1	48	3.3	19	65.5

注：解決事件を除く。

(2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数は、平成10年以降増加傾向にあったが、平成15年には前年に比べ1.5%減少し、平成16年は29万595件で、前年に比べ4万2,638件(12.8%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少したが、検挙件数は平成14年、検挙人員は平成15年には増加に転じた。平成16年の検挙件数は10万4,816件で、前年に比べ5,104件(4.6%)減少し、検挙人員は1万3,548人で、前年に比べ660人(4.6%)減少している。

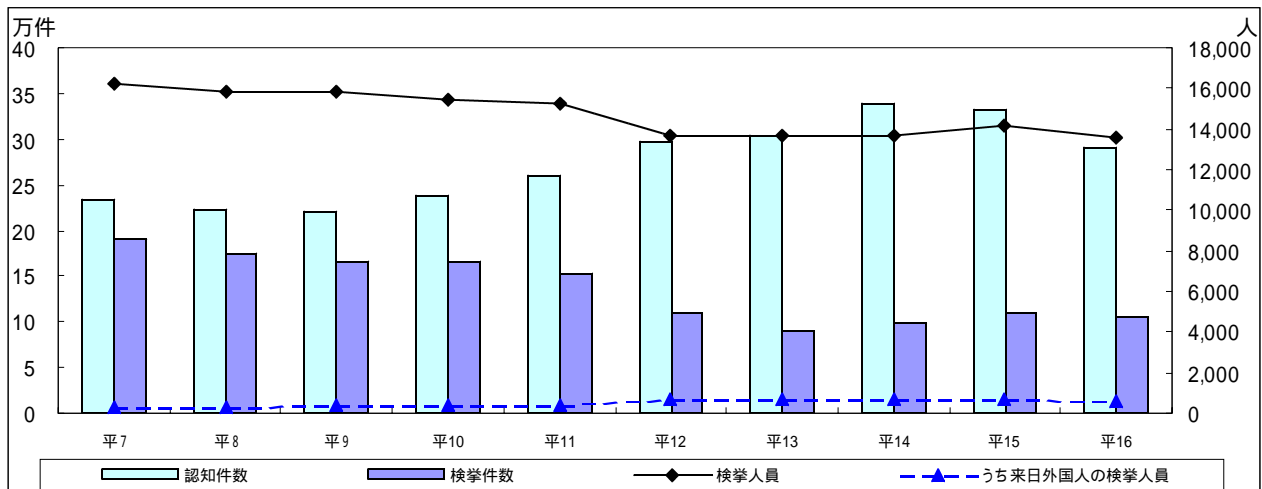
来日外国人の検挙人員は、平成12年以降急激に増加し、平成15年には平成7年の2.6倍となっているが、平成16年は565人で、前年に比べ139人(19.7%)減少している(図表2-2-(2)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が60.1%(うち一戸建住宅が35.0%、4階建以上の共同住宅が9.4%、3階建以下の共同住宅が15.7%)、一般事務所が14.2%、商店9.1%、生活環境営業が7.5%を占めている。また、侵入口・侵入手段を発生場所別に見ると、侵入口は、一戸建住宅及び3階建以下の共同住宅は窓、4階建以上の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多く、侵入手段は、一戸建住宅、3階建以下の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業はガラス破り、4階建以上の共同住宅は施錠開けが最も多い(図表2-2-(2)-2、3)。

平成14年まで多発していたピッキング用具を使用した侵入窃盗は、平成16年には4,355件で、前年に比べ4,996件(53.4%)減少し、平成15年に多発したドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗(ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口)は、平成16年には1,763件で、前年に比べ2,603件(59.6%)減少している(図表2-2-(2)-4、5)。

侵入窃盗の検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では単独犯、共犯の数に大きな差はない(図表2-2-(2)-6)。

図表2-2-(2)-1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
	認知件数	234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8
	検挙件数	189,368	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	-5,104	-4.6
	検挙人員	16,275	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	-660	-4.6
	うち来日外国人 (割合%)	268 1.6	308 1.9	362 2.3	390 2.5	438 2.9	674 4.9	688 5.0	658 4.8	704 5.0	565 4.2	-139 -0.8	-19.7 -
	検挙率	80.7	77.9	74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	3.1	ポイント

図表2-2-(2)-2 侵入窃盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
	認知件数	333,233	100.0	290,595	100.0	-42,638	-12.8
	住宅	192,383	57.7	174,519	60.1	-17,864	-9.3
	一戸建住宅	111,998	33.6	101,711	35.0	-10,287	-9.2
	共同住宅(4階建以上)	32,906	9.9	27,242	9.4	-5,664	-17.2
	共同住宅(3階建以下)	47,479	14.2	45,566	15.7	-1,913	-4.0
	一般事務所	51,401	15.4	41,362	14.2	-10,039	-19.5
	商店	33,105	9.9	26,404	9.1	-6,701	-20.2
	生活環境営業	26,000	7.8	21,893	7.5	-4,107	-15.8
	金融機関等	627	0.2	626	0.2	-1	-0.2
	その他	29,717	8.9	25,791	8.9	-3,926	-13.2

注:「その他」とは、学校(幼稚園)、病(医)院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (2) - 3 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成16年）

	総数	施錠開け	錠破り	ガラス破り	その他の破壊	戸外し	開け放し	施錠設備なし	施錠せず	その他	不明	
一戸建住宅	認知件数	101,711	3,109	1,072	44,791	3,220	1,125	3,760	643	35,939	2,713	5,339
	表出入口	13,984	1,671	263	904	171	43	797	189	8,971	444	531
	非常口	20	1	0	10	4	0	0	0	4	0	1
	その他の出入口	19,174	919	479	6,097	1,473	125	518	209	8,243	601	510
	窓	61,637	495	318	37,196	1,483	924	2,158	200	16,631	1,388	844
	その他	1,711	20	12	582	89	33	76	25	518	188	168
不明	5,185	3	0	2	0	0	211	20	1,572	92	3,285	
共同住宅（4階建以上）	認知件数	27,242	8,497	643	8,300	1,205	49	641	51	4,708	651	2,497
	表出入口	13,586	8,279	534	105	937	7	202	20	2,234	349	919
	非常口	46	12	2	5	5	0	1	0	14	3	4
	その他の出入口	83	6	6	40	4	0	1	1	22	3	0
	窓	11,871	175	97	8,106	249	40	417	28	2,326	218	215
	その他	219	18	4	44	10	2	10	0	32	57	42
不明	1,437	7	0	0	0	0	10	2	80	21	1,317	
共同住宅（3階建以下）	認知件数	45,566	5,542	597	22,533	938	289	1,142	170	10,445	1,037	2,873
	表出入口	11,834	5,160	379	383	447	25	275	48	4,008	346	763
	非常口	57	9	3	12	2	1	2	0	21	2	5
	その他の出入口	2,088	96	39	874	124	16	79	34	693	68	65
	窓	29,228	256	172	21,105	344	237	740	76	5,393	496	409
	その他	536	19	4	156	21	10	19	9	108	100	90
不明	1,823	2	0	3	0	0	27	3	222	25	1,541	
一般事務所	認知件数	41,362	3,121	2,576	20,458	4,504	906	615	265	5,512	1,411	1,994
	表出入口	15,111	2,158	1,799	5,017	2,255	304	306	109	2,040	528	595
	非常口	488	44	62	178	100	1	6	3	63	12	19
	その他の出入口	8,353	667	604	3,401	1,490	115	135	75	1,296	314	256
	窓	15,040	211	86	11,309	426	456	116	36	1,831	348	221
	その他	1,330	37	25	549	233	30	21	27	163	181	64
不明	1,040	4	0	4	0	0	31	15	119	28	839	
商店	認知件数	26,404	1,865	1,942	10,919	4,813	630	426	232	2,984	1,386	1,207
	表出入口	9,094	1,052	953	3,227	1,607	208	202	83	901	520	341
	非常口	446	43	60	131	123	5	3	1	38	19	23
	その他の出入口	8,637	675	862	2,698	2,357	132	126	95	1,082	362	248
	窓	6,470	70	31	4,505	351	259	73	27	846	225	83
	その他	1,240	23	36	357	375	26	12	21	76	241	73
不明	517	2	0	1	0	0	10	5	41	19	439	
生活環境営業	認知件数	21,893	2,028	2,166	7,261	4,423	465	361	131	2,740	951	1,367
	表出入口	8,281	1,202	1,346	2,010	1,621	107	149	49	900	353	544
	非常口	437	55	43	94	122	2	7	2	77	14	21
	その他の出入口	7,547	703	730	2,289	2,252	86	80	41	866	268	232
	窓	4,432	51	32	2,712	258	255	99	21	762	169	73
	その他	640	14	15	156	170	15	15	10	80	129	36
不明	556	3	0	0	0	0	11	8	55	18	461	

図表 2 - 2 - (2) - 4 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分	年次	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
							件数	率 (%)
認知件数		29,211	19,568	19,121	9,351	4,355	-4,996	-53.4
検挙件数		-	-	4,736	3,299	2,418	-881	-26.7
検挙率		-	-	24.8	35.3	55.5	20.2	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成12年から、検挙件数は平成14年から調査を開始した。）。また、平成16年は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 5 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分	年次	平14	平15	平16	増減	
					件数	率 (%)
認知件数		840	4,366	1,763	-2,603	-59.6
検挙件数		-	182	999	817	448.9
検挙率		-	4.2	56.7	52.5	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成14年から、検挙件数は平成15年から調査を開始した。）。また、平成16年は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 6 侵入窃盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		109,112	100.0	103,555	100.0	-5,557	-5.1
成人事件の総数		100,148	91.8	96,528	93.2	-3,620	-3.6
単独		79,489	79.4	75,080	77.8	-4,409	-5.5
共犯		20,659	20.6	21,448	22.2	789	3.8
少年事件の総数		6,483	5.9	4,872	4.7	-1,611	-24.8
単独		3,355	51.8	2,690	55.2	-665	-19.8
共犯		3,128	48.2	2,182	44.8	-946	-30.2
成人・少年共犯事件の総数		2,481	2.3	2,155	2.1	-326	-13.1

注：解決事件を除く。

(3) 住居侵入

住居侵入の認知件数は、平成12年以降急激に増加し、平成15年には平成7年の3.7倍となっているが、平成16年は3万7,857件で、前年に比べ2,491件（6.2%）減少している。

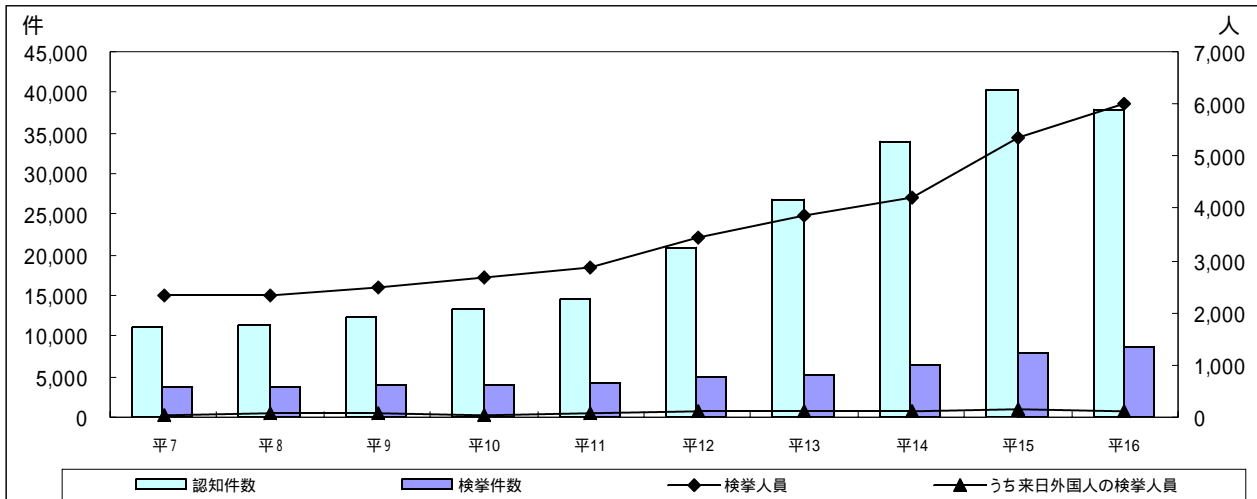
検挙件数、検挙人員は年々増加しており、平成16年の検挙件数は8,566件で、前年に比べ746件（9.5%）増加し、検挙人員は5,993人で、前年に比べ632人（11.8%）増加している。

来日外国人の検挙人員は、増加傾向にあり、平成15年には平成7年の3.1倍となっているが、平成16年は127人で、前年に比べ7人（5.2%）減少している（図表2-2-(3)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が62.7%（うち一戸建住宅が34.5%、4階建以上の共同住宅が10.0%、3階建以下の共同住宅が18.2%）、一般事務所が9.3%、商店が7.0%、生活環境営業が5.6%を占めている（図表2-2-(3)-2）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多く、少年事件では共犯が多い（図表2-2-(3)-3）。

図表 2 - 2 - (3) - 1 住居侵入の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		11,009	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	-2,491	-6.2
検挙件数		3,724	3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820	8,566	746	9.5
検挙人員		2,324	2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361	5,993	632	11.8
うち来日外国人 (割合%)		43	65	67	44	78	98	99	110	134	127	-7	-5.2
		1.9	2.8	2.7	1.6	2.7	2.8	2.6	2.6	2.5	2.1	-0.4	-
検挙率		33.8	32.6	32.6	30.2	28.1	23.0	19.7	19.1	19.4	22.6	3.2ポイント	

図表 2 - 2 - (3) - 2 住居侵入の発生場所別認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		40,348	100.0	37,857	100.0	-2,491	-6.2
住宅		24,765	61.4	23,730	62.7	-1,035	-4.2
一戸建住宅		14,231	35.3	13,065	34.5	-1,166	-8.2
共同住宅(4階建以上)		3,978	9.9	3,776	10.0	-202	-5.1
共同住宅(3階建以下)		6,556	16.2	6,889	18.2	333	5.1
一般事務所		4,217	10.5	3,517	9.3	-700	-16.6
商店		3,151	7.8	2,649	7.0	-502	-15.9
生活環境営業		2,362	5.9	2,137	5.6	-225	-9.5
金融機関等		180	0.4	149	0.4	-31	-17.2
その他		5,673	14.1	5,675	15.0	2	0.0

注：「その他」とは、学校（幼稚園）、病（医）院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (3) - 3 住居侵入の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		7,695	100.0	8,365	100.0	670	8.7
成人事件の総数		6,259	81.3	6,925	82.8	666	10.6
単独		5,574	89.1	6,091	88.0	517	9.3
共犯		685	10.9	834	12.0	149	21.8
少年事件の総数		1,296	16.8	1,307	15.6	11	0.8
単独		577	44.5	545	41.7	-32	-5.5
共犯		719	55.5	762	58.3	43	6.0
成人・少年共犯事件の総数		140	1.8	133	1.6	-7	-5.0

注：解決事件を除く。

(余白)

第3 振り込め詐欺の特徴的傾向

(余白)

1 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成7年以降4万件台で推移していたが、平成15年は6万件を超え、平成16年は8万3,015件で、前年に比べ2万2,717件（37.7%）増加している。

検挙件数は平成9年以降減少傾向にあり、平成16年は2万6,617件で、前年に比べ3,747件（12.3%）減少している。また、検挙人員は平成12年以降増加傾向にあり、平成16年は1万1,238人で、前年に比べ1,044人（10.2%）増加している（図表3-1）。

図表3-1 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数	45,923	49,394	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	60,298	83,015	22,717	37.7
検挙件数	42,940	46,582	46,233	44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	30,364	26,617	-3,747	-12.3
検挙人員	8,846	8,256	8,748	8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	10,194	11,238	1,044	10.2
検挙率(%)	93.5	94.3	93.5	92.0	88.3	79.4	69.6	63.8	50.4	32.1	-18.3	

2 振り込め詐欺（恐喝）

近時、息子等親族を装い交通事故示談金等名下に現金を騙し（脅し）取る広域多額詐欺事件等のいわゆるオレオレ詐欺や架空の事実を口実として金品を要求する文書等を送付するなどして金品を騙し（脅し）取る架空請求詐欺、実際には融資をしないにもかかわらず、融資する旨の文書等を送付して、融資を申し込んだ者に対し、保証金等名下に金品を騙し取る融資保証金詐欺が増加している（これら3種類の詐欺のほとんどが預貯金口座への振り込みを要求するものであることから、被害予防の観点から、「すぐに振り込まないこと」を国民へ注意喚起するため、以下、これらを総称して「振り込め詐欺」（恐喝）と呼ぶこととした。）

振り込め詐欺（恐喝）は、電話、文書、インターネット等を利用して不特定多数から金員を騙し（脅し）取るものであり、一度に高額被害が発生するとともに、犯行に利用される携帯電話や預貯金口座が不正に入手した他人・架空名義のものであり、犯行の匿名性が高いなどの特徴を有している。

このうち、振り込め詐欺（恐喝）に利用された金融機関の口座の不正入手については、金融機関被害の詐欺罪、又は、盗品等有償譲受け罪（以下「通帳等詐欺事件」という。）として取締りを行ってきたが、金融機関等による顧客等の本人確認等に関する法律が改正され、新たに預貯金通帳等の有償譲受け等が処罰されることとなった（平成16年12月30日施行）。

平成16年の振り込め詐欺（恐喝）の認知事件数は、2万5,667件（うち既遂2万194件）で、被害額は283億7,865万7,974円となっており、検挙事件数は1,305件で検挙人員は548人である（図表3-2）。

図表 3 - 2 振り込め詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

	振り込め詐欺（恐喝）		
	合計	うち詐欺	うち恐喝
認知事件数	25,667	25,124	543
うち既遂	20,194	19,729	465
被害総額	28,378,657,974	27,624,539,006	754,118,968
検挙事件数	1,305	1,256	49
検挙人員	548	491	57

注：本表は、実務統計による集計数値である。

(1) いわゆるオレオレ詐欺

平成16年のいわゆるオレオレ詐欺の認知事件数は1万4,459件（うち既遂9,163件）で、前年に比べ7,955件増加し、昨年1年間の認知事件数の2.2倍となっており、被害額は184億7,446万7,084円に上っている（図表3-2-(1)-1、2）。

認知事件数を形態別（詐欺文言別）に見ると、交通事故示談金名目が8,832件（構成比61.1%）と最も多く、次いで、サラ金等借金返済名目が3,430件（同23.7%）、妊娠中絶手術費用名目が693件（同4.8%）となっている（図表3-2-(1)-3）。

また、平成16年の既遂事件1件当たりの被害額（被害総額÷既遂事件の認知事件数）は、201万6,203円で、前年に比べ101万6,372円増加している。これを月別で見ると、ほぼ増加傾向にあり、平成16年9月中は252万3,918円と、月別に統計を取り始めた平成15年10月以降最高額となり、同月に比べ、約2.4倍であったが、10月はわずかに減少し、その後横這いで推移している（図表3-2-(1)-1、4）。また、犯行の態様も、「交通事故を起こしたが、相手側に妊娠した女性が乗っていて、赤ちゃんに後遺症が残る。」などと、より高額な慰謝料が必要であるかのように仕向けたり、一度騙した相手に電話を掛け金銭を要求し何度も騙し取ったりするなど、犯行が一層悪質化している。

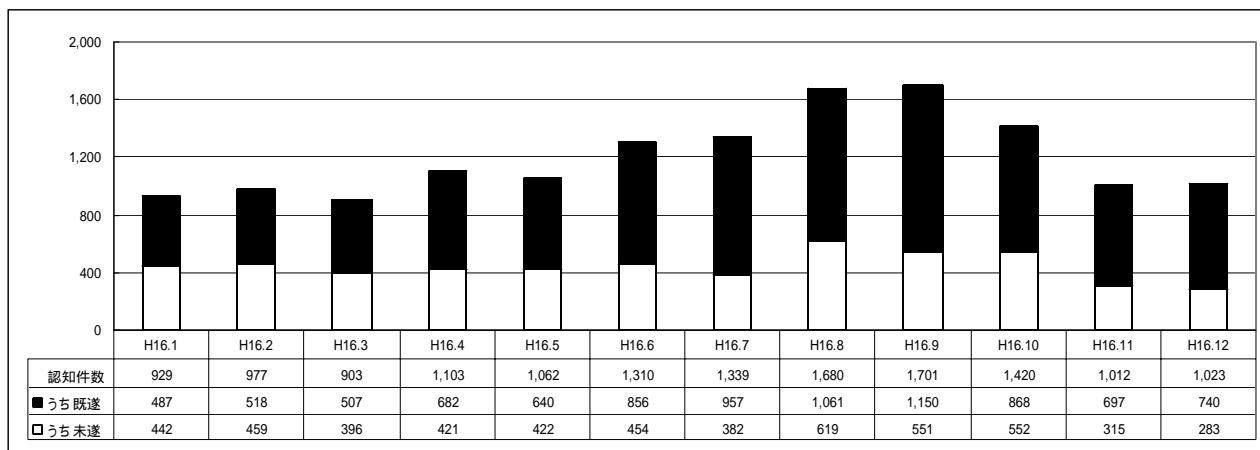
一方、平成16年のいわゆるオレオレ詐欺の検挙事件数は911件で前年に比べ732件増加しており、検挙人員は270人で前年に比べ212人増加している（図表3-2-(1)-1、5）。

図表 3 - 2 - (1) - 1 いわゆるオレオレ詐欺の認知・検挙状況

	平成15年	平成16年	増 減
認知事件数	6,504	14,459	7,955
うち既遂	4,319	9,163	4,844
被害総額	4,318,268,642	18,474,467,084	14,156,198,442
1件当たりの被害額	999,831	2,016,203	1,016,372
検挙事件数	179	911	732
検挙人員	58	270	212

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 2 いわゆるオレオレ詐欺の月別認知事件数の推移



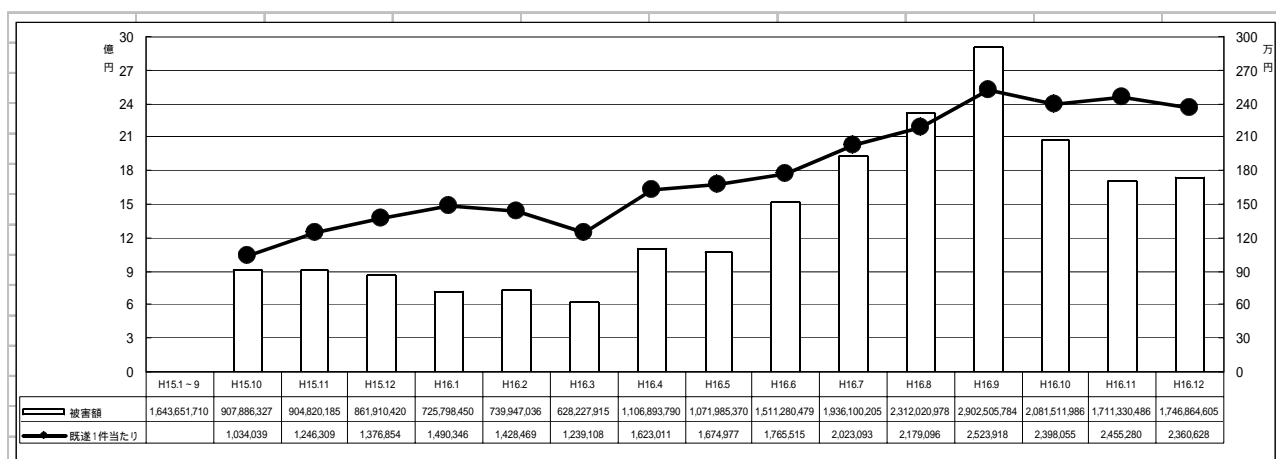
注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 3 いわゆるオレオレ詐欺の形態別（詐欺文言別）認知事件数

区分	平成15年		平成16年	
	件数	構成比（%）	件数	構成比（%）
交通事故示談金名目	4,035	62.0	8,832	61.1
サラ金等借金返済名目	1,268	19.5	3,430	23.7
妊娠中絶手術費用名目	367	5.6	693	4.8
その他の名目	834	12.8	1,504	10.4
合計	6,504	100.0	14,459	100.0

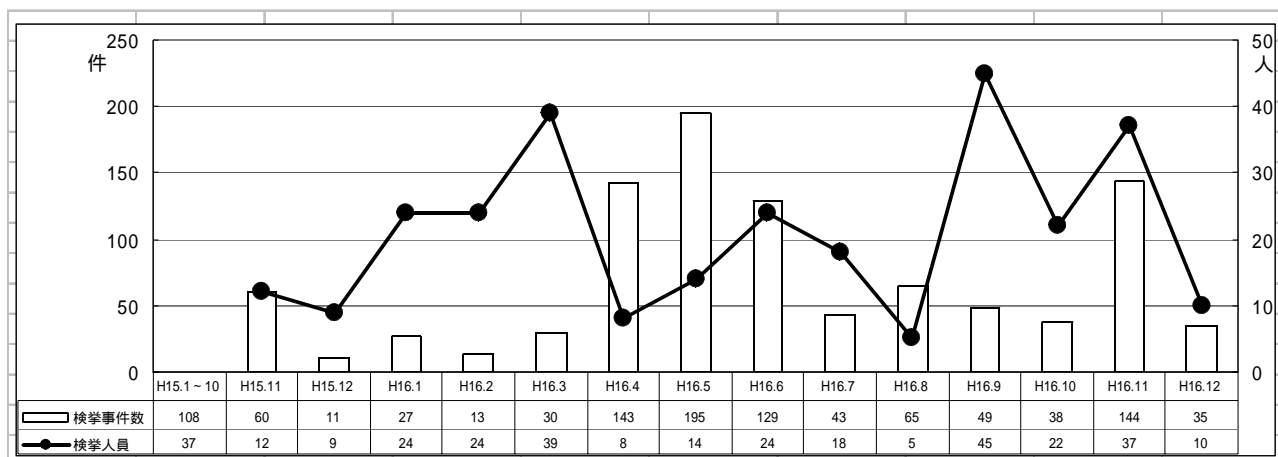
注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 4 いわゆるオレオレ詐欺の月別被害総額と既遂1件当たりの被害額



注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 5 いわゆるオレオレ詐欺の月別検挙状況の推移



注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】親族等を装った交通事故示談金等融通名下の広域連続多額詐欺及びふれあい友の会グループによる転売目的の口座開設詐欺事件（警視庁・富山・福井・兵庫）

平成15年10月ころ、無職の男（21）らは、被害者に電話をかけ、同人の孫になりすまし、「オートバイを運転していて自動車にぶつかった。修理代が必要なので金融会社から金を借りました。その金を返さなければならぬので、円振り込んでくれ。」などと嘘を言い、同人をして、電話の相手が孫本人であり緊急に金の融通を依頼してきたものと誤信させ、現金数十万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。

また、平成15年9月ころ、電話代行業の男（41）らは、「ふれあい友の会」を自称し、譲渡目的を秘して共犯者名義の預金口座を開設し、預金通帳及びキャッシュカードを騙し取るなどし、平成13年8月ころから平成15年10月ころまでの間、1口座数万円で約1,200口座を売買した。平成16年5月までに被疑者14人を詐欺罪で検挙した。

【事例2】親族等を装った物品購入代金等融通名下の広域連続多額詐欺及び転売目的の口座開設詐欺事件（長崎・京都・警視庁）

平成15年11月ころ、無職の男（22）らは、被害者に電話をかけ、同人の孫になりすまし、「先月、通信販売の代金を払い損ない、円を1回で払わなければならなくなった。立て替えてくれなければサラ金で借りるしかない。」などと嘘を言い、同人をして、電話の相手が孫本人であり緊急に金の融通を依頼してきたものと誤信させ、現金数十万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。

また、平成15年4月ころから平成16年2月ころまでの間、同人らは、第三者に譲渡する目的を秘して約300口座を開設し、預貯金通帳及びキャッシュカードを騙し取った上、ホームページを開設し、1口座数万円で約200口座を売却していた。平成16年4月までに被疑者10人を詐欺罪で検挙した。

【事例3】親族等を装ったいわゆる「オレオレ詐欺」事件（神奈川・栃木・新潟）

平成15年12月ころ、暴力団員の男（22）らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまし、「彼女を妊娠させてしまい、知人から金を借りました。元本だけでも返さなければならぬ。」などと嘘を言い、同

人をして、電話の相手が息子本人であり緊急に金の融通を依頼してきたものと誤信させ、現金数百万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。平成16年12月までに、被疑者6人を詐欺罪等で検挙した。

(2) 誘拐等を偽装した恐喝（いわゆるオレオレ恐喝）

平成16年の誘拐等を偽装した恐喝の認知事件数は415件（うち既遂352件）で、前年に比べ284件増加している。被害総額は6億5426万2,020円で前年に比べ5億7,843万7,020円増加している。また、検挙状況については、検挙事件数が43件で前年に比べ36件増加しており、検挙人員が35人で前年に比べ15人増加している（図表3-2-(2)）。

図表3-2-(2)誘拐等を偽装した恐喝の認知・検挙状況

	平成15年	平成16年	増減
認知事件数	131	415	284
うち既遂	47	352	305
被害総額	75,825,000	654,262,020	578,437,020
検挙事件数	7	43	36
検挙人員	20	35	15

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】親族等を装った交通事故示談金等融通名下の広域連続多額詐欺及び誘拐を偽装した通信恐喝事件（山梨）

平成15年11月ころ、無職の男（22）らは、被害者に電話をかけ、「あなたの息子が連帯保証人になっている。3時まで金を振り込まないと、ここにいる息子がどうなるか分からないぞ。」などと申し向け、同人をして、その要求に応じなければ親族の生命・身体に危害が及ぶものと畏怖させ、現金百数十万円を銀行口座に振り込ませて脅し取った。

また、平成15年11月ころから12月ころまでの間、無職の男（20）らは、第三者に譲渡する目的を秘して口座を開設し、預貯金通帳及びキャッシュカードを騙し取った。平成16年4月までに少年を含む被疑者14人を詐欺罪・恐喝罪で検挙した。

(3) 架空請求詐欺（恐喝）

平成16年の架空請求詐欺事件の認知事件数は5,101件（うち既遂5,011件）で、被害総額は54億533万934円となっている。また、検挙状況については、検挙事件数が294件、検挙人員が207人となっている。（図表3-2-(3)-1）

架空請求詐欺（恐喝）の認知事件数を形態別（詐欺・恐喝文言別）に見ると、有料サイト利用料金名目が2,646件（構成比51.9%）で最も多く、次いでサラ金等からの借金返済・債権回収名目が1,966件（同38.5%）、調査業（興信所、探偵社等）を装った調査結果処分請求名目が50件（同1.0%）となっている（図表3-2-(3)-2）

図表 3 - 2 - (3) - 1 架空請求詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分	罪種等	架空請求		
		合計	うち詐欺	うち恐喝
認知事件数		5,101	4,973	128
	うち既遂	5,011	4,898	113
被害総額		5,405,330,934	5,305,473,986	99,856,948
検挙事件数		294	288	6
検挙人員		207	185	22

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 2 - (3) - 2 架空請求詐欺（恐喝）事件の形態別（詐欺・恐喝文言別）認知事件数

区分	罪種等	平成16年	
		件数	構成比（％）
有料サイト利用料金名目		2,646	51.9
借金返済・債権回収名目		1,966	38.5
調査結果処分料請求名目		50	1.0
その他の名目		439	8.6
合計		5,101	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例 1】郵便はがき使用の債権回収を仮装したいわゆる架空請求詐欺事件（愛知・石川）

無職の男（43）らは、「あなたが利用している金融機関から債権回収の依頼を受けた。支払いがなければ、自宅や勤務先に回収に行くことになる。」などと虚偽の内容を記したはがきを送付し、現金を無職の男が管理する預貯金口座へ振り込ませ、数十万円を騙し取った（3月2日検挙）。

【事例 2】口座密売グループによる売買目的口座開設詐欺及び出会い系サイト利用料金請求名下の架空請求詐欺事件（埼玉・奈良・宮崎）

平成16年1月ころ、無職の男（26）らは、被害者に電話をかけ、有料出会い系サイトの架空の料金回収業者になりすまし、「あなたが出会い系サイトを使った記録が残っている。うちの会社が債権回収の委託を受けたサイトの料金と延滞料、合わせて 万円を振り込んでください。払って貰えなければ裁判をします。債権回収にあなたの家へ行きます。」などと嘘を言い、同人をしてその旨誤信させ、現金数十万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。

また、犯行に使用した預貯金口座は、インターネットで知った口座売人である無職の男（32）らから購入していた。平成16年8月までに被疑者15人を詐欺罪で検挙した。

【事例3】息子等を装った株式投資損失補填名下の広域詐欺及び出会い系サイト利用料金請求名下の架空請求詐欺事件（広島・鳥取）

平成16年4月ころ、無職の男（27）らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまし、「株で損をしたので送金してほしい。」などと嘘を言い、同人をして電話の相手が息子本人であり、緊急に金の融通を依頼してきたものと誤信させ、現金数百万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。

また、平成16年3月ころ、無職の男（26）らは、被害者に電話をかけ、「出会い系サイトの利用料金が未納であり、支払わないと裁判を起す。」などと嘘を言い、同人をしてその旨誤信させ、現金数万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。平成16年8月までに被疑者13人を詐欺罪で検挙した。

(4) 融資保証金詐欺

平成16年の融資保証金詐欺の認知事件数は5,692件（うち既遂5,668件）で、被害総額は38億4,459万7,936円となっている。また、検挙状況については、検挙事件数が57件、検挙人員が36人となっている（図表3-2-(4)）。

図表3-2-(4) 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分	罪種等	融資保証金詐欺
認知事件数		5,692
うち既遂		5,668
被害総額		3,844,597,936
検挙事件数		57
検挙人員		36

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】金融業者による融資保証金名下の詐欺事件（栃木）

平成15年6月ころ、金融業者(27)らは、融資申込みしてきた被害者に対し、「融資を受けるのに信用を得る必要があるので、消費者金融会社の無人機でカードを作り、利用限度額いっぱいのお金を借りてください。確認のため、借りた現金と使用したカードを全部こちらに預けてください。」などと嘘を言い、被害者から現金数百万円とキャッシングカードを騙し取った（1月23日検挙）。

(余白)

第4 刑法犯の現況

(余白)

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取・誘拐、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、強盗と強制わいせつの増加に伴い、平成11年以降急増していたが、平成16年の認知件数は2万2,568件で、放火、略取・誘拐を除く、殺人、強盗、強姦、強制わいせつの認知件数が減少したため、前年に比べ1,403件（5.9%）減少している（図表4-1-（1））。

検挙件数は1万1,812件、検挙人員は9,931人で、前年に比べ、検挙件数は550件（4.4%）、検挙人員は855人（7.9%）とそれぞれ減少している。

検挙率は52.3%で、前年に比べ0.7ポイント上昇している。

図表4-1-（1）重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数	10,652	11,286	12,366	12,725	14,682	18,281	21,530	22,294	23,971	22,568	-1,403	-5.9
	検挙件数	9,643	9,925	10,798	10,700	10,491	11,049	11,418	11,186	12,362	11,812	-550	-4.4
	検挙人員	6,969	7,323	8,654	8,980	9,307	9,954	9,905	10,029	10,786	9,931	-855	-7.9
	検挙率	90.5	87.9	87.3	84.1	71.5	60.4	53.0	50.2	51.6	52.3	0.7	ポイント
殺人	認知件数	1,281	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	-33	-2.3
	検挙件数	1,236	1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	-24	-1.8
	検挙人員	1,295	1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	-65	-4.5
	検挙率	96.5	98.3	95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	0.5	ポイント
強盗	認知件数	2,277	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	-369	-4.8
	検挙件数	1,882	1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	-189	-4.9
	検挙人員	2,169	2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	-544	-11.6
	検挙率	82.7	80.1	79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	0.0	ポイント
放火	認知件数	1,710	1,846	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	104	5.0
	検挙件数	1,645	1,749	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	65	4.5
	検挙人員	685	710	749	693	750	789	783	815	866	867	1	0.1
	検挙率	96.2	94.7	93.2	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	-0.4	ポイント
強姦	認知件数	1,500	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	-296	-12.0
	検挙件数	1,410	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	-166	-10.6
	検挙人員	1,160	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	-235	-17.5
	検挙率	94.0	88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	1.0	ポイント
略取・誘拐	認知件数	240	251	284	221	249	302	237	251	284	320	36	12.7
	検挙件数	238	250	279	211	244	272	211	215	231	232	1	0.4
	検挙人員	196	189	167	141	164	180	179	173	151	187	36	23.8
	検挙率	99.2	99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	-8.8	ポイント
強制わいせつ	認知件数	3,644	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	-845	-8.4
	検挙件数	3,232	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	-237	-6.1
	検挙人員	1,464	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	-48	-2.1
	検挙率	88.7	85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	1.0	ポイント

(2) 殺人事件の状況

平成16年の認知件数は1,419件、検挙件数は1,342件、検挙人員は1,391人で、前年に比べ、認知件数が33件(2.3%)、検挙件数が24件(1.8%)、検挙人員が65人(4.5%)それぞれ減少している。検挙率は94.6%で、前年に比べ0.5ポイント増加している(図表4-1-(2)-1)。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが135件で最も多く、次いで午後10時から午前0時までが132件、午後8時から午後10時までが127件となっている。

(図表4-1-(2)-2)。

また、発生場所は、住宅が823件(58.0%)で最も多く、次いで道路上が208件(14.7%)となっている

(図表4-1-(2)-3)。

検挙した事件を見ると、被疑者の性別では、男性が1,110人(79.8%)、女性が281人(20.2%)となっている。少年被疑者は57人で、前年に比べ36人(38.7%)減少している。

動機別に見ると、憤怒が509件、怨恨が230件、痴情が55件となっており、これらで全体の64.9%を占めている。また、犯行後の逃走手段は、車両(盗難車を含む。)を利用したものが267件と、全体の21.8%を占めている(図表4-1-(2)-4)。

図表4-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		1,281	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	-33	-2.3
検挙件数		1,236	1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	-24	-1.8
検挙人員		1,295	1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	-65	-4.5
検挙率(%)		96.5	98.3	95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	0.5ポイント	
被害(死亡)者数		724	652	710	775	736	678	696	662	697	699	2	0.3
	男性	384	360	398	419	398	348	382	347	379	366	-13	-3.4
	女性	340	292	312	356	338	330	314	315	318	333	15	4.7

図表4-1-(2)-2 殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況(平成16年)

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
1,419	135	111	81	75	79	81	72	88	109	119	127	132	210

図表4-1-(2)-3 殺人事件の発生場所別認知件数の状況(平成16年)

認知件数	住宅	道路上	駐車(輪)場	その他
1,419	823	208	63	325

図表 4 - 1 - (2) - 4 殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成16年）

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
1,224	46	221	32	925

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】加古川市における多数人殺傷事件（兵庫）

8月2日、男(47)は、近隣の2軒の民家で家人を次々と刃物で刺し、男女7名を殺害、女性1名に重傷を負わせた（8月31日検挙）。

【事例2】豊明市における母子4名殺人・現住建造物等放火事件（愛知）

9月9日、被疑者不詳は、民家で母子4名を殺害した後、放火した（捜査中）。

【事例3】長野・愛知県にまたがる広域連続持凶器強盗殺人事件（長野、愛知）

1月から9月にかけて、男(27)は、長野県内で独居の男女3名を、愛知県内でタクシー運転手1名を殺害し、現金等を強取した（9月17日検挙）。

【事例4】大牟田市における連続4名殺人・死体遺棄事件（福岡）

9月17日から18日までの間、男(20)は、他の被疑者3名と共謀して4名を殺害し、付近の川に死体を遺棄した（10月26日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

平成16年の捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は145件、解決率は81.4%で、それぞれ前年と同等である（図表4-1-(2)-5）。

平成16年の捜査本部設置事件を見ると、殺害方法については、刺殺48件（33.1%）、扼殺17件（11.7%）、絞殺13件（9.0%）、撲殺12件（8.3%）の順になっている。このうち、検挙した93件を見ると、動機別では、借金・金銭に絡むものが51件（54.8%）と約半数を占め、これに続いて怨恨13件（14.0%）、喧嘩10件（10.8%）などとなっている。

平成16年の暴力団犯罪捜査担当課の主管する捜査本部設置事件は13件、解決事件数は16件、解決率は123.1%となっている。

注：ここでいう「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長(警視庁については、組織犯罪対策部長を含む。)を長とする捜査本部(警視庁については特別捜査本部)を設置した事件である。

図表 4 - 1 - (2) - 5 捜査本部設置・解決状況の推移

年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減率 (%)
設置事件 数(件)	110	120	144	140	135	152	165	176	145	145	0
解決事件 数(件)	94	104	113	114	106	102	122	140	118	117	-0.8
解 決 率 (%)	85.5	86.7	78.5	81.4	78.5	67.1	73.9	79.5	81.4	80.7	-
								89.5	55.6	123.1	-

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：平成14年以降については、暴力団犯罪捜査担当課において設置したものを下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

平成16年の通り魔殺人事件（注）の認知・検挙事件数は、それぞれ3件で、前年に比べ、認知・検挙事件数ともに大きく減少している（図表 4 - 1 - (2) - 6）。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表 4 - 1 - (2) - 6 通り魔殺人事件の認知検挙の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		5	11	4	10	6	7	6	8	9	3	-6	-66.7
検挙事件数(件)		5	10	3	10	6	7	6	6	9	3	-6	-66.7

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成16年中に検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例1】伊勢原市の路上における男性殺人未遂事件（神奈川）

3月25日、男(35)は、路上において、求職活動がうまくいかないなどの理由から、歩行中、偶然にすれ違った男性を殺害しようと包丁で刺したが、傷害を負わせるにとどまった（3月25日検挙）。

【事例2】西砺波郡福光町における女子高校生による殺人未遂事件（富山）

7月22日、2名の女子高校生は、路上において、殺意をもって、祭礼見物に来ていた男性の背中を刺したが、傷害を負わせるにとどまった（7月23日検挙）。

【事例3】南都留郡鳴沢村における女性殺人事件（山梨）

11月28日、男(45)は、人を殺せば刑務所に入って生活ができるなどの理由から、コンビニエンスストアの駐車場に居合わせた女性をナイフで刺して殺害した（11月28日検挙）。

ウ 保険金目的殺人事件

平成16年の保険金目的殺人事件の検挙事件数は9件で、前年に比べ1件減少している（図表4-1-(2)-7）。

被疑者の被害者との関係は、親族が8件、元妻が1件で、うち5件には、親族等以外の共犯者がいた。

図表4-1-(2)-7 保険金目的殺人事件の検挙事件数の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
検挙事件数(件)		3	5	4	6	8	9	9	11	10	9	-1	-10.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例1】小野田市における保険金目的殺人未遂事件（山口）

1月26日、女(45)は、自らが看護師として勤務する病院に入院中の夫を殺害して生命保険金を得ようと企て、夫に薬物注射をして殺害しようとしたが、その目的を遂げなかった（1月29日検挙）。

【事例2】糟屋郡志免町における保険金目的前夫殺人事件（福岡）

平成6年10月22日、女(48)は、別れた夫を殺害して生命保険金を得ようと企て、男(33)と共謀して、同人を自殺に見せかけて殺害するとともに、平成12年11月12日には、同女だけで、再婚相手の夫を浴槽内での溺死に見せかけて殺害し、それぞれ生命保険金をだまし取った（9月15日、11月4日検挙）。

【事例3】小菅村地内における保険金目的放火殺人・同未遂事件（山梨）

8月19日、女(67)は、再婚相手の夫とその息子を殺害して生命保険金を得ようと企て、夫と息子が就寝中の民家に火を放ち、夫を殺害し、息子に重傷を負わせた（11月9日検挙）。

(3) 強盗事件の状況

平成16年の強盗の認知件数は7,295件、検挙件数は3,666件、検挙人員は4,154人で、前年に比べ認知件数は369件（4.8%）、検挙件数は189件（4.9%）、検挙人員は544人（11.6%）とそれぞれ減少し、検挙率は50.3%で、前年と同等である（図表4-1-(3)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが987件（13.5%）と最も多く、午後10時から午前4時までで全体の48.8%を占めている（図表4-1-(3)-2）。

また、認知件数を手口別に見ると、侵入強盗は2,776件、非侵入強盗は4,519件で、前年に比べ、侵入強盗は89件(3.1%)減少し、非侵入強盗は280件(5.8%)減少している。犯罪供用物は、強盗全体では刃物類を使用したものが30.9%で、うち侵入強盗では56.1%となっており、侵入強盗の中でも、特にコンビニ

強盗では78.1%と高くなっている（図表4-1-(3)-3）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが1,596件と、全体の44.1%を占めている（図表4-1-(3)-4）。

図表4-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人数)	率(%)
認知件数		2,277	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	-369	-4.8
検挙件数		1,882	1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	-189	-4.9
検挙人員		2,169	2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	-544	-11.6
検挙率(%)		82.7	80.1	79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	0.0	ポイント

図表4-1-(3)-2 強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成16年）

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
7,295	940	987	663	159	170	334	328	380	357	578	693	937	769

注：発生時間は、犯罪に着手した時間を計上。

図表4-1-(3)-3 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成16年）

強盗手口	犯罪供用物	総数	銃器		刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他		
			うちけん銃等		認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)					
			認知件数	割合(%)									
強盗		7,295	134	1.8	126	1.7	109	1.5	2,257	30.9	4,541	253	1
侵入強盗		2,776	94	3.4	89	3.2	55	2.0	1,556	56.1	969	102	0
住宅強盗		882	14	1.6	13	1.5	10	1.1	359	40.7	447	52	0
金融機関強盗		131	7	5.3	7	5.3	4	3.1	78	59.5	39	3	0
コンビニ強盗		812	21	2.6	20	2.5	17	2.1	634	78.1	127	13	0
その他の店舗強盗		747	42	5.6	40	5.4	20	2.7	429	57.4	234	22	0
その他		204	10	4.9	9	4.4	4	2.0	56	27.5	122	12	0
非侵入強盗		4,519	40	0.9	37	0.8	54	1.2	701	15.5	3,572	151	1
途中強盗		87	6	6.9	6	6.9	2	2.3	20	23.0	54	5	0
タクシー強盗		206	0	0.0	0	0.0	4	1.9	104	50.5	90	8	0
自動車強盗		126	2	1.6	1	0.8	4	3.2	25	19.8	92	3	0
路上強盗		2,695	12	0.4	10	0.4	27	1.0	332	12.3	2,223	101	0
その他		1,405	20	1.4	20	1.4	17	1.2	220	15.7	1,113	34	1

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「けん銃等」には、けん銃様のものを含む。

図表4-1-(3)-4 強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成16年）

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
3,621	353	1,243	276	1,749

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】薬局等店舗対象の広域にわたる連続持凶器強盗事件（埼玉、栃木、群馬、新潟）

平成13年から平成16年にかけて、男（57）は、埼玉、栃木、群馬、新潟の4県下で閉店直後の薬局等店舗の通用口で従業員を待ち伏せ、刃物で脅し、売上金を強取する犯行を二十数件重ねていた（4月5日検挙）。

【事例2】同一被疑者による横浜市、都内地下鉄駅構内におけるけん銃使用連続強盗殺人、同未遂事件（神奈川・警視庁）

5月29日、男（64）は、けん銃を使用して、横浜市内で帰宅途中の男性を殺害して現金を強取し、6月23日、地下鉄駅構内で男性に重傷を負わせ紙袋を強取した（7月1日検挙）。

【事例3】横浜市内における車両利用連続緊縛強盗致傷・逮捕監禁事件（神奈川）

平成15年11月から平成16年6月までの間、男（36）は、十数名のグループで事件ごとに組み合わせを変えて、虚言を用いて被害者を誘い出し、暴行を加えて、車両に監禁、キャッシュカード等を奪い、カードを不正に操作して現金を奪うなど、十数件の犯行を重ねていた（7月8日検挙）。

【事例4】江戸川区におけるマンション内女性強盗殺人事件（警視庁）

平成15年12月11日、中国籍の男（21）は、他の者と共謀して、マンションに侵入し、室内を物色中に女性が帰宅したことから、暴行を加えて緊縛するなどして殺害し、金品を強取した（8月18日検挙）。

【事例5】四日市市における病院医師宅強盗殺人事件（三重）

5月22日、中国籍の男（25）は、他の者と共謀して、医師宅に侵入し、就寝中の家人を緊縛して1名を殺害し、金品を強取した（9月30日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

平成16年の金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は129件（うち郵便局対象は92件、71.3%）、検挙事件数は83件で、前年に比べ、認知事件数が13件（9.2%）、検挙事件数が30件（26.5%）とそれぞれ減少している（図表4-1-(3)-5、6）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後2時から午後4時までが35件（27.1%）と最も多い（図表4-1-(3)-7）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表4-1-(3)-8）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。

図表 4 - 1 - (3) - 5 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		124	84	117	161	120	135	229	141	142	129	-13	-9.2
検挙事件数(件)		84	54	86	117	97	92	147	111	113	83	-30	-26.6
検挙率(%)		67.7	64.3	73.5	72.7	80.8	68.1	64.2	78.7	79.6	64.3	-15.3	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 6 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

年次	平15		平16		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	142	100.0	129	100.0	-13	-9.2
金融機関	54	38.0	37	28.7	-17	-31.5
銀行	27	19.0	19	14.7	-8	-29.6
信用金庫	17	12.0	10	7.8	-7	-41.2
信用組合	2	1.4	0	0.0	-2	-100.0
農(漁)業協同組合	5	3.5	8	6.2	3	60.0
その他	3	2.1	0	0.0	-3	-100.0
郵便局	88	62.0	92	71.3	4	4.5
普通郵便局	1	0.7	2	1.6	1	100.0
特定郵便局	77	54.2	83	64.3	6	7.8
簡易郵便局	10	7.0	7	5.4	-3	-30.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 7 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数(平成16年)

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
129	0	0	0	1	16	19	33	35	18	4	2	1	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 8 防犯設備の設置・活用状況(平成16年)

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	125	111	14	0
	(割合%)	96.9	86.0	10.9	0.0
非常ベル	認知事件数	100	42	53	5
	(割合%)	77.5	32.6	41.1	3.9
防犯カメラ	認知事件数	125	113	12	0
	(割合%)	96.9	87.6	9.3	0.0
カラーボール	認知事件数	128	34	75	19
	(割合%)	99.2	26.4	58.1	14.7
屋外赤色灯	認知事件数	62	34	28	0
	(割合%)	48.1	26.4	21.7	0.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要のなかったものである。

【事例1】周南市内の特定郵便局における強盗事件（山口）

3月1日、男(49)は、特定郵便局において、ガソリン様のものを示して、局員を脅迫し、現金約150万円を強取した（3月1日検挙）。

【事例2】相馬市内の特定郵便局における持凶器強盗事件（福島）

4月14日、男(45)は、他の被疑者1名と共謀して、特定郵便局において、けん銃様のものを局員に突き付けて脅迫し、現金約170万円を強取した（4月28日検挙）。

【事例3】多摩市内の銀行におけるけん銃使用強盗事件（警視庁）

7月6日、男（53）は、銀行において、けん銃1発を発射して行員を脅迫し、現金約300万円を強取した（7月6日検挙）。

イ サラリーマン金融対象強盗事件

平成16年のサラリーマン金融対象強盗事件の認知事件数は42件、前年に比べ11件（20.8%）減少している（図表4-1-(3)-9）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後4時から午後6時までが13件（31.0%）と最も多い（図表4-1-(3)-10）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表4-1-(3)-11）。

図表4-1-(3)-9 サラリーマン金融対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		38	29	30	26	30	33	104	46	53	42	-11	-20.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-10 サラリーマン金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成16年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
42	0	0	0	0	0	7	6	11	13	4	1	0	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 11 防犯設備の設置・活用状況（平成16年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし	
		活用あり	活用なし	活用不要		
非常通報装置	認知事件数	37	25	12	0	5
	(割合%)	88.1	59.5	28.6	0.0	11.9
非常ベル	認知事件数	16	3	13	0	26
	(割合%)	38.1	7.1	31.0	0.0	61.9
防犯カメラ	認知事件数	36	30	6	0	6
	(割合%)	85.7	71.4	14.3	0.0	14.3
カラーボール	認知事件数	25	1	23	1	17
	(割合%)	59.5	2.4	54.8	2.4	40.5
屋外赤色灯	認知事件数	13	4	9	0	29
	(割合%)	31.0	9.5	21.4	0.0	69.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要のなかったものである。

【事 例】上野市におけるサラリーマン金融対象持凶器強盗事件（三重）

9月9日、男（47）は、サラリーマン金融の店舗において、店長等に包丁を突き付けて脅迫し、店員を緊縛するなどの暴行を加え、現金約150万円を強取した（10月15日検挙）。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

平成16年の深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は680件、検挙事件数は247件で、前年に比べ、認知事件数が62件（8.4%）、検挙事件数が12件（4.6%）とそれぞれ減少している（図表4 - 1 - (3) - 12）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが273件（40.1%）と最も多く、午前2時から午前6時までで全体の78.5%を占めている（図表4 - 1 - (3) - 13）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯カメラの設置及び活用率は高くなっているが、非常通報装置、非常ベルやカラーボールの活用率はいずれも低い（図表4 - 1 - (3) - 14）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表 4 - 1 - (3) - 12 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
認知事件数(件)		115	146	137	308	340	394	527	468	742	680	-62	-8.4
検挙事件数(件)		57	78	91	149	173	188	163	225	259	247	-12	-4.6
検 挙 率(%)		49.6	53.4	66.4	48.4	50.9	47.7	30.9	48.1	34.9	36.3	1.4	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4 - 1 - (3) - 13 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成16年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
680	86	273	261	21	-	-	-	-	-	-	-	39	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4 - 1 - (3) - 14 防犯設備の設置・活用状況（平成16年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし
		認知事件数 (割合%)	活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	398	149	241	8	282
	(割合%)	58.5	21.9	35.4	1.2	41.5
非常ベル	認知事件数	535	79	450	6	145
	(割合%)	78.7	11.6	66.2	0.9	21.3
防犯カメラ	認知事件数	670	608	62	0	10
	(割合%)	98.5	89.4	9.1	0.0	1.5
カラーボール	認知事件数	510	23	450	37	170
	(割合%)	75.0	3.4	66.2	5.4	25.0
屋外赤色灯	認知事件数	303	39	259	5	377
	(割合%)	44.6	5.7	38.1	0.7	55.4

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要のなかったものである。

【事例1】愛知・岐阜両県下にわたる深夜スーパーマーケット対象連続強盗事件（愛知・岐阜）

平成15年9月19日から12月17日までの間、男(32)は、他の被疑者3名と共謀して、愛知・岐阜両県下のコンビニエンスストア6店舗において、店員に消火器を噴霧して脅迫し、現金合計約70万円を強取した（2月9日検挙）。

【事例2】広域にわたる深夜スーパーマーケット対象連続持凶器強盗事件（長野・栃木・群馬・埼玉）

1月18日から6月2日までの間、男(25)は、他の被疑者3名と共謀して、長野、栃木、群馬、埼玉の4県下のコンビニエンスストア15店舗において、店員にナイフを突き付けて脅迫し、現金合計約250万円を強取した（6月2日検挙）。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

平成16年のぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は44件で、前年に比べ66件（60.0%）減少している（図表4 - 1 - (3) - 15）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが8件（18.2%）と最も多い（図表4 - 1 - (3) - 16）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店の他、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表 4 - 1 - (3) - 15 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率(%)
認知件数		74	63	76	71	66	77	95	110	44	-66	-60.0

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。また、「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」を発生場所とする統計は、平成8年以降。

図表 4 - 1 - (3) - 16 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数
(平成16年)

認知件数	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明
44	8	4	1	3	1	5	3	2	2	4	4	7	0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

平成16年のぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は42件で、前年に比べ33件（44.0%）減少している（図表4 - 1 - (3) - 17）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前10時から午後0時までが17件（40.5%）と最も多い（図表4 - 1 - (3) - 18）。

図表 4 - 1 - (3) - 17 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		62	68	45	76	47	38	80	42	75	42	-33	-44.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 18 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成16年）

認知事件数	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明
42	0	0	0	0	2	17	3	2	3	8	2	5	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】武蔵野市におけるぱちんこ景品買取所対象強盗殺人事件（警視庁）

11月9日、男(45)は、ぱちんこ景品買取所において、女性従業員を千枚通しで刺して殺害し、現金約120万円を強取した（11月11日検挙）。

カ 現金輸送車対象強盗事件

平成16年の現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は3件で、このうちの1件を含め、平成16年以前に発生した事件、9件を検挙している（図表4-1-(3)-19）。

図表4-1-(3)-19 現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		6	7	24	10	12	8	9	8	7	3	-4	-57.1
検挙事件数(件)		2	3	6	12	4	2	4	5	1	9	8	800.0
検 挙 率(%)		33.3	42.9	25.0	120.0	33.3	25.0	44.4	62.5	14.3	300.0	285.7	ホ イト

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】首都圏における広域連続現金輸送車強盗事件（神奈川・警視庁・埼玉・千葉）

平成15年4月から12月までの間、外国人を含む複数の被疑者は、深夜、スーパーやぱちんこ店等を巡回する現金輸送車を襲撃して現金を強取することを企て、現金回収中の警備員等に金属バット等で殴打する暴行を加えて現金を強取するなど、6件の現金輸送車強盗事件を敢行し、現金合計約1億円を強取した（1月31日検挙）。

【事例2】本渡市における現金輸送車強盗事件（熊本）

2月16日、男(54)は、他の被疑者1名と共謀して、現金輸送車から現金を強取することを企て、現金輸送中の車を待ち伏せて銀行員等にけん銃を突き付けて脅迫し、現金約1,400万円を強取した（2月26日検挙）。

【事例3】都島区における現金輸送車強盗事件（大阪）

平成13年10月5日、男(74)は、現金輸送車の警備員を襲って現金を強取することを企て、銀行駐車場において、現金取り下ろし中の警備員にけん銃を発射、命中させて重傷を負わせ、現金約500万円を強取した（6月11日検挙）。

キ タクシー対象強盗事件

平成16年のタクシー対象強盗事件の認知事件数は208件、検挙事件数は128件で、前年に比べ、認知事件数は18件（8.0%）減少し、検挙事件数は15件（13.3%）増加している（図表4-1-(3)-20）。

平成16年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが48件（23.1%）と最も多く、午前0時から午前4時までで全体の43.3%を占めている（図表4-1-(3)-21）。

なお、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯仕切板を設置した車両は全体の52.9%となっており、防犯仕切板を設置した場合には、負傷等を負う割合が低くなって

いる（図表4-1-(3)-22）。また、車外防犯灯を活用した場合には、負傷等の割合が低くなっている（図表4-1-(3)-23）。

図表4-1-(3)-20 タクシー対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平14	平15	平16	増減	
					件数	率(%)
認知事件数(件)		168	226	208	-18	-8.0
検挙事件数(件)		80	113	128	15	13.3
検 挙 率(%)		47.6	50.0	61.5	11.5ポイント	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-21 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成16年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
208	42	48	31	6	5	4	1	6	3	10	14	38	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-22 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成16年）

設置状況	区分	被害件数	負傷等あり			負傷等なし	
			死亡	重傷	軽傷		
タクシー対象強盗の総数(件)		208	63	3	7	53	145
防犯仕切板あり		110	28	1	2	25	82
(割合%)		100.0	25.5	0.9	1.8	22.7	74.5
防犯仕切板なし		98	35	2	5	28	63
(割合%)		100.0	35.7	2.0	5.1	28.6	64.3

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-23 車外防犯灯の活用と負傷等の状況（平成16年）

設置状況	区分	被害件数	負傷等あり			負傷等なし	
			死亡	重傷	軽傷		
タクシー対象強盗の総数(件)		208	63	3	7	53	145
車外防犯灯活用あり		31	9	0	2	7	22
(割合%)		100.0	29.0	0.0	6.5	22.6	71.0
車外防犯灯活用なし		177	54	3	5	46	123
(割合%)		100.0	30.5	1.7	2.8	26.0	69.5

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】岐阜市内における強盗殺人事件（岐阜）

3月16日、男(52)は、金銭に窮したことからタクシー運転手を殺害して現金等を強取することを企て、客を装ってタクシーに乗車し、運転手の男性を包丁で刺して殺害、セカンドバッグ1個を強取した（5月6日検挙）。

【事例 2】名取市における強盗殺人事件（宮城）

5月25日、男(21)は、金銭に窮したことからタクシーの売上金等を強取することを企て、客を装ってタクシーに乗車し、人気のないところでタクシーを止めさせて、運転手の男性を包丁で脅し、現金約2万7,000円等を強取した後、同人を包丁で刺して殺害、タクシーを強取した（6月5日検挙）。

(4) 主な性犯罪の状況

平成16年の強姦の認知件数は2,176件で、前年に比べ296件（12.0%）減少している。検挙件数は1,403件、検挙人員は1,107人で、前年に比べ、検挙件数が166件（10.6%）、検挙人員が235人（17.5%）とそれぞれ減少している（図表4-1-(4)-1）。

また、平成16年の強制わいせつの認知件数は9,184件で、前年に比べ845件（8.4%）減少している。検挙件数は3,656件、検挙人員は2,225人で、前年に比べ、検挙件数が237件（6.1%）、検挙人員が48人（2.1%）とそれぞれ減少している（図表4-1-(4)-2）。

平成16年に認知した事件を発生時間帯別に見ると、強姦については午前0時から午前2時までが226件（10.4%）と、強制わいせつについては午後8時から午後10時までが1,138件（12.4%）とそれぞれ最も多くなっている（図表4-1-(4)-3）。

また、検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが、強姦では591件（43.9%）、強制わいせつでは1,087件（31.1%）となっている（図表4-1-(4)-4）。

図表4-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		1,500	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	-296	-12.0
検挙件数		1,410	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	-166	-10.6
検挙人員		1,160	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	-235	-17.5
検 挙 率 (%)		94.0	88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	1.0ポイント	

図表4-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		3,644	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	-845	-8.4
検挙件数		3,232	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	-237	-6.1
検挙人員		1,464	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	-48	-2.1
検 挙 率 (%)		88.7	85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	1.0ポイント	

図表4 - 1 - (4) - 3 強姦・強制わいせつの発生時間帯別認知件数の状況（平成16年）

	認知 件数	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明
強姦	2,176	226	215	153	45	38	40	43	52	67	109	161	173	854
強制わいせつ	9,184	971	628	359	360	409	260	350	696	912	1,093	1,138	1,028	980

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4 - 1 - (4) - 4 強姦・強制わいせつの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成16年）

	検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
強姦	1,345	49	542	84	670
強制わいせつ	3,496	116	971	434	1,975

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】出会い系サイト利用の連続強姦等事件（北海道）

1月31日、男(23)は、出会い系サイトで知り合った女性をドライブに誘い、車内で女性を縛り付けるなどして強姦した。被疑者は、同様の手口で強姦等6件を敢行していた（2月24日検挙）。

【事例2】ワンルームマンション対象連続強姦等事件（愛媛）

平成15年11月29日、男(27)は、帰宅する女性を玄関で待ち伏せ、女性を屋内に押し込み、縛り付けるなどの暴行を加えて強姦した上、現金を強取した。被疑者は、同様の手口で強姦等6件を敢行していた（6月15日検挙）。

【事例3】年少者に対する連続強姦未遂等事件（群馬）

6月25日、男(25)は、下校途中の小学女児に暴行脅迫を加えて強姦しようとした。被疑者は、数年前から同様の犯行を十数件敢行していた（7月22日検挙）。

(5) 略取・誘拐事件の状況

平成16年の認知件数は320件、検挙件数は232件、検挙人員は187人で、前年と比べ、認知件数が36件（12.7%）、検挙件数が1件（0.4%）、検挙人員が36人（23.8%）とそれぞれ増加している（図表4-1-(5)-1）。

平成16年に認知した事件を見ると、13歳未満の者を対象としたものが141件で、全体の44.1%を占めている（図表4-1-(5)-2）。

発生時間では、午後4時から午後6時までが52件と最も多く、全体の16.3%を占めている（図表4-1-(5)-3）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが、150件（67.0%）となっている（図表4-1-(5)-4）。

被疑者の年齢別では、30歳代が最も多く全体の33.7%となっており、次いで20歳代が25.1%となっている（図表4-1-(5)-5）。

また、平成16年の身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数は7件で、前年に比べ5件減少している（図表4-1-(5)-6）。

図表4-1-(5)-1 略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		240	251	284	221	249	302	237	251	284	320	36	12.7
検挙件数		238	250	279	211	244	272	211	215	231	232	1	0.4
検挙人員		196	189	167	141	164	180	179	173	151	187	36	23.8
検挙率(%)		99.2	99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	-8.8	ポイント

図表4-1-(5)-2 略取・誘拐の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成16年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	320	31	110	111	42	9	9	2	6
(割合%)	100.0	9.7	34.4	34.7	13.1	2.8	2.8	0.6	1.9
男性	65	13	19	12	5	4	5	2	5
(割合%)	20.3	4.1	5.9	3.8	1.6	1.3	1.6	0.6	1.6
女性	255	18	91	99	37	5	4	0	1
(割合%)	79.7	5.6	28.4	30.9	11.6	1.6	1.3	0	0.3

図表4-1-(5)-3 略取・誘拐事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成16年）

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
320	12	7	2	7	13	14	13	34	52	20	20	19	107

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (5) - 4 略取・誘拐事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段
(平成16年)

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
224	23	127	12	62

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表 4 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の被疑者の年齢・性別検挙人員の状況 (平成16年)

	総数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
検挙人員	187	12	47	63	32	21	12
(割合%)	100.0	6.4	25.1	33.7	17.1	11.2	6.4
男性	168	10	43	55	29	19	12
(割合%)	89.8	5.4	23.0	29.4	15.5	10.2	6.4
女性	19	2	4	8	3	2	0
(割合%)	10.2	1.1	2.1	4.3	1.6	1.1	0

図表 4 - 1 - (5) - 6 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		9	2	8	8	10	11	10	10	12	7	-5	-41.7
検挙事件数(件)		9	2	8	8	9	12	10	10	11	7	-4	-36.4
検挙人員(人)		30	4	45	22	24	23	24	35	30	24	-6	-20.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】千曲市における身の代金目的誘拐事件（長野）

1月8日、女(50)は、他の被疑者4名と共に共謀して、飲食店経営者の女性を車で連れ去り、同人の知人に対し身の代金を要求した（1月9日検挙）。

【事例2】鳥栖市における未成年者誘拐事件（佐賀）

2月20日、男(27)は、一人で下校途中の小学校低学年の女兒を無理やり自分の乗用車に乗せ、市内を約40分間にわたって連れ回した。同人は、同種手口でのわいせつ目的略取等3件を敢行していた。（2月21日検挙）。

【事例3】小山市における未成年者誘拐・殺人事件（栃木）

9月11日、男(39)は、知人の子供である男児兄弟2名を車に乗せて連れ去り、翌12日、2名を川に投げ込み殺害した（9月12日検挙）。

【事例4】岸和田市における身の代金目的誘拐事件（大阪）

9月3日、男(37)は、他の被疑者2名と共謀して、会社従業員の男性を車で連れ去り、同社役員に対し身の代金を要求した（9月23日検挙）。

【事例5】奈良市における未成年者誘拐・殺人事件（奈良）

11月17日、男(36)は、一人で下校途中の小学校低学年の女兒を車に乗せて連れ去り、自宅浴室内において溺死させた（12月30日検挙）。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急激に増加していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すりをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成15年に減少に転じ、平成16年は40万7,929件で、前年に比べ6万1,219件（13.0%）減少している（図表4-2-(1)）。

平成16年の重要窃盗犯の検挙件数は13万5,933件、検挙人員は2万600人で、前年に比べ、検挙件数が4,928件（3.5%）、検挙人員が1,996人（8.8%）とそれぞれ減少している。

検挙率は33.3%で、前年に比べ3.3ポイント上昇している。

図表4-2-(1) 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
重要窃盗犯	認知件数	313,922	301,310	305,328	330,369	367,174	423,281	443,502	478,476	469,148	407,929	-61,219	-13.0
	検挙件数	231,226	216,794	208,847	213,261	197,011	140,351	120,183	133,960	140,861	135,933	-4,928	-3.5
	検挙人員	24,423	24,023	24,213	24,533	24,533	22,126	22,493	22,425	22,596	20,600	-1,996	-8.8
	検挙率	73.7	72.0	68.4	64.6	53.7	33.2	27.1	28.0	30.0	33.3	3.3	ポイント
侵入窃盗	認知件数	234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8
	検挙件数	189,368	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	-5,104	-4.6
	検挙人員	16,275	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	-660	-4.6
	検挙率	80.7	77.9	74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	3.1	ポイント
うち 住宅対象	認知件数	119,598	113,827	113,782	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	190,473	170,991	-19,482	-10.2
	検挙件数	103,197	92,482	86,664	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	59,133	57,948	-1,185	-2.0
	検挙人員	6,061	5,774	5,688	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	5,318	5,209	-109	-2.0
	検挙率	86.3	81.2	76.2	70.5	61.2	37.6	28.3	27.4	31.0	33.9	2.9	ポイント
自動車盗	認知件数	35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5
	検挙件数	20,821	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	1,834	15.4
	検挙人員	5,806	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	-776	-16.9
	検挙率	58.3	57.1	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	4.8	ポイント
ひったくり	認知件数	19,220	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	-6,955	-15.0
	検挙件数	9,525	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	-1,300	-8.7
	検挙人員	1,408	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	-694	-23.5
	検挙率	49.6	57.0	49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	2.3	ポイント
すり	認知件数	24,386	23,483	22,181	21,019	21,928	24,526	25,691	24,590	25,338	19,198	-6,140	-24.2
	検挙件数	11,512	11,718	11,064	9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	4,149	3,791	-358	-8.6
	検挙人員	934	932	972	953	967	813	770	796	836	970	134	16.0
	検挙率	47.2	49.9	49.9	45.7	37.3	20.4	17.2	17.9	16.4	19.7	3.3	ポイント

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

(2) 組織窃盗事件の状況

平成9年から平成16年までの間に、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は439件であり、そのうち、特に重要な73件を、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録し、これまでに来日外国人や暴力団員を含む被疑者2,357人を検挙し、3万5,377件(被害総額588億5,548万円相当)を解決している（図4-2-(2)）。

警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例を見ると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団員等を主要なメンバーとしたものである。数人から100人近くの者で構成され、首魁の指揮の下、1事件ごとに数人単位のグループで犯罪を敢行し、メンバーを入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入窃盗や自動車盗等を敢行し、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車の車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注1：「組織窃盗」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表4-2-(2) 組織窃盗事件(登録・認定)数の推移

区分	年次	総数	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		439 (73)	65 (6)	57 (9)	56 (13)	49 (9)	43 (7)	43 (11)	64 (9)	62 (9)	-2 (0)	-3.1 -
終結事件数		363 (63)	65 (6)	57 (9)	56 (13)	49 (9)	42 (7)	41 (11)	42 (8)	11 (0)		
現在捜査中の事件数		76 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	22 (1)	51 (9)		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：()内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成16年12月末現在のものである。

【事例1】海外輸出を伴う高級自動車対象の組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第62号事件）（兵庫、大阪、北海道、三重、神奈川、富山、福岡、佐賀）

平成11年12月から平成15年11月までの間、暴力団親交者の男（47）らは、素行不良者等を集めて複数の窃盗グループを組織し、北海道から九州に至る全国各地において高級自動車を対象とした自動車盗を敢行し、秘密改造工場で車台番号等を改ざんした上、海外への不正輸出等で処分していた。

平成16年2月までに、26都道府県にわたる自動車盗など窃盗事件等618件（首魁を含む被疑者56名、被害総額17億330万円相当）を解決し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例2】中国人グループらによるスーパーマーケット等対象の広域金庫破り事件（警察庁登録組織窃盗第63号事件）（大阪、滋賀、兵庫、福井、福岡、岡山、奈良、三重、島根、広島、鳥取）

平成13年8月から平成15年11月までの間、中国人の男（22）らは、福建省出身の不法滞在者らを中心に、日本人の運転手を雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、主としてスーパーマーケットや会社事務所を対象に、侵入警報が発報してから警備員らが到着するまでの僅かな時間に、大型の据置金庫を搬出窃取する金庫破り、事務所荒しを広域にわたり敢行していた。

平成16年9月までに、15府県にわたる金庫破りなど窃盗事件等346件（首魁を含む被疑者49名、被害総額4億5,603万円相当）を解決し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例3】中国人グループによるピックアップ・サムターン回しにより侵入する広域空き巣事件（警察庁登録組織窃盗第64号事件）（京都、大阪、和歌山、兵庫、滋賀、奈良、三重、警視庁）

平成12年8月から平成16年3月までの間、中国人の男（27）らは、福建省からの密入国者らを中心に窃盗グループを組織し、主として中高層マンションを対象に、ピックアップ用具、サムターン回し等の特殊開錠用具を使用するなどして侵入し、現金、パソコン、貴金属等を窃取する空き巣等を広域にわたり敢行した上、盗品を質店、貴金属精錬業者等に売却処分していた。

平成16年9月までに、11都府県にわたる空き巣など窃盗事件等525件（首魁を含む被疑者24名、被害総額3億4,595万円相当）を解決し、窃盗組織を壊滅させた。

(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件

平成16年の建設機械等を使用して現金自動支払機（ATM）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取する窃盗事件の認知事件数は64件で、前年に比べ20件（45.5%）増加している（図表4-2-(3)）。

図表4-2-(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	増減	
						件数	率(%)
認知事件数(件)		9	57	44	64	20	45.5
うち未遂		8	31	32	39	7	21.9

注：本表は、実務統計による集計数値である。

3 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

平成16年の人質立てこもり事件の認知事件数は17件であり、すべて被疑者を検挙している（図表4-3-(1)）。いずれも単独による犯行で、人質が負傷した事件は7件、警察官が負傷した事件は1件である。

図表4-3-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		13	13	7	5	7	5	6	12	14	17	3	21.4
検挙事件数(件)		13	13	7	5	7	5	6	12	14	17	3	21.4
検挙人員(人)		13	13	7	5	7	5	6	12	14	17	3	21.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】大阪市における人質立てこもり事件（大阪）

5月5日、男(39)は、コンビニエンスストアに侵入し、女性にサバイバルナイフを突き付けるなどして立てこもった（5月6日検挙）。

【事例2】前原市におけるバスジャック事件（福岡）

5月22日、男(50)は、路線バスに乗り込み、同バス運転手に包丁を突き付けるなどしてバスを乗っ取った（5月22日検挙）。

【事例3】市原市における人質立てこもり事件（千葉）

9月18日、男(44)は、民家に侵入し、家人に包丁を突き付けるなどして立てこもった（9月19日検挙）。

(2) 業務上過失事件・事故

【事例1】六本木ヒルズ内設置の自動回転扉による男児死亡事故（警視庁）

3月26日、港区の六本木ヒルズにおいて、男児が自動回転扉に頭部を挟まれ死亡する事故が発生し、自動回転扉の製造会社及び発生場所のビル管理会社が、同様の事故が発生していることを認識していながら必要な措置を講じていなかったとして、被疑者6名を送致した（平成17年1月26日検挙）。

【事例 2】明石市内の大蔵海岸海浜公園における砂浜陥没事故（兵庫）

平成13年12月30日、明石市の大蔵海岸海浜公園にある人工の砂浜が陥没し、女兒1名が生き埋めとなり、死亡した事故について、同公園の維持・管理に責任を有する国と市が同様の陥没事故が頻発していることを認識していながら必要な措置を講じていなかったとして、被疑者4名を送致した（4月2日検挙）。

【事例 3】美浜町内の原子力発電所における蒸気噴出事故（福井）

8月9日、三方郡美浜町の原子力発電所において、二次冷却水系の配管が破裂し、作業員5名が死亡、6名が負傷した。

【事例 4】宜野湾市内における米軍ヘリ墜落事故（沖縄）

8月13日、宜野湾市の大学構内に米軍のヘリコプターが墜落、炎上した。

4 構造的な不正事案等

(1) 政治的・構造的な不正事案

平成16年の政治的・構造的な不正事案（公職選挙法違反事件を除く。）の検挙事件数は83件で、前年に比べ15件（22.1%）増加している（図表4-4-(1)-1）。

図表4-4-(1)-1 政治的・構造的な不正事案の検挙事件数

区分	年次										増減	
	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	件数	率(%)
贈収賄	77	60	89	71	67	64	85	73	55	72	17	30.9
談合・競売入札妨害	20	29	29	15	13	20	20	15	12	11	-1	-8.3
あっせん利得処罰法違反	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0
政治資金規正法違反	5	1	1	1	2	1	1	4	1	0	-1	-100
合計	102	90	119	87	82	85	106	93	68	83	15	22.1

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：統計中に、公職選挙法違反事件は含めていない。

ア 贈収賄事件

平成16年の贈収賄事件の検挙事件数は72件、検挙人員は188人で、元社会保険庁運営部課長らによる金銭登録機導入をめぐる贈収賄事件等の社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】元草津市長らによる公共工事発注をめぐる贈収賄・公職選挙法違反（特定の寄附の禁止）事件（滋賀）

元草津市長（45）は、草津市が発注する予定の公共工事に関し、指名業者の選定、工事請負契約の締結等に有利かつ便宜な取り計らいを受けたい趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、平成15年3月下旬ころ、建設会社役員（42）らから現金300万円を収受するとともに、草津市長選挙に関し、同市との請負契約の当事者である会社から寄附を受けた（2月27日検挙）。

【事例2】衛生施設事務組合事務局長らによる公共工事発注をめぐる贈収賄・偽計入札妨害等事件（和歌山）

衛生施設事務組合事務局長（56）は、建設コンサルタント会社役員から請託を受けて、同組合が執行する建設工事に関し、同建設コンサルタント会社と協力関係にあった建設会社に工事を落札させようとして、あらかじめ指名業者の入札価格積算の用に供するため、同組合に保管していた正規の設計図書を同建設会社の技術、特色を取り入れた同建設会社に有利な設計図書に差し替えて、これを指名業者に交付するなどの職務上不正な行為をし、これに対する謝礼の趣旨の下に、平成15年11月ころ、同建設コンサルタント会社代表取締役（60）から現金100万円を収受した（4月9日検挙）。

【事例3】元社会保険庁石川社会保険事務局課長らによる業務発注をめぐる贈収賄事件（警視庁・石川）

元社会保険庁石川社会保険事務局課長（48）は、国民年金保険料の納付督促に係るテレビコマーシャルの制作等の業務に関し、有利な取り計らいを受けたことの謝礼及び今後も同様の取り計らいを受けたい趣旨で供与されるものであることを知りながら、平成15年2月及び4月の2回にわたり、広告代理店代表取締役(51)から現金合計160万円を収受した（6月8日検挙）。

【事例4】荒川区長らによる同区本庁舎管理業務委託契約をめぐる贈収賄事件（警視庁）

荒川区長(59)は、同区が発注する建物管理業務委託契約等につき、建物管理会社が受注できるよう有利な取り計らいを受けたい趣旨で供与されるものであることを知りながら、平成13年10月、建物管理会社代表取締役(56)から現金50万円を収受した（9月18日検挙）。

【事例5】元社会保険庁運営部課長らによる金銭登録機導入をめぐる贈収賄事件（警視庁）

元社会保険庁運営部課長(56)は、国民年金保険料収納事務を行うに当たって導入決定した金銭登録機の購入につき、情報処理機器製作会社が発注を受けられるよう有利な取り計らいを受けたことなどに対する謝礼の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、平成16年3月ころ、情報機器製作会社代表取締役(56)から現金50万円を収受した（9月27日検挙）。

【事例6】前北海道石狩支庁長らによる社会福祉法人に対する指導監督等をめぐる贈収賄事件（北海道）

前北海道石狩支庁長(58)は、指定介護老人福祉施設等に対する指導・監督等に関し、有利な取り計らいを受けたことなどに対する謝礼の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、平成14年1月ころから平成15年5月ころまでの間、前後数十回にわたり、社会福祉法人理事長(56)から現金合計170万円を収受した（11月26日検挙）。

イ 談合・競売入札妨害事件

平成16年の談合・偽計入札妨害事件の検挙事件数は11件で、検挙人員は54人である。

【事例】城陽市議会議員らによる公共工事発注をめぐる偽計入札妨害事件（京都）

城陽市議会議員(73)は、平成15年7月ころ、同市発注の公共工事の入札に際し、同市担当部長をして入札予定価格を推認し得る設計金額を内報させ、これを土木建築会社代表取締役に通報し、入札書比較価格に近似する価格で落札させた（2月19日検挙）。

ウ 公職選挙法違反事件

(ア) 第20回参議院議員通常選挙違反取締状況

第20回参議院議員通常選挙における選挙期日後90日(平成16年10月9日)現在の検挙事件数は407件、検挙人員は399人(うち逮捕者140人)で、前回の第19回参議院議員通常選挙期日後90日に比べ、検挙

事件数が66件(14.0%)、検挙人員が470人(54.1%)、逮捕者が53人(27.5%)とそれぞれ減少している。

罪種別に見ると、最も多いのは買収事件で、その検挙事件数は、利害誘導罪も含めて203件、検挙人員は266人(うち逮捕者74人)で、全検挙に占める割合は、検挙事件数で49.9%、検挙人員で66.7%(うち逮捕者52.9%)となっている(図表4-4-(1)-2)。

図表4-4-(1)-2 罪種別検挙状況

区分 罪種	今回(第20回)			前回(第19回)			増減		
	件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕
買収 (利害誘導を含む)	203	266	74	262	559	116	-59	-293	-42
自由妨害	92	44	30	36	35	26	+56	+9	+4
文書違反	11	16	0	53	108	2	-42	-92	-2
戸別訪問	6	9	0	21	58	0	-15	-49	0
詐偽投票	10	18	12	9	9	5	+1	+9	+7
投票干渉	16	8	4	28	26	13	-12	-18	-9
投票偽造	4	16	7	0	0	0	+4	+16	+7
公務員の地位利用	51	15	7	36	67	28	+15	-52	-21
その他	14	7	6	28	7	3	-14	0	+3
合計	407	399	140	473	869	193	-66	-470	-53

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：いずれも選挙期日後90日現在の統計である。

【事例1】特別養護老人ホーム職員による投票偽造事件(奈良)

特別養護老人ホーム園長(71)らは、平成16年7月上旬ころ、県選挙管理委員会が不在者投票を行う施設として指定した同施設において、市選挙管理委員会から交付を受けた入所有者の投票用紙を使用し、投票用紙にそれぞれ候補者の氏名等を記入し、投票箱に投入させて正規の投票の中に混入させ、投票を偽造した(7月13日検挙)。

【事例2】木津町長による公務員の地位利用事件(京都)

木津町長(72)は、平成16年3月ころから6月中旬ころまでの間、部下職員十数名に対し、その職務上の地位を利用して、投票及び投票取りまとめ等の選挙運動を依頼した(7月22日検挙)。

【事例3】落選候補者らによる現金買収事件(大阪・大分)

落選候補者(66)は、平成16年6月中旬ころ、選挙運動員に対し、自己のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、現金約百万円を供与した(8月17日検挙)。

【事例4】教職員組合執行委員長らによる現金買収事件(神奈川)

県教職員組合執行委員長(56)は、平成16年6月上旬ころ、選挙運動者である労働組合委員長に対し、立候補予定者への投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、現金十数万円を供与した(9月6日検挙)。

【事例5】農民連盟幹部らによる現金買収事件(北海道)

地区農民連盟幹部(67)らは、平成16年4月上旬ころから7月上旬ころまでの間、選挙運動員十数名に対し、立候補予定者への投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、現金合計数百万円を供与した(9月8日検挙)。

(イ) 一般地方選挙の違反取締状況

【事例1】東彼杵町議選における当選候補者による現金買収事件(長崎)

当選候補者(62)は、平成15年4月ころ、選挙人に対し、自己のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、現金数十万円を供与した(1月16日検挙)。

【事例2】東北町議選における町長らによる候補者買収等事件(青森)

東北町長(67)は、町議十数名と共謀の上、同町議会議員選挙に立候補した候補者に対し、平成15年4月下旬ころ、候補者たることをやめることを条件に同町助役として選任する旨の職務の供与を約束した(2月5日検挙)。

【事例3】広川町議選における当選候補者による投票干渉事件(福岡)

当選候補者(60)は、平成15年12月ころ、期日前投票所において、選挙人が投票するに当たり、自己に投票するように申し向けて選挙人の投票に干渉した(3月5日検挙)。

【事例4】睦沢町議選における候補者らによる候補者買収事件(千葉)

町議選立候補者10名は、共謀の上、同選挙の候補者となろうとすることをやめさせる目的で、平成15年12月ころ、候補者となろうとする者に対し、現金約百万円を供与した(9月27日検挙)。

【事例5】秋山村長による成人祝い名下の寄附行為禁止違反事件(山梨)

秋山村長(74)は、平成14年12月下旬ころから同15年1月上旬ころまでの間、当該選挙区内の選挙人二十数名に対し、同人らの子弟の成人祝い名下に、現金合計数十万円を寄附した(9月29日検挙)。

【事例6】瀬戸内市長選挙における候補者買収事件(岡山)

長船町長(60)は、合併による瀬戸内市の設置に伴い施行される瀬戸内市長選挙の立候補者になろうとすることをやめさせる目的で、平成16年6月ころ、立候補者となろうとしていた者に対し、現金等の供与申込みをした(12月9日検挙)。

(ウ) 公職選挙法の特定の寄附の禁止違反事件

平成16年の公職選挙法の特定の寄附の禁止違反事件の検挙事件数は2件で、検挙人員は18人である。

【事例】松浦市議による特定の寄附の禁止違反事件（長崎）

松浦市議会議員（71）は、平成15年4月ころ、同市議会議員選挙に関し、同市と請負契約関係にある建設会社から数十万円の寄附を受けた（8月18日検挙）。

エ 公務員犯罪

公務員犯罪については、元衆議院議員らによる公設秘書給与をめぐる詐欺事件等を検挙している。

【事例1】元衆議院議員らによる公設第二秘書給与をめぐる詐欺事件（愛知）

元衆議院議員（62）は、同人の妻である公設第一秘書らと共謀の上、自己の公設第二秘書として採用する意思も採用した事実もない者について、衆議院事務局に対し、公設第二秘書に採用した旨の内容虚偽の申請書等を提出して、平成12年7月ころから平成15年4月ころまでの間、前後43回にわたり、衆議院から合計約1,700万円を詐取した（3月7日検挙）。

【事例2】県議会議員らによる市県民税の滞納処分停止に係る背任事件（千葉）

千葉県議会議員（68）は、千葉市職員と共謀の上、滞納していた市県民税約3,000万円について、同市職員をして徴収事務を懈怠させ、未納額の徴収を不正に免れようと企て、同県議の利益を図り、かつ、同市に損害を加える目的で、平成14年9月、徴収権の消滅時効を同市の税務オンラインシステム上完成させて、未納額を徴収不能の危険に陥らせ、同市に対し同額の財産上の損害を加えた（7月21日検挙）。

(2) 金融・不良債権関連事犯及び企業犯罪

ア 金融・不良債権関連事犯

平成16年の金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は144件で、前年に比べ23件(13.8%)減少している。検挙事件数の内訳を見ると、前年に比べ、「融資過程における金融・不良債権関連事犯」が9件の減少、「債権回収過程における金融・不良債権関連事犯」が23件の減少、「その他の金融機関の役職員による金融・不良債権関連事犯」が9件の増加となっている（図表4-4-(2)）。

図表4-4-(2) 金融・不良債権関連事犯の検挙事件数の推移

年次 区分	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
											件数	率(%)
融資過程	6 (5)	15 (4)	21 (2)	23 (11)	33 (18)	28 (19)	44 (27)	25 (9)	29 (13)	20 (11)	-9 (-2)	-31.0 (-15.4)
債権回収過程	13 (13)	56 (51)	87 (77)	107 (74)	103 (84)	117 (98)	93 (74)	73 (63)	75 (63)	52 (43)	-23 (-20)	-30.7 (-31.7)
その他の金融 機関役員	19 (0)	36 (0)	64 (0)	84 (0)	62 (0)	71 (0)	65 (0)	75 (3)	63 (0)	72 (1)	9 (1)	14.3 (-)
合計	38 (18)	107 (55)	172 (79)	214 (85)	198 (102)	216 (117)	202 (101)	173 (75)	167 (76)	144 (55)	-23 (-21)	-13.8 (-27.6)

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：()内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を指す。

(7) 融資過程における金融・不良債権関連事犯

平成16年の金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における背任・詐欺事件等を20件検挙している。

【事例1】経営コンサルタント会社役員らによる納税証明書等を偽造・行使した詐欺事件（警視庁）

経営コンサルタント会社役員（73）らは、偽造した会社の確定申告書や納税証明書等を真正に作成されたものであるように装い、銀行に提出してローン申込みをし、銀行を誤信させ、平成15年9月下旬ころ、会社名義口座に3,000万円の振込入金を受けた（2月4日検挙）。

【事例2】商工共済協同組合理事長らによる背任事件（三重）

商工共済協同組合理事長（80）らは、内装設計会社等の利益を図り、同組合に損害を加える目的をもって、その任務に背き、同社に融資を実行してもその回収が著しく困難であることを熟知しながら、十分な担保を徴求するなどの債権を回収するための適切な措置を講ずることなく、平成12年1月から12月までの間、前後19回にわたり、同社に対し合計約1億3,000万円の融資を実行し、同組合に損害を加えた（6月3日検挙）。

(4) 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

平成16年の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における民事執行を妨害するなどした競売入札妨害、強制執行妨害事件や民事再生法違反事件等を52件検挙している。

【事 例】元県議会議員による強制執行妨害等事件（宮城）

元県議会議員（68）らは、自己の会社が所有する土地に対する強制執行を免れる目的で同土地を仮装譲渡することを企て、法務局に対し、正当な理由により土地の所有権を移転するような内容虚偽の所有権移転登記の申請をし、不動産登記簿の原本である電磁的記録に事実と反する所有権移転登記の記録をさせた（2月16日検挙）。

（ウ） その他の金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

平成16年の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等（ア）及び（イ）で挙げた事例を除く）を72件検挙している。

【事例1】元農業協同組合代表理事組合長らによる業務上横領事件（岡山）

農業協同組合代表理事組合長（62）らは、組合が保有する国債等を売却してその代金を横領しようと企て、平成14年3月ころ、国債等を売却し約6億2,600万円を横領した（4月27日検挙）。

【事例2】元商工共済協同組合理事長らによる詐欺事件（佐賀）

商工共済協同組合理事長（70）らは、同組合が実質破綻しており、借入金を期日に確実に返済する意思も能力もないのに、平成14年4月ころから平成15年8月ころまでの間に組合員数十名から金銭消費貸借名下に現金合計約1億3,900万円を詐取した（9月22日検挙）。

イ 企業犯罪

平成16年の企業犯罪については、会社役員らによるBSE（牛海綿状脳症）対策事業をめぐる詐欺事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】食肉事業協同組合連合会幹部らによるBSE対策事業をめぐる詐欺等事件（大阪）

食肉事業協同組合連合会幹部（65）らは、BSE対策として政府が実施する国産牛肉の買上げ事業に関し、平成13年12月ころ、同事業の実施主体である全国食肉事業協同組合連合会に対し、事業の対象外である輸入牛肉の加工品を含む約573トンの牛肉すべてが同事業の対象である国産牛肉であるかのように装って買い上げさせた上、その代金として約6億3,800万円の交付を受けたほか、同様の方法により不正に補助金合計約40億7,900万円の交付を受けた（4月16日検挙）。

【事例2】厚生労働省教育訓練給付金の不正受給詐欺事件（山形・警視庁）

コンピューター教室等の経営会社代表取締役（51）らは、雇用保険法に基づく教育訓練給付制度を利用し、教育訓練給付金名下に金員を詐取しようと企て、申請者に対しパソコン講習を修了したとする虚偽の修了証書を交付し、申請者をして公共職業安定所に同証書等を提出して教育訓練給付金を請求させた上、総額約1,700万円の振込入金を受けた。平成16年8月までに同社代表取締役ら数十名を検挙した。

【事例3】建設会社代表取締役らによる商法違反・証券取引法違反事件（大阪）

建設会社代表取締役（47）らは、同社の平成10年度決算を行うにあたり、真実は未処理損失があって株主に配当すべき利益は皆無であったのに、利益を水増しさせた内容虚偽の決算書を基に、株主総会において利益処分案を提出して約1億4,000万円の違法配当を行うとともに、内容虚偽の決算書を掲載した有価証券報告書を近畿財務局長に提出等した（5月13日検挙）。

【事例4】食肉事業協同組合連合会役員らによるBSE緊急対策事業をめぐる補助金適正化法違反事件（愛知）

食肉事業協同組合連合会理事（62）らは、BSE対策として政府が実施する国産牛肉の保管事業に関し、平成13年10月ころ、同事業の実施主体である農畜産振興事業団に対し、保管事業申請する牛肉合計約957トンのうち一部は事業の対象外である輸入牛肉で、あるいは実在しなかったにもかかわらず、保管事業申請した牛肉すべてを保管している旨の内容虚偽の在庫証明書を添付するなどして補助金を申請し、同事業団職員をして補助金を支払うべき義務があるものと誤信させ、約5億4,100万円を振込送金させ、もって偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けた。同様の方法により不正に補助金合計約14億7,600万円の交付を受けた（11月8日検挙）。

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪

ア 通貨偽造犯罪

平成16年の通貨偽造罪等の検挙事件数は92件、検挙人員は151人である。また、平成16年に届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数（発見枚数）は、25,858枚である（図表4-4-(3)-1）。

図表4-4-(3)-1 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15	平 16(注)
一万円券	2,346	2,394	3,207	6,815	6,138	8,828(3)
五千円券	1,051	1,671	1,274	754	1,097	1,007(1)
二千円券	-	2	4	5	99	11
千円券	25	190	3,128	12,637	9,576	16,012(3)
合 計	3,422	4,257	7,613	20,211	16,910	25,858

注：数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。

平成16年の括弧内の数値は、新券の偽造券の枚数を内数で示している。

【事例】日本銀行千円券偽造・行使等事件（警視庁）

美容師（42）らは、平成16年3月ころから6月ころまでの間、金額千円の日本銀行券計約2,000枚を順次偽造した上、都内に設置された自動販売機に挿入して行使するなどした（6月29日検挙）。

イ その他の知能犯罪

一般知能犯罪については、取込詐欺、地面師詐欺、公金不正受給詐欺、補助金適正化法違反事件等を検挙している。

【事例1】休眠会社を利用した商品仕入名下の取込詐欺事件（大阪）

雑貨販売会社営業部長(56)らは、代金支払の意思・能力がなく、かつ、引き渡しを受けた商品は直ちに廉売処分する意図であるのにこれを秘して、いかにも正常な商取引であるかのように装い、平成14年9月ころから11月ころの間、多数回にわたり、靴下製造会社等多数の会社から総額約3,400万円相当の商品を騙し取った（3月4日検挙）。

【事例2】地面師グループによる不動産売買名下の多額詐欺等事件（警視庁）

無職の男(63)らは、他人の不動産に設定されている担保権設定登記を担保権者に無断で抹消した上、その不動産を担保権の設定されていない不動産である旨偽って売買名下に金員を詐取しようと企て、登記官に対し、根抵当権設定登記抹消登記等の申請をして虚偽の申立をし、同人をして電磁的記録に不実の記録をさせて、公正証書の原本としての用に供し、同土地の購入希望者に対し、真実は同土地に根抵当権等が設定されているのにこれを秘して担保権の設定がない旨誤信させ、平成12年7月ころ、不動産売買名下に現金等合計1億300万円の交付を受けた（3月19日検挙）。

【事例3】雇用保険不正受給詐欺等事件（北海道）

無職の男(47)らは、公共職業安定所から失業等給付金名下に金員を詐取することを企て、会社の従業員として稼働した事実がないのに稼働した後離職したように装って、内容虚偽の雇用保険関係書類を公共職業安定所に提出し、職員を誤信させ、平成14年8月から11月までの間に、合計約3,000万円を振込入金させた（4月23日検挙）。

【事例4】元学校法人理事長らによる補助金適正化法違反事件（宮城）

元学校法人理事長(57)らは、補助金の受給資格がないのにこれがあるように装い、内容虚偽の書類を作成して事業団等に提出し、補助金の交付決定をさせ、平成11年12月から平成16年3月までの間に、合計約5億6,600万円を振込入金させ、偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けた（9月3日検挙）。

5 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、第4 - 1 - (4)「主な性犯罪の状況」を参照。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

平成16年の公然わいせつの認知件数は2,391件で、前年に比べ31件（1.3%）減少している。

検挙件数は1,669件、検挙人員は1,451人で、前年に比べ、検挙件数が37件（2.2%）減少し、検挙人員が5人（0.3%）減少している（図表4 - 5 - (2)）。

図表4 - 5 - (2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,108	1,203	1,290	1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	2,422	2,391	-31	-1.3
うちショーによるもの		-	48	29	10	12	7	5	22	52	11	-41	-78.8
検挙件数(件)		1,080	1,193	1,261	1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	1,706	1,669	-37	-2.2
うちショーによるもの		-	45	28	10	11	5	4	9	14	8	-6	-42.9
検挙人員(人)		882	1,114	1,143	1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	1,456	1,451	-5	-0.3
うちショーによるもの		-	94	95	79	85	15	16	16	29	21	-8	-27.6

注：平成7年は「ショーによるもの」の区分はないもの。

【事例1】いわゆるハプニングバーにおける公然わいせつ事件（警視庁）

3月25日、通称ハプニングバーと称する飲食店内において、入店客に対し、AV女優及び同女優のわいせつ行為を観覧させた、同店経営者及びAV女優等9人を公然わいせつで逮捕した（3月25日検挙）。

【事例2】ストリップ劇場経営者らによる公然わいせつ事件（青森）

6月9日、ストリップ劇場内において、入店客に対し、コロンビア人のダンサーをして陰部を露出させ、観覧させるなどした、同劇場経営者等3人を公然わいせつで逮捕した（6月9日検挙）。

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

平成16年のわいせつ物頒布等の認知件数は522件で、前年に比べ147件（39.2%）増加している。

検挙件数は502件、検挙人員は590人で、前年に比べ、検挙件数が138件（37.9%）、検挙人員が158人（36.6%）それぞれ増加している（図表4 - 5 - (3)）。

図表 4 - 5 - (3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		703	621	471	670	597	557	454	392	375	522	147	39.2
検挙件数(件)		702	622	473	669	596	552	451	393	364	502	138	37.9
検挙人員(人)		857	766	673	881	755	742	592	483	432	590	158	36.6

【事例 1】インターネット利用によるわいせつビデオテープ販売事件(山形)

平成14年11月ころから平成16年2月ころまでの間、インターネットを利用してわいせつビデオテープを販売した男性をわいせつ画像販売で逮捕した(6月10日検挙)。また、同男性が犯罪収益の取得につき事実を偽装しようと企て、他人名義の郵便貯金口座に収益を入金させていたことにより、組織犯罪処罰法(犯罪収益等の隠匿)で逮捕した(8月5日検挙)。

【事例 2】衛星放送を利用したわいせつ画像陳列事件(警視庁・愛知)

10月19日、通信衛星を利用してわいせつ画像を本邦に送信して、不特定多数の視聴者にわいせつ画像を閲覧させるなどした、受信機材の販売代理店の経営者ら4人をわいせつ物陳列罪で逮捕するとともに、台湾捜査当局において、衛星テレビ放送会社社長等3人を逮捕した(10月19日検挙)。

(4) 賭博の認知・検挙状況

平成16年の賭博の認知件数は249件で、前年に比べ41件(19.7%)増加している。

検挙件数は243件、検挙人員は1,422人で、前年に比べ、検挙件数が41件(20.3%)増加し、検挙人員が303人(17.6%)減少している(図表 4 - 5 - (4))。

図表 4 - 5 - (4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		702	590	604	515	293	278	290	300	208	249	41	19.7
うち遊技機使用賭博		-	261	257	227	107	150	112	95	82	133	51	62.2
検挙件数(件)		703	588	604	515	291	278	290	300	202	243	41	20.3
うち遊技機使用賭博		290	261	262	227	108	150	113	95	81	127	46	56.8
検挙人員(人)		5,270	4,100	3,253	3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	1,725	1,422	-303	-17.6
うち遊技機使用賭博		2,814	1,847	1,662	1,583	632	989	933	873	638	709	71	11.1

注：平成7年の認知件数には遊技機使用の区分がない。

【事例 1】無許可ゲームセンター店における常習賭博等事件(神奈川)

9月21日、横浜市中区所在の雑居ビルの一室において、ポーカーゲーム機を設置して、客5人を相手に賭博をしたゲームセンター経営者ら3人を常習賭博で、客5人を単純賭博で逮捕するとともに、賭金約130万円、ポーカーゲーム機10台を押収した(9月21日検挙)。

【事例 2】自称カジノ店における賭博場開帳図利等事件（警視庁）

10月18日、東京都新宿区所在の雑居ビルの一室において、賭博場を開帳し、客に賭博をさせ、換金手数料等を徴収した胴元側16人を賭博場開帳等図利、同幫助等で、賭客12人を賭博で逮捕するとともに、賭金約2,500万円、パカラ台2台、ルーレット台1台等を押収した（10月18日検挙）。

6 その他の特徴的な犯罪

(1) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚せい剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、平成7年以降を見ると一貫して増加傾向にあったが、平成16年は971人で、前年に比べ40人（4.0%）減少している（図表4-6-(1)-1）。

平成16年に殺人、強盗等の凶悪犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは84人で、前年に比べ15人（21.7%）増加し、暴行、傷害等の粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものが184人で、前年に比べ7人（4.0%）増加している（図表4-6-(1)-2）。

図表4-6-(1)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												人数	率(%)
薬物常用者		650	909	818	879	958	993	985	954	1,011	971	-40	-4.0
覚せい剤等常用者		419	591	598	615	729	774	772	745	802	823	21	2.6
有機溶剤等乱用者		231	318	220	264	229	219	213	209	209	148	-61	-29.2

注1：覚せい剤等常用者とは、覚せい剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含むシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表4-6-(1)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												人数	率(%)
検挙人員		650	909	818	879	958	993	985	954	1,011	971	-40	-4.0
凶悪犯		51	64	60	74	74	85	92	84	69	84	15	21.7
殺人		5	18	6	18	16	20	20	22	12	16	4	33.3
強盗		19	20	31	25	38	40	49	40	38	45	7	18.4
放火		14	11	9	9	9	12	12	10	10	5	-5	-50.0
強姦		13	15	14	22	11	13	11	12	9	18	9	100.0
粗暴犯		128	145	146	141	159	204	210	157	177	184	7	4.0
暴行		13	18	11	18	24	21	19	15	17	24	7	41.2
傷害		68	81	85	75	83	109	111	96	95	94	-1	-1.1
脅迫		7	7	7	4	8	19	11	11	9	8	-1	-11.1
恐喝		40	39	43	44	44	55	69	35	55	58	3	5.5
凶器準備集合		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	-100.0
窃盗犯		309	484	422	472	531	470	482	497	507	466	-41	-8.1
その他		162	216	190	192	194	234	201	216	258	237	-21	-8.1

(2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

平成16年における銃器使用事件（注1）の認知件数は517件で、前年に比べ112件（27.7%）増加している。このうち強盗が134件で、前年に比べ8件（6.3%）増加している（図表4-6-(2)-1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は9,111件で、前年に比べ1,860件（25.7%）増加している。このうち器物損壊が2,736件で、前年に比べ1,569件（134.4%）増加し、強盗が2,366件で、前年に比べ7件（0.3%）減少している（図表4-6-(2)-2）。

また、平成16年における殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が3.0%、刀剣類・刃物類使用が50.2%、強盗事件では銃器使用が1.8%、刀剣類・刃物類使用が32.4%となっている（図表4-6-(2)-3）。

図表4-6-(2)-1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知件数		212	325	321	339	327	350	396	375	405	517	112	27.7
うちけん銃使用		178	221	210	221	229	230	264	251	242	289	47	19.4
殺人		53	43	42	53	42	43	56	47	51	42	-9	-17.6
うちけん銃使用		46	36	40	49	40	36	50	43	45	36	-9	-20.0
強盗		86	125	114	117	137	140	171	151	126	134	8	6.3
うちけん銃使用		71	104	90	92	108	115	142	128	99	126	27	27.3
強姦		1	8	11	8	5	8	1	5	8	7	-1	-12.5
うちけん銃使用		0	6	4	5	4	5	1	3	7	6	-1	-14.3
暴行		6	24	17	22	25	21	21	19	39	44	5	12.8
うちけん銃使用		5	10	1	6	2	3	1	4	7	12	5	71.4
傷害		6	30	26	26	21	26	30	30	29	33	4	13.8
うちけん銃使用		5	9	9	7	10	6	3	7	10	7	-3	-30.0
脅迫		14	20	26	18	13	17	13	20	19	26	7	36.8
うちけん銃使用		8	13	15	8	12	10	6	15	11	19	8	72.7
恐喝		3	19	19	19	18	23	14	18	13	21	8	61.5
うちけん銃使用		3	11	11	10	12	16	11	8	7	15	8	114.3
強制わいせつ		0	10	5	1	4	4	4	1	4	3	-1	-25.0
うちけん銃使用		0	5	3	1	3	2	1	0	4	2	-2	-50.0
器物損壊		15	18	32	45	38	39	48	63	91	141	50	54.9
うちけん銃使用		12	9	15	24	18	15	20	26	34	35	1	2.9
その他		28	28	29	30	24	29	38	21	25	66	41	164.0
うちけん銃使用		28	18	22	19	20	22	29	17	18	31	13	72.2

注1：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「けん銃使用」とは、けん銃及びけん銃様のものを使用した事件をいい、また、けん銃様のものとは、けん銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及び事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
												件数	率(%)
認知件数		3,815	3,854	4,217	4,522	4,626	5,337	6,174	6,852	7,251	9,111	1,860	25.7
殺人		701	689	738	711	651	720	701	732	747	712	-35	-4.7
強盗		777	764	866	1,189	1,444	1,500	1,997	1,990	2,373	2,366	-7	-0.3
強姦		220	213	185	267	232	204	278	271	291	249	-42	-14.4
暴行		144	150	181	213	143	245	242	322	333	405	72	21.6
傷害		842	815	879	892	801	949	905	990	995	1,048	53	5.3
脅迫		175	162	219	222	215	335	421	437	474	534	60	12.7
恐喝		201	245	273	254	239	225	286	284	282	318	36	12.8
強制わいせつ		142	154	174	139	244	322	352	352	388	330	-58	-14.9
器物損壊		490	529	551	506	528	688	816	1,304	1,167	2,736	1,569	134.4
その他		123	133	151	129	129	149	176	170	201	413	212	105.5

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平15		平16		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人		1,452	100.0	1,419	100.0	-33	-2.3
銃器使用		51	3.5	42	3.0	-9	-17.6
刀剣類・刃物類使用		747	51.4	712	50.2	-35	-4.7
その他・不明		654	45.0	665	46.9	11	1.7
強盗		7,664	100.0	7,295	100.0	-369	-4.8
銃器使用		126	1.6	134	1.8	8	6.3
刀剣類・刃物類使用		2,373	31.0	2,366	32.4	-7	-0.3
その他・不明		5,165	67.4	4,795	65.7	-370	-7.2

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

平成16年に猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は17件発生した。このうち殺人は3件で、いずれも所持許可に係る猟銃等を使用したものであった（図表4 - 6 - (2) - 4）。

図表4 - 6 - (2) - 4 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平15	平16	増減	
				件数	率(%)
発生件数(件)		17	17	0	0.0
殺人		5	3	-2	-40.0
強盗		2	0	-2	-100.0
その他		10	14	4	40.0

注1：事件の発生件数については、平成17年2月14日現在、警察庁に報告のあったもの。

社会的に重大な犯罪が主であり、軽微な犯罪は含まれない。

注2：その他には、器物損壊、暴力行為等処罰二関スル法律違反等が含まれる。

(3) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

平成16年における窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は15万4,215件、同じくクレジットカードは9万8,731件であり、手口別に見ると、キャッシュカードは車上ねらいが5万1,266件（33.2%）、置ききが2万7,387件（17.8%）、ひったくりが1万7,236件（11.2%）となっており、クレジットカードは車上ねらいが3万2,345件（32.8%）、置ききが1万6,636件（16.8%）、ひったくりが1万1,804件（12.0%）となっている（図表4-6-(3)-1）。

図表4-6-(3)-1 カードの窃盗被害の状況（平成16年）

犯罪類型	区分	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
		件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
窃盗		154,215	100.0	98,731	100.0	3,063	100.0	11,711	100.0
	侵入窃盗	16,195	10.5	9,331	9.5	226	7.4	1,266	10.8
	住宅対象侵入窃盗	13,125	8.5	7,810	7.9	184	6.0	669	5.7
	その他	3,070	2.0	1,521	1.5	42	1.4	597	5.1
	非侵入窃盗	136,996	88.8	88,520	89.7	2,791	91.1	10,188	87.0
	ひったくり	17,236	11.2	11,804	12.0	155	5.1	680	5.8
	すり	10,539	6.8	8,543	8.7	131	4.3	580	5.0
	置きき	27,387	17.8	16,636	16.8	409	13.4	1,285	11.0
	車上ねらい	51,266	33.2	32,345	32.8	1,504	49.1	5,735	49.0
	仮睡者ねらい	6,070	3.9	4,126	4.2	188	6.1	167	1.4
	脱衣場ねらい	4,592	3.0	3,051	3.1	84	2.7	237	2.0
	その他	19,906	12.9	12,015	12.2	320	10.4	1,504	12.8
	乗り物盗	1,024	0.7	880	0.9	46	1.5	257	2.2

注1：「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2：統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の平成16年における認知件数は620件で、前年に比べ105件（20.4%）増加している。検挙件数は555件、検挙人員は384人で、前年に比べ、検挙件数が96件（20.9%）、検挙人員が147人（62.0%）それぞれ増加している。特に不正電磁的記録カード所持の認知件数は312件で、前年に比べ99件（46.5%）増加し、検挙件数は299件、検挙人員は260人で、前年に比べ、検挙件数が91件（43.8%）、検挙人員が90人（52.9%）それぞれ増加している（図表4-6-(3)-2）。

図表4 - 6 - (3) - 2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平15	平16	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	515	620	105	20.4
	検挙件数	459	555	96	20.9
	検挙人員	237	384	147	62.0
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	19	17	-2	-10.5
	検挙件数	8	1	-7	-87.5
	検挙人員	3	1	-2	-66.7
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	239	227	-12	-5.0
	検挙件数	210	203	-7	-3.3
	検挙人員	33	54	21	63.6
不正電磁的記録カードの譲り渡し、貸渡し、 輸入(第163条の2第3項)	認知件数	-	27	-	-
	検挙件数	-	24	-	-
	検挙人員	-	27	-	-
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	213	312	99	46.5
	検挙件数	208	299	91	43.8
	検挙人員	170	260	90	52.9
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	-	4	-	-
	検挙件数	-	1	-	-
	検挙人員	-	0	-	-
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	-	0	-	-
	検挙件数	-	0	-	-
	検挙人員	-	1	-	-
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	-	18	-	-
	検挙件数	-	18	-	-
	検挙人員	-	32	-	-
支払用カード不正作出器械、原料準備 (第163条の4第3項)	認知件数	44	15	-29	-65.9
	検挙件数	33	9	-24	-72.7
	検挙人員	31	9	-22	-71.0

注1：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード(代金後払い)、プリペイドカード(前払い)、デビットカード(預貯金の即時振替払い)等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

注2：「不正電磁的記録カードの譲り渡し、貸渡し、輸入」、「支払用カード電磁的記録不正取得」、「支払用カード電磁的記録不正提供」及び「支払用カード不正記録情報保管」については、平成15年以前の統計区分がないもの。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカードや預金通帳等を利用してATM(CD含む)から現金を窃取する払出盗のうち、キャッシュカードやクレジットカード等のカードを利用したものの認知件数は4,477件、現金被害総額は27億8,500万9千円となっている(図表4-6-(3)-3)。

なお、ATM等から現金を払出す際に必要となる暗証番号を推知する手口として、自動車運転免許証等の生年月日等から暗証番号を類推するもの、ATMを利用する者の背後から暗証番号をのぞき見るもの、警察官等を装い暗証番号を聞き出すもの等が見られる。

また、平成16年に認知した詐欺事件のうち、キャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用したものは1,599件で、被害金総額は1億8,703万2千円となっている(図表4-6-(3)-4)。

図表 4 - 6 - (3) - 3 カードを使用した窃盗の状況 (平成16年)

区分	種別	計			
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	
認知件数		4,477	3,448	568	461
現金被害総額 (千円)		2,785,009	2,402,498	205,380	177,131

注：不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカードや預金通帳等を利用してATM（CDを含む。）から現金を窃取する手口（払出盗）のうち、キャッシュカードやクレジットカード等のカード類を利用した件数を計上。

図表 4 - 6 - (3) - 4 カードを使用した詐欺の状況 (平成16年)

区分	種別	計				
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード	
認知件数		1,599	13	1,451	83	52
被害金総額 (千円)		187,032	5,398	144,756	35,375	1,503

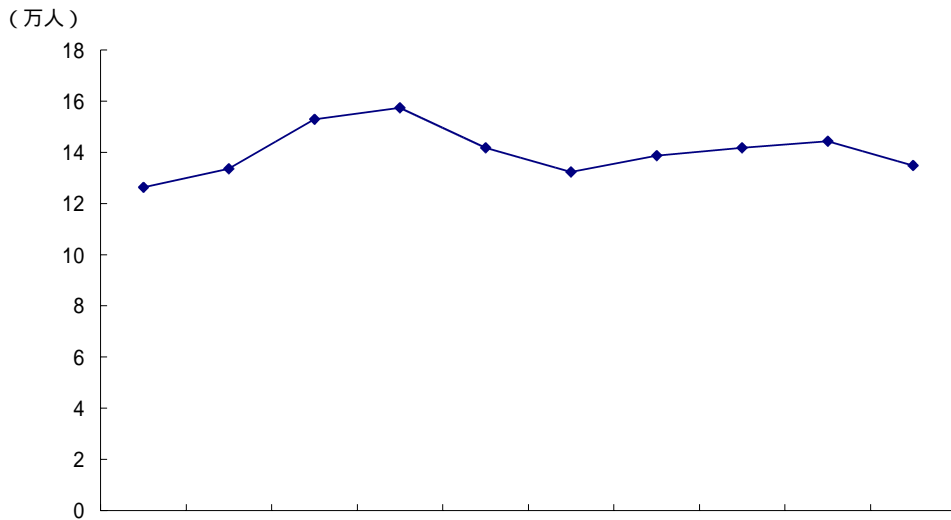
7 少年による犯罪

(1) 少年の刑法犯検挙状況

平成16年における少年の刑法犯検挙人員は13万4,847人で、前年に比べ9,557人(6.6%)減少している。罪種別で見ると、凶悪犯は628人(28.4%)、粗暴犯は2,917人(20.3%)減少し、知能犯は456人(58.2%)増加している。

人口比(国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく、14歳以上20歳未満の人口1,000人当たりの刑法犯検挙人員をいう。)は0.7減少している(図4-7-(1))。

図4-7-(1) 少年の刑法犯検挙人員の推移



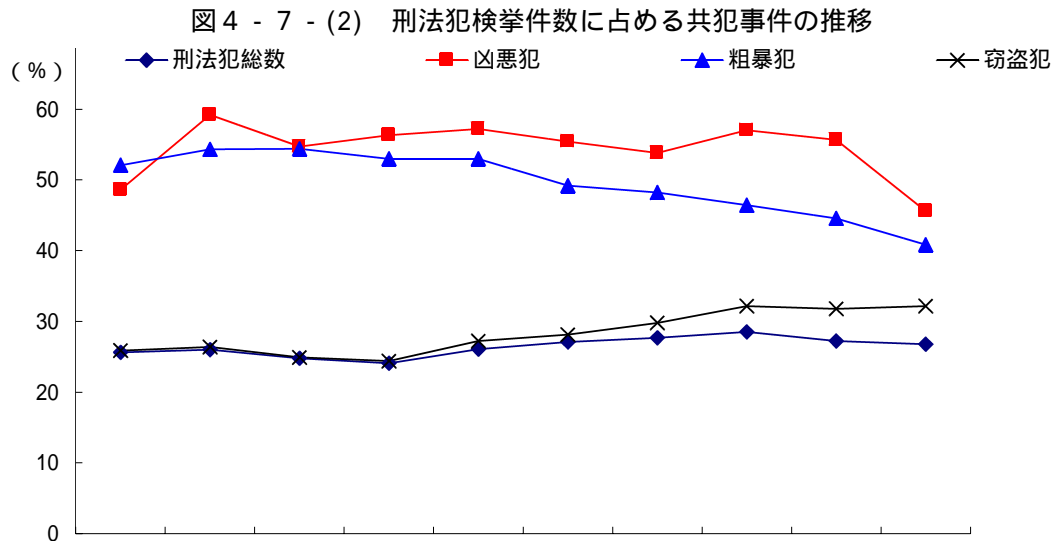
区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減数	増減率
刑法犯総数		126,249	133,581	152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	-9,557	-6.6
凶悪犯		1,291	1,496	2,263	2,197	2,237	2,120	2,127	1,986	2,212	1,584	-628	-28.4
殺人		78	96	74	115	110	105	99	80	93	57	-36	-38.7
強盗		856	1,068	1,675	1,538	1,611	1,638	1,670	1,586	1,771	1,273	-498	-28.1
放火		93	111	113	89	90	81	103	90	106	103	-3	-2.8
強姦		264	221	401	455	426	296	255	230	242	151	-91	-37.6
粗暴犯		15,449	15,568	17,981	17,321	15,930	19,691	18,416	15,954	14,356	11,439	-2,917	-20.3
凶器準備集合		349	248	356	160	138	126	408	250	340	239	-101	-29.7
暴行		1,710	1,699	2,095	1,650	1,418	2,009	1,915	1,794	1,714	1,608	-106	-6.2
傷害		7,675	7,869	9,092	9,306	8,596	10,687	10,102	9,140	8,110	6,408	-1,702	-21.0
脅迫		57	40	77	78	68	157	149	154	127	111	-16	-12.6
恐喝		5,658	5,712	6,361	6,127	5,710	6,712	5,842	4,616	4,065	3,073	-992	-24.4
窃盗犯		81,060	85,306	97,836	99,768	86,561	77,903	81,260	83,300	81,512	76,637	-4,875	-6.0
うちひったくり		973	1,331	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	-605	-30.9
うち万引き		32,176	36,264	48,313	50,944	39,429	36,779	38,804	40,511	38,648	38,865	217	0.6
知能犯		505	532	628	715	561	584	526	632	784	1,240	456	58.2
うち詐欺		431	437	555	641	492	510	449	559	672	1,077	405	60.3
風俗犯		492	458	486	434	409	429	410	347	425	344	-81	-19.1
うち強制わいせつ		321	330	353	301	314	344	321	256	331	253	-78	-23.6
その他の刑法犯		27,452	30,221	33,631	36,950	36,023	31,609	35,915	39,556	45,115	43,603	-1,512	-3.4
うち占有離脱物横領		24,413	27,217	30,349	33,212	32,072	27,110	30,965	34,263	38,547	37,194	-1,353	-3.5
人口比		12.5	13.7	16.1	16.9	15.6	14.9	16.0	16.7	17.5	16.8	-0.7	-

注：人口比とは、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく、14歳以上20歳未満の人口1,000人当たりの刑法犯検挙人員をいう。

(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成16年における少年の刑法犯検挙件数に占める共犯率は26.8%で、前年に比べ、0.4ポイント減少している。

共犯率の高い凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯については、凶悪犯は10.1ポイント、粗暴犯は3.7ポイント減少したが、窃盗犯は0.3ポイント増加している（図4-7-(2)）。



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減
刑法犯総数	総数	187,618	184,693	199,254	199,430	176,875	137,333	136,602	139,942	140,045	130,779	-9,266
	うち共犯	47,999	48,100	49,458	47,981	46,194	37,233	37,781	39,901	38,104	34,994	-3,110
	(共犯率%)	25.6	26.0	24.8	24.1	26.1	27.1	27.7	28.5	27.2	26.8	-0.4
凶悪犯	総数	765	828	1,234	1,072	1,052	986	1,039	1,091	1,146	895	-251
	うち共犯	372	490	675	604	602	546	559	622	638	408	-230
	(共犯率%)	48.6	59.2	54.7	56.3	57.2	55.4	53.8	57.0	55.7	45.6	-10.1
粗暴犯	総数	9,262	8,978	9,984	9,656	9,399	11,423	10,347	9,114	8,498	7,129	-1,369
	うち共犯	4,828	4,878	5,432	5,113	4,986	5,625	4,987	4,227	3,786	2,914	-872
	(共犯率%)	52.1	54.3	54.4	53.0	53.0	49.2	48.2	46.4	44.6	40.9	-3.7
窃盗犯	総数	150,393	145,625	155,500	153,702	132,467	95,027	91,261	92,153	87,379	80,862	-6,517
	うち共犯	38,982	38,470	38,788	37,507	36,025	26,745	27,222	29,682	27,786	25,996	-1,790
	(共犯率%)	25.9	26.4	24.9	24.4	27.2	28.1	29.8	32.2	31.8	32.1	0.3

注1：共犯率とは、刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合をいい、少年と成人との共犯事件は含まれていない。

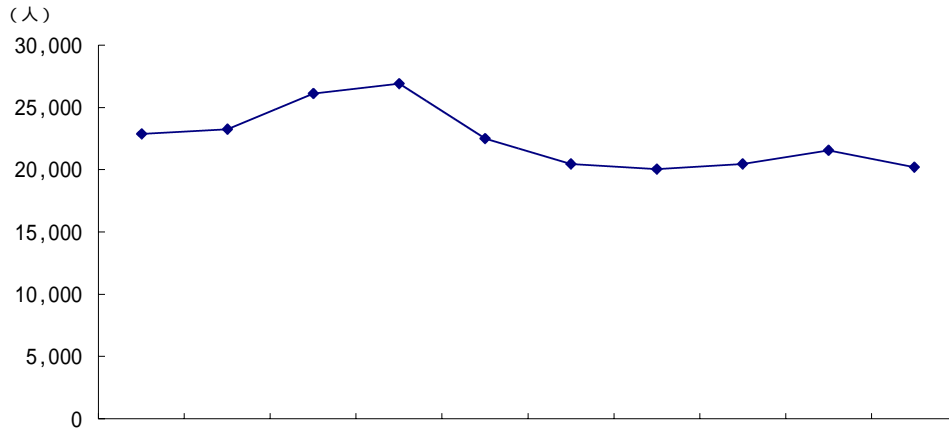
注2：グラフは、共犯率を示したものである。

(3) 触法少年の補導状況

平成16年の触法少年（刑法）の補導人員は2万191人で、前年に比べ、1,348人(6.3%)減少している。
 罪種別で見ると、凶悪犯は7人（3.3%）、知能犯は7人（17.9%）増加し、粗暴犯は166人（11.3%）減少している（図4-7-(3)）。

人口比（国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく、10歳以上14歳未満の人口1,000人当たりの触法少年（刑法）の補導人員をいう。）は0.2減少している。

図4-7-(3) 触法少年（刑法）の補導状況



区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減数	増減率
刑法犯総数		22,888	23,242	26,125	26,905	22,503	20,477	20,067	20,477	21,539	20,191	-1,348	-6.3
凶悪犯		188	172	167	182	173	174	165	144	212	219	7	3.3
殺人		2	1	1	2	1	0	10	3	3	5	2	66.7
強盗		17	14	26	28	33	30	25	25	29	28	-1	-3.4
放火		165	151	132	147	127	129	125	102	166	179	13	7.8
強姦		4	6	8	5	12	15	5	14	14	7	-7	-50.0
粗暴犯		1,374	1,275	1,525	1,455	1,507	1,869	1,696	1,613	1,467	1,301	-166	-11.3
凶器準備集合		22	9	5	2	12	21	0	0	22	1	-21	-95.5
暴行		235	232	208	197	234	359	312	310	295	354	59	20.0
傷害		426	447	535	608	648	815	824	817	707	588	-119	-16.8
脅迫		10	12	4	8	8	21	18	13	34	30	-4	-11.8
恐喝		681	575	773	640	605	653	542	473	409	328	-81	-19.8
窃盗		18,016	18,189	20,745	21,493	16,968	14,840	14,128	14,257	14,448	13,710	-738	-5.1
うちひたくり		166	162	204	236	221	211	174	156	145	110	-35	-24.1
うち万引き		10,726	10,947	13,562	14,674	10,424	8,983	8,524	8,673	8,468	8,353	-115	-1.4
知能犯		33	34	24	32	21	30	37	31	39	46	7	17.9
うち詐欺		25	29	21	32	18	25	33	31	28	29	1	3.6
風俗犯		83	89	108	95	81	95	110	131	132	116	-16	-12.1
うち強制わいせつ		75	79	98	93	77	90	105	125	121	108	-13	-10.7
その他の刑法犯		3,194	3,483	3,556	3,648	3,753	3,469	3,931	4,301	5,241	4,799	-442	-8.4
うち占有離脱物横領		2,228	2,442	2,509	2,628	2,773	2,287	2,682	2,825	3,592	3,184	-408	-11.4
人口比		3.8	4.0	4.6	4.9	4.2	4.0	4.0	4.2	4.4	4.2	-0.2	-

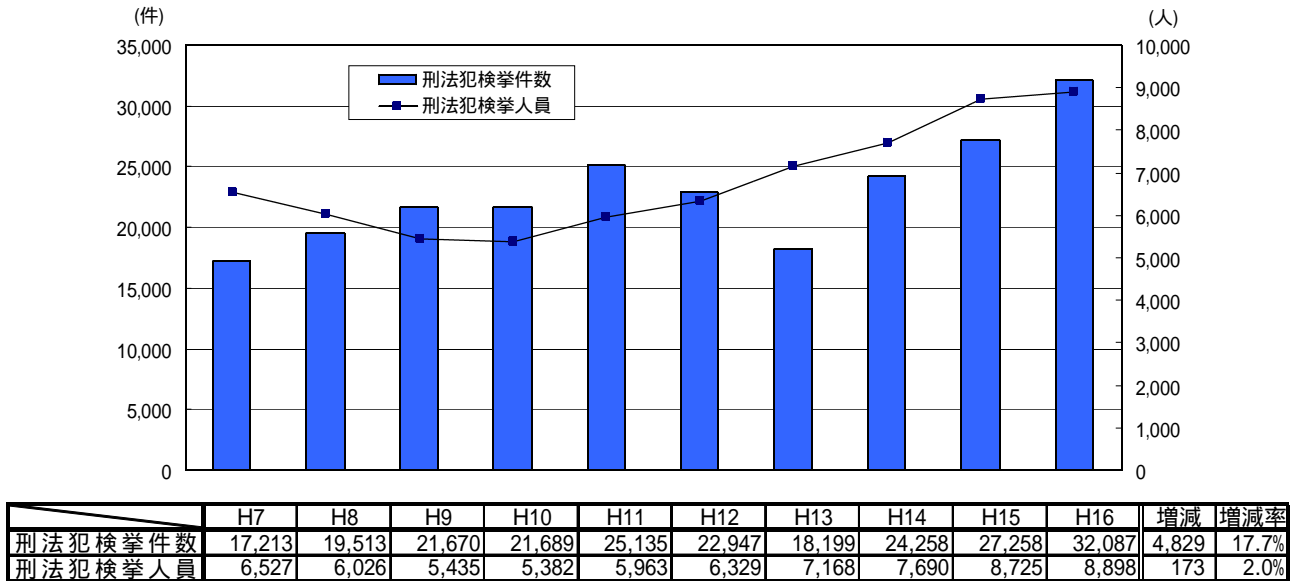
注：人口比とは、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく、10歳以上14歳未満の人口1,000人当たりの触法少年（刑法）の補導人員をいう。

8 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

平成16年における来日外国人に係る刑法犯の検挙件数、検挙人員はそれぞれ32,087件、8,898人で、年間の検挙件数、検挙人員が過去最多を記録した前年に比べ、件数で4,829件（17.7%）、人員で173人（2.0%）増加した（図表4-8-(1)）。

図表4-8-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



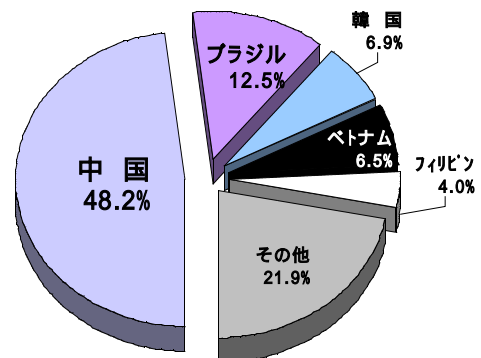
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

平成16年における刑法犯の国籍・地域別検挙状況を見ると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が11,340件（構成比35.3%）、次いでトルコが7,350件（同22.9%）、ブラジルが7,001件（同21.8%）となっており、検挙人員では中国が4,285人（同48.2%）、次いでブラジルが1,116人（同12.5%）、韓国が617人（同6.9%）となっている（図表4-8-(2)-1、2）。

図表4-8-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数			刑法犯検挙人員	
	件数	構成比		人員	構成比
総数	32,087	100%	総数	8,898	100%
中国	11,340	35.3%	中国	4,285	48.2%
トルコ	7,350	22.9%	ブラジル	1,116	12.5%
ブラジル	7,001	21.8%	韓国	617	6.9%
韓国	1,454	4.5%	ベトナム	576	6.5%
コロンビア	862	2.7%	フィリピン	353	4.0%
その他	4,080	12.7%	その他	1,951	21.9%

図表4-8-(2)-2 検挙人員構成比



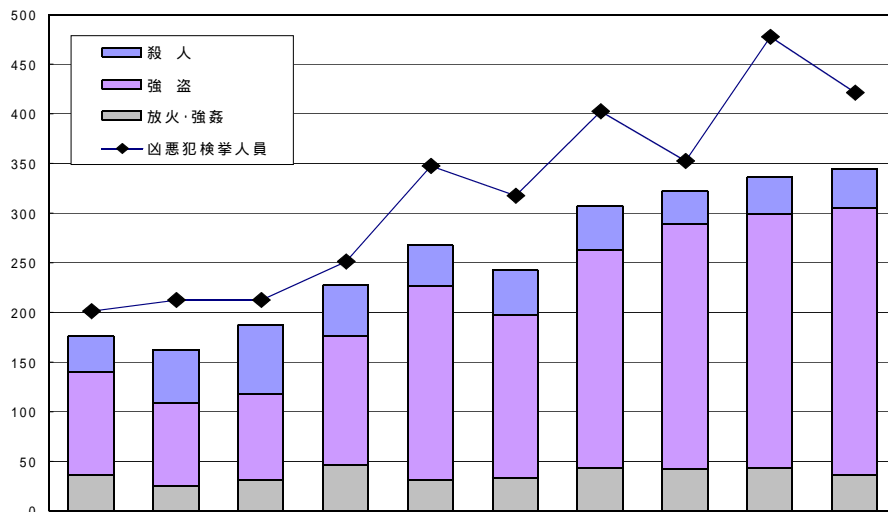
「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない

(3) 凶悪犯の検挙状況

平成16年における凶悪犯（殺人、強盗、放火及び強姦）の検挙件数、検挙人員は、345件、421人で、前年と比べ、件数で9件増加し、人員で56人減少した。ここ数年、検挙人員の増減があるものの依然として高水準で推移している。

凶悪犯の大半を占める強盗の検挙件数、検挙人員は、それぞれ269件、338人で、前年に比べ、件数で14件増加し、人員で31人減少した（図表4-8-(3)）。

図表4-8-(3) 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移



		H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	前年比	増減率
凶悪犯検挙	件数	176	162	187	228	267	242	308	323	336	345	9	2.7%
	人員	201	212	213	251	347	318	403	353	477	421	-56	-11.7%
殺人	件数	36	53	69	52	41	44	45	34	37	40	3	8.1%
	人員	41	73	83	62	50	54	59	41	61	52	-9	-14.8%
強盗	件数	104	84	87	130	195	164	219	247	255	269	14	5.5%
	人員	135	114	103	160	278	236	309	280	369	338	-31	-8.4%
放火	件数	21	7	14	3	12	6	10	7	13	10	-3	-23.1%
	人員	10	7	11	3	1	6	11	7	13	9	-4	-30.8%
強姦	件数	15	18	17	43	19	28	34	35	31	26	-5	-16.1%
	人員	15	18	16	26	18	22	24	25	34	22	-12	-35.3%

【事例1】 三重県、東京都にまたがる中国人グループによる強盗殺人・強盗事件（三重・警視庁）

5月22日、数人の中国人グループが医師宅に押し入り、就寝中の夫妻を緊縛して顔面等を殴打するなどの暴行により妻を殺害し、現金約500万円他金品を強取して逃走した。同グループは、4月3日、東京都福生市内で発生した緊縛強盗事件にも関与しており、合同捜査を推進して、これまでに中国人関係被疑者5名、日本人の運転者役1名を検挙した。

【事例2】 ブラジル人グループによるコンビニエンスストア対象の連続持凶器強盗事件（静岡・愛知）

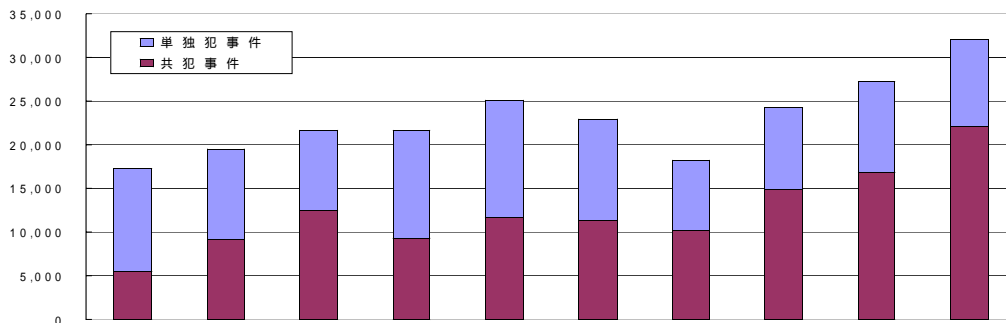
8月中、ブラジル人グループが、静岡県、愛知県内のコンビニエンスストアにおいて、店員に包丁を突き付けてレジから現金を奪う手口で、9店舗から合計約66万円の現金を強取して逃走した。その後の捜査でブラジル人被疑者3人の犯行であることを突き止めて検挙した。

(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成16年における刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は69.0%で、前年に比べ7.3ポイント増加しており、日本人の検挙件数に占める共犯事件の比率（19.0%）と比べても、一層、組織化の進展がうかがえる。

罪種別に見ると、窃盗犯（77.3%）、強盗（68.8%）での共犯率が高く、特に侵入窃盗（89.1%）の共犯率が高い（図表4-8-(4)-1、2）。

図表4-8-(4)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める「共犯事件」の推移



	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	前年比	増減率
刑法犯検挙件数	17,213	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	4,829	17.7%
単独犯事件	11,730	10,373	9,262	12,340	13,476	11,584	8,022	9,339	10,438	9,936	-502	-4.8%
共犯事件	5,483	9,140	12,408	9,349	11,659	11,363	10,177	14,919	16,820	22,151	5,331	31.7%
構成比	31.9%	46.8%	57.3%	43.1%	46.4%	49.5%	55.9%	61.5%	61.7%	69.0%	7.3ポイント	

図表4-8-(4)-2 刑法犯検挙件数 罪種等別・共犯形態(来日外国人・日本人)

	合計	来日外国人					合計	日本人				
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上
刑法犯	32,087	9,936	22,151	6,414	7,067	8,670	607,872	492,308	115,564	76,154	23,410	16,000
	構成比	31.0%	69.0%	20.0%	22.0%	27.0%	構成比	81.0%	19.0%	12.5%	3.9%	2.6%
凶悪犯	345	146	199	64	45	90	7,145	5,769	1,376	652	311	413
	構成比	42.3%	57.7%	18.6%	13.0%	26.1%	構成比	80.7%	19.3%	9.1%	4.4%	5.8%
殺人	40	31	9	3	5	1	1,157	1,046	111	51	21	39
	構成比	77.5%	22.5%	7.5%	12.5%	2.5%	構成比	90.4%	9.6%	4.4%	1.8%	3.4%
強盗	269	84	185	57	40	88	3,294	2,212	1,082	492	254	336
	構成比	31.2%	68.8%	21.2%	14.9%	32.7%	構成比	67.2%	32.8%	14.9%	7.7%	10.2%
放火	10	6	4	3		1	1,390	1,340	50	34	8	8
	構成比	60.0%	40.0%	30.0%	0.0%	10.0%	構成比	96.4%	3.6%	2.4%	0.6%	0.6%
強姦	26	25	1	1		0	1,304	1,171	133	75	28	30
	構成比	96.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	構成比	89.8%	10.2%	5.8%	2.1%	2.3%
粗暴犯	526	454	72	49	12	11	39,077	32,094	6,983	3,917	1,566	1,500
	構成比	86.3%	13.7%	9.3%	2.3%	2.1%	構成比	82.1%	17.9%	10.0%	4.0%	3.8%
窃盗犯	27,521	6,246	21,275	6,060	6,861	8,354	400,734	311,410	89,324	60,512	18,684	10,128
	構成比	22.7%	77.3%	22.0%	24.9%	30.4%	構成比	77.7%	22.3%	15.1%	4.7%	2.5%
うち侵入窃盗	8,396	917	7,479	1,885	2,411	3,183	93,720	75,681	18,039	10,634	4,364	3,041
	構成比	10.9%	89.1%	22.5%	28.7%	37.9%	構成比	80.8%	19.2%	11.3%	4.7%	3.2%
うち住宅対象	7,006	729	6,277	1,800	2,038	2,439	49,035	42,423	6,612	4,325	1,047	1,240
	構成比	10.4%	89.6%	25.7%	29.1%	34.8%	構成比	86.5%	13.5%	8.8%	2.1%	2.5%
知能犯	797	534	263	124	35	104	34,308	24,920	9,388	5,227	1,476	2,685
	構成比	67.0%	33.0%	15.6%	4.4%	13.0%	構成比	72.6%	27.4%	15.2%	4.3%	7.8%
風俗犯	85	80	5	1		4	5,748	5,393	355	141	64	150
	構成比	94.1%	5.9%	1.2%	0.0%	4.7%	構成比	93.8%	6.2%	2.5%	1.1%	2.6%
その他	2,813	2,476	337	116	114	107	120,860	112,722	8,138	5,705	1,309	1,124
	構成比	88.0%	12.0%	4.1%	4.1%	3.8%	構成比	93.3%	6.7%	4.7%	1.1%	0.9%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

平成16年における刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は15.7%で、前年と比較すると1.7ポイント減少した。しかし、凶悪犯全体で見ると421人中160人で38.0%、そのうち強盗では338人中133人で39.3%となっているほか、偽造等の知能犯（41.0%）、風俗犯（29.5%）で高い割合を示している。また、窃盗犯全体で見ると4,717人中785人で16.6%と低い割合であるが、侵入窃盗では、565人中317人で56.1%と不法滞在者の割合が依然として高くなっている（図表4 - 8 - (5)）。

図表4 - 8 - (5) 来日外国人 罪種等別・在留資格別 検挙人員の比較

		刑 法 犯											
		凶悪犯	凶悪犯				粗暴犯	窃盗犯	うち侵入盗	知能犯	風俗犯	その他	
			殺人	強盗	放火	強姦							
平成16年	検挙人員	8,898	421	52	338	9	22	591	4,717	565	564	139	2,466
	正規滞在	7,505	261	31	205	7	18	526	3,932	248	333	98	2,355
	構成比	84.3%	62.0%	59.6%	60.7%	77.8%	81.8%	89.0%	83.4%	43.9%	59.0%	70.5%	95.5%
	興行	74	2		1		1	3	54			1	14
	短期滞在	617	15	3	10		2	33	349	29	34	13	173
	留学	1,083	30	3	25		2	34	473	33	53	4	489
	就学	1,097	36	4	32			40	553	26	55	7	406
	研修	515	5	2	3			10	369	4	7	1	123
	定住者	2,035	122	10	97	6	9	190	1,077	90	51	26	569
	その他	2,084	51	9	37	1	4	216	1,057	66	133	46	581
	不法滞在	1,393	160	21	133	2	4	65	785	317	231	41	111
	構成比	15.7%	38.0%	40.4%	39.3%	22.2%	18.2%	11.0%	16.6%	56.1%	41.0%	29.5%	4.5%
	不法入国・上陸	695	73	8	63	1	1	18	433	235	121	10	40
	不法残留	698	87	13	70	1	3	47	352	82	110	31	71
	興行	17						3	12	3	1	1	
	短期滞在	334	40	11	28		1	24	171	38	48	26	25
	留学	74	10	1	9			4	35	10	6	2	17
	就学	129	23		23			8	65	14	21		12
	研修	42						1	26	2	10		5
	その他	102	14	1	10	1	2	7	43	15	24	2	12
平成15年	検挙人員	8,725	477	61	369	13	34	633	4,555	704	497	93	2,470
	正規滞在	7,205	302	45	224	8	25	555	3,647	243	288	67	2,346
	構成比	82.6%	63.3%	73.8%	60.7%	61.5%	73.5%	87.7%	80.1%	34.5%	57.9%	72.0%	95.0%
	興行	72	3	1	2			2	52	1	1		14
	短期滞在	514	14	2	10		2	51	328	39	17	5	99
	留学	1,191	36	1	32	1	2	47	449	42	53	6	600
	就学	1,081	52	8	41		3	53	475	20	45	2	454
	研修	514	5	3	2			15	355	12	19		120
	定住者	1,798	128	19	95	2	12	182	972	42	40	11	465
	その他	2,035	64	11	42	5	6	205	1,016	87	113	43	594
	不法滞在	1,520	175	16	145	5	9	78	908	461	209	26	124
	構成比	17.4%	36.7%	26.2%	39.3%	38.5%	26.5%	12.3%	19.9%	65.5%	42.1%	28.0%	5.0%
	不法入国・上陸	677	87	6	78	2	1	19	409	317	106	7	49
	不法残留	843	88	10	67	3	8	59	499	144	103	19	75
	興行	10						2	5	1		1	2
	短期滞在	453	36	5	23	2	6	33	282	76	57	12	33
	留学	62	14	3	10	1			34	11	8		6
	就学	134	19	1	18			11	67	25	18	2	17
	研修	51	4		4			3	37	5	4		3
	その他	133	15	1	12		2	10	74	26	16	4	14

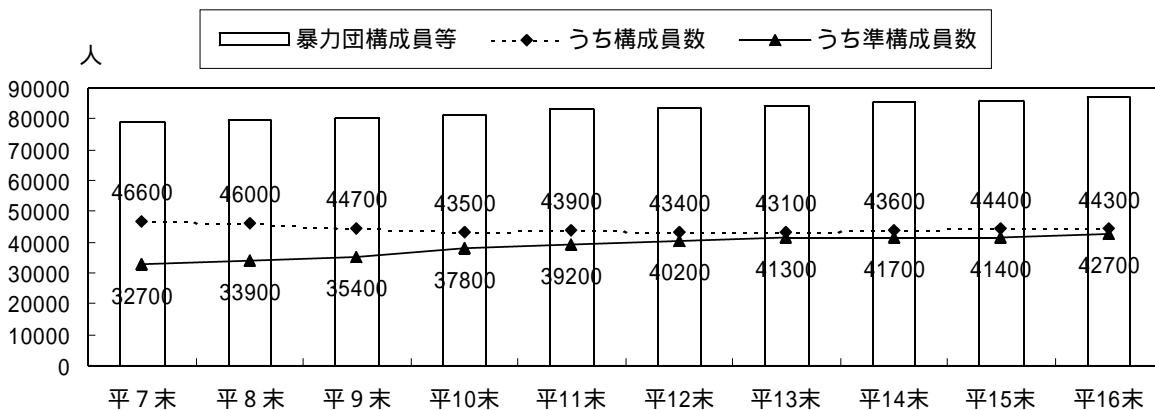
9 暴力団による犯罪

(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員等の合計数は、平成8年以降微増傾向にあり、平成16年末現在約8万7,000人で、引き続き微増している（前年比約1,200人（1.4%）増加）。うち暴力団構成員数は約4万4,300人で、前年に比べ100人減少している一方、準構成員数は4万2,700人で、約1,300人増加している（図表4-9-(1)）。

また、五代目山口組、稲川会、住吉会の3団体の暴力団構成員等は約6万1,300人（全暴力団構成員等の70.5%）であり、主要3団体による寡占化が進んでいる。

図表4-9-(1) 暴力団構成員等の推移



(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

平成16年における暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の刑法犯の検挙件数は3万8,944件で、前年に比べ631件（1.6%）減少している（図表4-9-(2)-1）。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は1万9,472人で、前年に比べ793人（3.9%）減少し、このうち構成員の検挙人員は6,461人で、前年に比べ629人（8.9%）減少している。また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別を見ると、傷害が4,319人（構成比22.2%）と最も多く、次いで窃盗が3,265人（同16.8%）、恐喝が2,808人（同14.4%）、詐欺が1,821人（同9.4%）の順になっている（図表4-9-(2)-2、3）。

図表 4 - 9 - (2) - 1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種名	年次	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	164	129	181	168	175	172	170	159	184	173	-11	-6.0%
	強盗	319	312	276	348	381	457	352	382	483	413	-70	-14.5%
	放火	38	39	48	64	86	61	46	51	51	38	-13	-25.5%
	強姦	148	154	160	142	193	162	119	146	127	99	-28	-22.0%
	凶器準備集合	7	3	7	8	12	8	11	8	6	11	5	83.3%
	暴行	1,014	974	994	1,046	876	996	997	1,040	1,050	1,074	24	2.3%
	傷害	3,303	3,371	3,331	3,497	3,294	3,667	3,490	3,560	3,466	3,208	-258	-7.4%
	脅迫	515	407	444	402	402	482	480	477	477	423	-54	-11.3%
	恐喝	2,012	1,982	2,102	2,122	1,901	2,265	2,209	2,221	2,313	1,999	-314	-13.6%
	窃盗	18,133	24,371	24,838	28,931	27,087	18,910	16,218	19,607	23,444	23,640	196	0.8%
法	詐欺	6,085	6,356	6,665	6,245	6,913	4,642	3,758	3,835	3,643	3,148	-495	-13.6%
	横領	154	172	159	160	102	108	144	116	126	105	-21	-16.7%
	文書偽造	1,197	1,561	2,051	1,548	1,539	1,086	924	951	906	698	-208	-23.0%
	賭博	464	373	397	350	222	176	228	238	133	136	3	2.3%
	わいせつ物頒布等	117	102	79	108	86	81	73	40	59	102	43	72.9%
	公務執行妨害	235	289	335	365	370	442	444	492	547	556	9	1.6%
	うち競売等妨害	7	39	52	47	49	43	30	37	34	40	6	17.6%
	犯人威迫	64	43	66	58	47	43	49	72	61	57	-4	-6.6%
	証人威迫	6	5	6	4	3	7	11	5	7	3	-4	-57.1%
	逮捕監禁	171	193	214	185	178	213	205	225	204	205	1	0.5%
犯	信用毀損・威力業務妨害	35	39	37	50	50	63	74	47	62	52	-10	-16.1%
	器物損壊	617	577	566	746	598	679	648	789	771	876	105	13.6%
	暴力行為	85	75	53	52	40	38	38	27	36	70	34	94.4%
	その他刑法犯	758	885	754	884	817	775	943	1,326	1,419	1,858	439	30.9%
	刑法犯合計	35,641	42,412	43,763	47,483	45,372	35,533	31,631	35,814	39,575	38,944	-631	-1.6%

図表 4 - 9 - (2) - 2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種名	年次	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	252	210	265	257	305	305	294	299	313	310	-3	-1.0%
	強盗	376	385	442	546	638	596	651	652	755	727	-28	-3.7%
	放火	43	47	56	49	58	60	48	77	61	61	0	0.0%
	強姦	153	189	195	194	185	201	163	180	132	137	5	3.8%
	凶器準備集合	93	23	76	32	43	61	79	109	136	92	-44	-32.4%
	暴行	1,254	1,168	1,280	1,285	1,087	1,185	1,222	1,231	1,273	1,233	-40	-3.1%
	傷害	4,606	4,581	4,589	4,882	4,618	5,021	4,838	4,904	4,651	4,319	-332	-7.1%
	脅迫	574	523	557	534	516	591	613	606	551	487	-64	-11.6%
	恐喝	2,766	2,666	2,638	3,044	2,889	3,290	3,070	2,954	3,092	2,808	-284	-9.2%
	窃盗	2,164	2,262	2,488	3,062	3,001	2,623	2,757	2,917	3,396	3,265	-131	-3.9%
法	詐欺	1,491	1,508	1,572	1,618	1,880	1,556	1,723	1,695	1,701	1,821	120	7.1%
	横領	142	160	133	136	104	113	107	117	101	108	7	6.9%
	文書偽造	234	248	321	353	378	355	293	462	357	323	-34	-9.5%
	賭博	2,681	2,482	1,728	1,881	1,575	1,164	1,238	1,374	780	837	57	7.3%
	わいせつ物頒布等	151	113	105	142	134	126	112	62	80	128	48	60.0%
	公務執行妨害	227	343	364	382	436	466	462	493	543	569	26	4.8%
	うち競売等妨害	22	122	116	93	130	110	78	80	83	98	15	18.1%
	犯人威迫	102	62	83	86	71	69	60	99	82	69	-13	-15.9%
	証人威迫	7	4	10	8	3	11	15	6	13	3	-10	-76.9%
	逮捕監禁	314	352	410	364	362	412	474	471	444	414	-30	-6.8%
犯	信用毀損・威力業務妨害	64	62	66	102	90	119	108	86	82	102	20	24.4%
	器物損壊	490	500	462	517	499	573	515	641	618	637	19	3.1%
	暴力行為	107	135	107	74	66	78	46	59	73	126	53	72.6%
	その他刑法犯	605	756	593	659	673	693	762	911	1,031	896	-135	-13.1%
	刑法犯合計	18,896	18,779	18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	-793	-3.9%

図表 4 - 9 - (2) - 3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

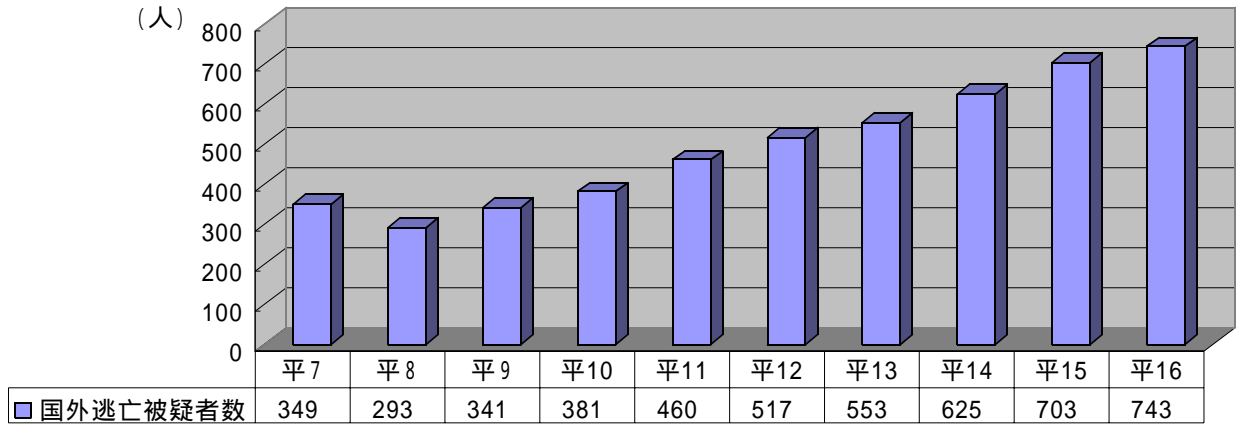
罪種名	年次	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	131	109	120	114	150	152	152	151	169	156	-13	-7.7%
	強盗	135	123	154	139	187	148	172	177	182	189	7	3.8%
	放火	12	14	16	9	16	20	9	18	23	16	-7	-30.4%
	強姦	45	49	51	33	33	33	42	46	40	33	-7	-17.5%
	凶器準備集合	5	5	20	10	17	43	14	10	34	16	-18	-52.9%
	暴行	590	526	602	567	496	520	464	466	499	446	-53	-10.6%
	傷害	1,999	1,905	1,822	1,850	1,751	1,839	1,741	1,803	1,742	1,539	-203	-11.7%
	脅迫	335	300	302	284	302	314	299	310	269	236	-33	-12.3%
	恐喝	1,402	1,354	1,283	1,368	1,367	1,488	1,398	1,325	1,462	1,358	-104	-7.1%
	窃盗	583	663	630	730	690	638	665	688	837	739	-98	-11.7%
法	詐欺	512	538	491	540	527	436	502	465	469	483	14	3.0%
	横領	54	71	32	42	26	37	32	29	30	31	1	3.3%
	文書偽造	95	106	126	129	142	115	118	136	126	111	-15	-11.9%
	賭博	502	484	364	238	188	131	118	117	72	90	18	25.0%
	わいせつ物頒布等	30	38	28	19	23	21	10	8	9	8	-1	-11.1%
	公務執行妨害	88	135	129	121	159	149	138	144	149	180	31	20.8%
	うち競売等妨害	7	54	50	31	56	47	22	32	31	36	5	16.1%
	犯人威迫	55	32	45	40	40	32	22	52	43	33	-10	-23.3%
	証人威迫	6	3	8	6	1	9	11	2	8	3	-5	-62.5%
	逮捕監禁	179	241	219	176	185	187	281	222	210	182	-28	-13.3%
犯	信用毀損・威力業務妨害	20	39	35	47	43	50	45	37	47	36	-11	-23.4%
	器物損壊	218	226	184	201	179	205	176	244	250	198	-52	-20.8%
	暴力行為	61	74	60	52	27	39	26	34	43	75	32	74.4%
	その他刑法犯	248	327	189	250	245	232	274	306	377	303	-74	-19.6%
	刑法犯合計	7,305	7,362	6,910	6,965	6,794	6,838	6,709	6,790	7,090	6,461	-629	-8.9%

10 被疑者の国外逃亡

(1) 国外逃亡被疑者数

平成16年中の国外逃亡被疑者数は743人で、前年に比べ40人増加している（図表4-10-(1)）。

図表4-10-(1) 国外逃亡被疑者数の推移



(2) 罪種別の国外逃亡被疑者数

平成16年中の国外逃亡被疑者数743人のうち、刑法犯被疑者605人を包括罪種別に見ると、凶悪犯が207人で最も多く、次いで窃盗犯が205人、知能犯が120人の順となっている。

特別法犯被疑者138人では、入管法が56人で最も多く、次いで薬物事犯が51人となっている（図表4-10-(2)）。

図表4-10-(2) 罪種別国外逃亡被疑者数（平成16年）

区分 罪種	総数		日本人		外国人	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数	743	100.0	153	100.0	590	100.0
刑法犯	605	81.4	119	77.8	486	82.4
凶悪犯	207	27.9	22	14.4	185	31.4
粗暴犯	29	3.9	11	7.2	18	3.1
窃盗犯	205	27.6	17	11.1	188	31.9
知能犯	120	16.2	53	34.6	67	11.4
風俗犯	14	1.9	5	3.3	9	1.5
その他	30	4.0	11	7.2	19	3.2
特別法犯	138	18.6	34	22.2	104	17.6
薬物事犯	51	6.9	22	14.4	29	4.9
銃刀法	4	0.5	4	2.6	0	0.0
入管法	56	7.5	3	2.0	53	9.0
その他	27	3.6	5	3.3	22	3.7

注：1人の被疑者につき数罪ある場合には、重い罪で計上した。

(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者数

平成16年末現在の国外逃亡被疑者743人を国籍・地域別に見ると、中国人が283人（38.1%）、次いで日本人が153人（20.6%）となっている。（図表4-10-（3））

図表4-10-（3） 被疑者の国籍・地域別国外逃亡被疑者数

被疑者の国籍	平12		平13		平14		平15		平16	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数	517	100.0	553	100.0	625	100.0	703	100.0	743	100.0
日本	111	21.5	117	21.2	121	19.4	146	20.8	153	20.6
アジア州	339	65.6	358	64.7	403	64.5	437	62.2	452	60.8
韓国・朝鮮	35	6.8	37	6.7	38	6.1	46	6.5	47	6.3
フィリピン	7	1.4	4	0.7	6	1.0	8	1.1	4	0.5
中国	183	35.4	207	37.4	254	40.6	275	39.1	283	38.1
中国(台湾)	9	1.7	9	1.6	12	1.9	11	1.6	13	1.7
中国(香港)	16	3.1	10	1.8	9	1.4	9	1.3	12	1.6
イラン	19	3.7	17	3.1	19	3.0	15	2.1	14	1.9
タイ	18	3.5	17	3.1	13	2.1	15	2.1	13	1.7
その他	52	10.1	57	10.3	52	8.3	58	8.3	66	8.9
ヨーロッパ州	7	1.4	12	2.2	19	3.0	20	2.8	18	2.4
南北アメリカ州	55	10.6	65	11.8	80	12.8	96	13.7	115	15.5
アメリカ	2	0.4	3	0.5	4	0.6	4	0.6	6	0.8
ペルー	8	1.5	6	1.1	11	1.8	14	2.0	11	1.5
ブラジル	27	5.2	38	6.9	39	6.2	56	8.0	71	9.6
その他	18	3.5	18	3.3	26	4.2	22	3.1	27	3.6
オセアニア・アフリカ州	5	1.0	1	0.2	2	0.3	4	0.6	4	0.5
無国籍・国籍不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1

注：中国に台湾、香港等は含まない。

(4) 推定逃亡先国（地域）別の国外逃亡被疑者数

平成16年中の国外逃亡被疑者743人を推定逃亡先国・地域別に見ると、中国が138人（18.6%）と最も多く、次いでブラジルが47人（6.3%）となっている。

また、日本人被疑者の推定逃亡先については、フィリピンが28人（18.3%）と最も多く、次いでアメリカが18人（11.8%）となっている（図表4-10-（4））

図表 4 - 10 - (4) 推定逃亡先国・地域別国外逃亡被疑者数の推移

推定逃亡先	年次		平12		平13		平14		平15		平16	
	人員	うち日本人	人員	うち日本人	人員	うち日本人	人員	うち日本人	人員	うち日本人	人員	うち日本人
総数	517	111	553	117	625	121	703	146	743	153		
アジア州	222	43	236	51	251	50	251	56	265	61		
韓国	26	4	27	4	25	4	30	7	34	7		
フィリピン	35	24	39	31	36	26	37	26	36	28		
タイ	21	5	22	6	18	7	21	8	16	4		
中国	91	6	100	7	122	8	125	11	138	14		
中国(台湾)	9	1	8	2	9	2	6	1	5	0		
中国(香港)	11	1	7	1	5	1	4	1	7	3		
その他	29	2	33	0	36	2	28	2	29	5		
ヨーロッパ州	6	1	6	2	12	1	13	2	13	1		
南北アメリカ州	60	21	64	15	69	13	82	19	93	20		
アメリカ	17	16	16	13	13	11	21	18	23	18		
ブラジル	19	0	31	0	32	0	42	0	47	0		
その他	24	5	17	2	24	2	19	1	23	2		
オセアニア・アフリカ州	6	0	4	0	4	0	8	4	6	3		
不詳	223	46	243	49	289	57	349	65	366	68		

(5) 犯行日から出国までの期間別の国外逃亡被疑者数

平成16年中の国外逃亡被疑者743人のうち、出国年月日が判明している被疑者は212人（28.5%）である。これを犯行日から出国までの期間別に見ると、犯行当日が8人、犯行翌日が19人、2日後が15人で、犯行後10日以内に国外に逃亡した者が87人となっており、出国日が判明している者の41.0%を占めている（図表4-10-(5)）。

図表 4 - 10 - (5) 犯行日から出国までの期間別国外逃亡被疑者数（平成16年）

区分	総数		日本人		外国人	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
期間						
総数	743	100.0	153	100.0	590	100.0
小計	212	28.5	61	39.9	151	25.6
犯行当日	8	1.1	3	2.0	5	0.8
犯行翌日	19	2.6	4	2.6	15	2.5
2日	15	2.0	3	2.0	12	2.0
3日	9	1.2	2	1.3	7	1.2
4日	10	1.3	2	1.3	8	1.4
5日～10日	26	3.5	5	3.3	21	3.6
11日～30日	27	3.6	9	5.9	18	3.1
1月～2月未満	18	2.4	5	3.3	13	2.2
2月～3月未満	14	1.9	3	2.0	11	1.9
3月～5月未満	26	3.5	11	7.2	15	2.5
5月以上	40	5.4	14	9.2	26	4.4
不詳・その他	531	71.5	92	60.1	439	74.4

11 女性・子どもを被害者とする犯罪

(1) 女性を被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

平成16年における刑法犯に係る女性の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は73万5,849件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は34.4%となっている（図表4-11-(1)-1）。

女性の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が59万1,092件（女性の被害全体の80.3%）で最も多く、次いで詐欺が2万5,706件（同3.5%）、傷害が9,518件（同1.3%）、暴行が9,379件（同1.3%）、強制わいせつが8,917件（同1.2%）などとなっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（79.7%）、逮捕・監禁（50.1%）、脅迫（41.8%）及び詐欺（39.8%）などが全刑法犯被害件数に占める女性の割合（34.4%）より高くなっている（図表4-11-(1)-2）。

図表4-11-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分	年次	平15	平16	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	2,367,967	2,137,322	-230,645	-9.7
	女性	808,304	735,849	-72,455	-9.0
	(割合%)	34.1	34.4	0.3	-
	男性	1,559,663	1,401,473	-158,190	-10.1
	(割合%)	65.9	65.6	-0.3	-

図表4 - 11 - (1) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平15	平16	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,442	1,414	-28	-1.9
	うち女性	523	530	7	1.3
	(割合%)	36.3	37.5	1.2	-
強盗	被害件数	6,962	6,795	-167	-2.4
	うち女性	2,662	2,671	9	0.3
	(割合%)	38.2	39.3	1.1	-
強姦	被害件数	2,472	2,176	-296	-12.0
	うち女性	2,472	2,176	-296	-12.0
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	-
暴行	被害件数	21,937	23,691	1,754	8.0
	うち女性	8,832	9,379	547	6.2
	(割合%)	40.3	39.6	-0.7	-
傷害	被害件数	36,568	35,937	-631	-1.7
	うち女性	9,435	9,518	83	0.9
	(割合%)	25.8	26.5	0.7	-
脅迫	被害件数	2,550	2,436	-114	-4.5
	うち女性	1,033	1,018	-15	-1.5
	(割合%)	40.5	41.8	1.3	-
恐喝	被害件数	17,331	14,169	-3,162	-18.2
	うち女性	1,914	1,978	64	3.3
	(割合%)	11.0	14.0	2.9	-
窃盗	被害件数	1,942,649	1,698,380	-244,269	-12.6
	うち女性	673,203	591,092	-82,111	-12.2
	(割合%)	34.7	34.8	0.1	-
詐欺	被害件数	42,399	64,656	22,257	52.5
	うち女性	16,199	25,706	9,507	58.7
	(割合%)	38.2	39.8	1.6	-
強制わいせつ	被害件数	10,029	9,184	-845	-8.4
	うち女性	9,729	8,917	-812	-8.3
	(割合%)	97.0	97.1	0.1	-
公然わいせつ	被害件数	579	981	402	69.4
	うち女性	562	937	375	66.7
	(割合%)	97.1	95.5	-1.5	-
逮捕・監禁	被害件数	643	639	-4	-0.6
	うち女性	274	320	46	16.8
	(割合%)	42.6	50.1	7.5	-
略取・誘拐	被害件数	284	320	36	12.7
	うち女性	239	255	16	6.7
	(割合%)	84.2	79.7	-4.5	-

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

平成16年における女性の被害件数を年齢層別に人口10万人当たり（以下「人口当たり」という。）で見ると、20歳代が2,153.29件で最も多く、次いで30歳代の1,358.03件、20歳未満の1,171.03件、40歳代の1,163.09件、50歳代の1,002.65件、60歳代の752.16件、70歳以上の460.18件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりで見ると、強盗、強姦、脅迫及び逮捕・監禁では20歳代が高く、強制わいせつ、公然わいせつ及び略取・誘拐では20歳未満が高くなっている。更に、詐欺では40歳代、30歳代及び50歳代が高くなっている（図表4-11-(1)-3）。

図表4-11-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数（平成16年）

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		2,137,322	1,414	6,795	2,176	23,691	35,937	2,436	14,169	1,698,380	64,656	9,184	981	639	320	276,544
	人口当	1,673.88	1.11	5.32	1.70	18.55	28.14	1.91	11.10	1,330.11	50.64	7.19	0.77	0.50	0.25	216.58
女性計		735,849	530	2,671	2,176	9,379	9,518	1,018	1,978	591,092	25,706	8,917	937	320	255	81,352
	人口当	1,125.29	0.81	4.08	3.33	14.34	14.56	1.56	3.02	903.92	39.31	13.64	1.43	0.49	0.39	124.41
20歳未満		139,786	86	304	986	3,519	1,710	213	571	116,610	608	5,282	533	88	208	9,068
	人口当	1,171.03	0.72	2.55	8.26	29.48	14.33	1.78	4.78	976.88	5.09	44.25	4.47	0.74	1.74	75.97
20歳代		173,663	79	875	906	2,990	2,413	264	420	140,009	3,558	2,766	217	135	37	18,994
	人口当	2,153.29	0.98	10.85	11.23	37.07	29.92	3.27	5.21	1,736.01	44.12	34.30	2.69	1.67	0.46	235.51
30歳代		124,436	71	364	188	1,431	2,181	215	205	97,319	5,053	610	98	55	5	16,641
	人口当	1,358.03	0.77	3.97	2.05	15.62	23.80	2.35	2.24	1,062.09	55.15	6.66	1.07	0.60	0.05	181.61
40歳代		91,326	52	243	45	677	1,283	131	271	71,145	4,524	168	47	27	4	12,709
	人口当	1,163.09	0.66	3.09	0.57	8.62	16.34	1.67	3.45	906.07	57.62	2.14	0.60	0.34	0.05	161.86
50歳代		95,723	73	354	35	450	1,055	102	341	75,829	5,140	63	27	11	0	12,243
	人口当	1,002.65	0.76	3.71	0.37	4.71	11.05	1.07	3.57	794.27	53.84	0.66	0.28	0.12	0.00	128.24
60歳代		62,550	72	216	10	215	556	61	97	51,311	3,137	18	12	0	1	6,844
	人口当	752.16	0.87	2.60	0.12	2.59	6.69	0.73	1.17	617.02	37.72	0.22	0.14	0.00	0.01	82.30
70歳以上		48,365	97	315	6	97	320	32	73	38,869	3,686	10	3	4	0	4,853
	人口当	460.18	0.92	3.00	0.06	0.92	3.04	0.30	0.69	369.83	35.07	0.10	0.03	0.04	0.00	46.18
男性計		1,401,473	884	4,124	0	14,312	26,419	1,418	12,191	1,107,288	38,950	267	44	319	65	195,192
	人口当	2,249.74	1.42	6.62	-	22.97	42.41	2.28	19.57	1,777.49	62.53	0.43	0.07	0.51	0.10	313.33

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成16年10月1日現在）による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成16年において罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所について見ると、強盗、強姦、傷害、脅迫及び恐喝は道路上、共同住宅及び一戸建住宅、暴行及び強制わいせつは道路上及び共同住宅、窃盗は駐車（輪）場及び道路上、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐は道路上となっている（図表4-11-(1)-4）。

図表 4 - 11 - (1) - 4 罪種別・場所別被害発生件数（平成16年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
被害総数	女	530	2,671	2,176	9,379	9,518	1,018	1,978	591,092	25,706	8,917	937	320	255
	男	884	4,124	-	14,312	26,419	1,418	12,191	1,107,288	38,950	267	44	319	65
一戸建住宅	女	210	303	200	472	1,309	292	450	54,862	10,710	409	6	27	6
	男	246	183	-	348	1,153	262	594	136,142	11,616	7	1	12	6
共同住宅	女	157	459	753	1,328	2,019	253	294	64,278	3,937	1,836	57	62	13
	男	210	157	-	621	1,586	228	683	107,209	5,670	47	3	58	3
学校（幼稚園）	女	0	12	21	77	209	11	32	9,691	39	73	7	0	1
	男	2	6	-	258	940	33	156	13,686	87	6	3	1	4
道路上	女	38	1,053	296	4,865	2,582	170	411	117,176	636	3,665	497	114	157
	男	168	1,741	-	6,566	10,635	257	5,109	150,211	2,817	57	17	114	26
駐車（輪）場	女	18	175	177	507	661	43	177	206,116	361	671	85	41	26
	男	45	342	-	993	2,419	67	1,739	418,525	706	17	6	42	6
都市公園	女	3	16	56	125	206	7	43	2,912	10	224	48	1	10
	男	18	70	-	306	854	16	530	4,976	17	35	2	0	1
空き地	女	6	10	61	29	44	4	11	2,919	5	99	10	2	1
	男	14	13	-	61	183	8	103	9,827	10	4	0	1	0
列車内	女	0	0	1	185	54	2	3	4,536	1	493	36	0	0
	男	0	0	-	273	242	0	16	7,964	6	8	1	0	0
駅・鉄道施設	女	1	17	13	255	149	5	22	4,830	72	115	36	1	3
	男	1	17	-	828	785	9	185	6,284	178	3	1	2	1
その他	女	97	626	598	1,536	2,285	231	535	123,772	9,935	1,332	155	72	38
	男	180	1,595	-	4,058	7,622	538	3,076	252,464	17,843	83	10	89	18

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、平成12年以降増加傾向にあったが、平成16年は1,694件で前年に比べて24件（1.4%）減少し、夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても1,554件で前年に比べて20件（1.3%）減少している（図表 4 - 11 - (1) - 5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表 4 - 11 - (1) - 5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)	
殺人（件）		1,136	1,118	1,142	1,222	1,098	1,219	1,157	1,238	1,258	1,224	-34	-2.7
	うち配偶者	170	155	155	189	170	197	191	197	215	206	-9	-4.2
	うち夫によるもの	101	112	101	129	105	134	116	120	133	127	-6	-4.5
傷害		15,154	15,020	16,060	15,840	15,589	21,616	22,348	23,199	23,222	22,716	-506	-2.2
	うち配偶者	272	325	365	295	403	888	1,097	1,250	1,269	1,198	-71	-5.6
	うち夫によるもの	239	309	340	273	375	838	1,065	1,197	1,211	1,143	-68	-5.6
	うち傷害致死	178	179	176	176	191	168	191	180	173	135	-38	-22.0
	うち配偶者	17	22	16	13	19	17	14	18	18	14	-4	-22.2
うち夫によるもの	13	22	13	12	17	17	10	15	16	12	-4	-25.0	
暴行		5,010	4,965	5,262	5,016	4,730	7,151	7,740	8,223	9,341	10,525	1,184	12.7
	うち配偶者	28	44	32	35	36	127	156	219	234	290	56	23.9
	うち夫によるもの	25	43	31	33	36	124	152	211	230	284	54	23.5
合計		21,300	21,103	22,464	22,078	21,417	29,986	31,245	32,660	33,821	34,465	644	1.9
	うち配偶者	470	524	552	519	609	1,212	1,444	1,666	1,718	1,694	-24	-1.4
	うち夫によるもの	365	464	472	435	516	1,096	1,333	1,528	1,574	1,554	-20	-1.3

注1：解決事件を除く。

注2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子どもを被害者とする犯罪

ア 子ども犯罪被害の状況

平成16年における子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の刑法犯に係る犯罪被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は、35万6,426件（全体の16.7%）となっている（図表4-11-(2)-1）。

子どもの被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が30万2,233件（子どもの被害全体の84.8%）で最も多く、次いで傷害が6,943件（同1.9%）、恐喝が6,798件（同1.9%）、暴行が6,378件（同1.8%）、強制わいせつが5,505件（同1.5%）などとなっている。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（78.8%）、強制わいせつ（59.9%）、公然わいせつ（55.9%）、恐喝（48.0%）及び強姦（45.3%）などが全刑法犯被害件数に占める子どもの割合（16.7%）より高くなっている（図表4-11-(2)-2）。

図表4-11-(2)-1 子ども犯罪被害件数

区分	年次	平15	平16	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	2,367,967	2,137,322	-230,645	-9.7
	少年	385,762	356,426	-29,336	-7.6
	（割合%）	16.3	16.7	0.4	-
	成人	1,982,205	1,780,896	-201,309	-10.2
	（割合%）	83.7	83.3	-0.4	-

図表4 - 11 - (2) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平15	平16	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,442	1,414	-28	-1.9
	うち少年	156	181	25	16.0
	(割合%)	10.8	12.8	2.0	-
強盗	被害件数	6,962	6,795	-167	-2.4
	うち少年	897	762	-135	-15.1
	(割合%)	12.9	11.2	-1.7	-
強姦	被害件数	2,472	2,176	-296	-12.0
	うち少年	1,143	986	-157	-13.7
	(割合%)	46.2	45.3	-0.9	-
暴行	被害件数	21,937	23,691	1,754	8.0
	うち少年	6,129	6,378	249	4.1
	(割合%)	27.9	26.9	-1.0	-
傷害	被害件数	36,568	35,937	-631	-1.7
	うち少年	7,502	6,943	-559	-7.5
	(割合%)	20.5	19.3	-1.2	-
脅迫	被害件数	2,550	2,436	-114	-4.5
	うち少年	331	369	38	11.5
	(割合%)	13.0	15.1	2.2	-
恐喝	被害件数	17,331	14,169	-3,162	-18.2
	うち少年	8,871	6,798	-2,073	-23.4
	(割合%)	51.2	48.0	-3.2	-
窃盗	被害件数	1,942,649	1,698,380	-244,269	-12.6
	うち少年	328,869	302,233	-26,636	-8.1
	(割合%)	16.9	17.8	0.9	-
詐欺	被害件数	42,399	64,656	22,257	52.5
	うち少年	991	1,333	342	34.5
	(割合%)	2.3	2.1	-0.3	-
強制わいせつ	被害件数	10,029	9,184	-845	-8.4
	うち少年	6,233	5,505	-728	-11.7
	(割合%)	62.1	59.9	-2.2	-
公然わいせつ	被害件数	579	981	402	69.4
	うち少年	359	548	189	52.6
	(割合%)	62.0	55.9	-6.1	-
逮捕・監禁	被害件数	643	639	-4	-0.6
	うち少年	198	155	-43	-21.7
	(割合%)	30.8	24.3	-6.5	-
略取・誘拐	被害件数	284	320	36	12.7
	うち少年	217	252	35	16.1
	(割合%)	76.4	78.8	2.3	-

イ 就学別の犯罪被害の状況

平成16年における子どもの被害件数を就学別に人口当たりで見ると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が3,778.36件で最も多く、次いで中学生の2,043.67件、小学生の370.77件、未就学児童の9.65件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりで見ると、殺人では未就学児童が高

く、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、窃盗、詐欺、強制わいせつ、公然わいせつ及び逮捕・監禁では
 その他少年が高く、略取・誘拐では小学生が高くなっている。更に、恐喝では中学生とその他少年が
 高くなっている。(図表4-11-(2)-3)。

図表4-11-(2)-3 就学別の犯罪被害件数(平成16年)

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		2,137,322	1,414	6,795	2,176	23,691	35,937	2,436	14,169	1,698,380	64,656	9,184	981	639	320	276,544
	人口当	1,673.88	1.11	5.32	1.70	18.55	28.14	1.91	11.10	1,330.11	50.64	7.19	0.77	0.50	0.25	216.58
少年計		356,426	181	762	986	6,378	6,943	369	6,798	302,233	1,333	5,505	548	155	252	23,983
	人口当	1,455.04	0.74	3.11	4.03	26.04	28.34	1.51	27.75	1,233.81	5.44	22.47	2.24	0.63	1.03	97.91
未就学		666	85	0	1	83	140	0	1	47	0	163	5	2	34	105
	人口当	9.65	1.23	0.00	0.01	1.20	2.03	0.00	0.01	0.68	0.00	2.36	0.07	0.03	0.49	1.52
小学生		26,699	26	7	53	877	379	40	331	22,606	32	1,400	102	5	104	737
	人口当	370.77	0.36	0.10	0.74	12.18	5.26	0.56	4.60	313.93	0.44	19.44	1.42	0.07	1.44	10.23
中学生		74,870	10	70	167	1,444	1,910	88	2,308	64,006	71	828	120	21	34	3,793
	人口当	2,043.67	0.27	1.91	4.56	39.42	52.14	2.40	63.00	1,747.12	1.94	22.60	3.28	0.57	0.93	103.53
その他少年		254,191	60	685	765	3,974	4,514	241	4,158	215,574	1,230	3,114	321	127	80	19,348
	人口当	3,778.36	0.89	10.18	11.37	59.07	67.10	3.58	61.81	3,204.34	18.28	46.29	4.77	1.89	1.19	287.59
成人計		1,780,896	1,233	6,033	1,190	17,313	28,994	2,067	7,371	1,396,147	64,323	3,679	433	484	68	251,561
	人口当	1,725.82	1.19	5.85	1.15	16.78	28.10	2.00	7.14	1,352.97	62.33	3.57	0.42	0.47	0.07	243.78

注1:「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2:人口は、総務省統計局の推定人口(平成16年10月1日現在)による。

注3:「未就学」は、総務省統計局の推定人口(平成16年10月1日現在)の0~5歳を計上した。

注4:「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査(平成16年版)による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成16年において子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所について見ると、未就学児童
 については共同住宅、一戸建住宅及び道路上が高く、小学生、中学生については駐車(輪)場と道路上
 が高くなっている(図表4-11-(2)-4)。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所について見ると、強盗、暴行、傷害、恐喝、
 強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、強姦については共同住宅、
 窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表4-11-(2)-5)。

図表 4 - 11 - (2) - 4 就学別・場所別被害発生件数（平成16年）

区分	就学別		少年										成人	
	総数		未就学		小学生		中学生		その他		成人			
	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)		
被害総数	2,137,322	100.0	356,426	100.0	666	100.0	26,699	100.0	74,870	100.0	254,191	100.0	1,780,896	100.0
一戸建住宅	260,670	12.2	16,989	4.8	96	14.4	1,948	7.3	4,532	6.1	10,413	4.1	243,681	13.7
共同住宅	229,459	10.7	25,400	7.1	168	25.2	3,244	12.2	5,068	6.8	16,920	6.7	204,059	11.5
学校（幼稚園）	29,909	1.4	15,572	4.4	17	2.6	621	2.3	3,070	4.1	11,864	4.7	14,337	0.8
駐車（輪）場	744,447	34.8	161,856	45.4	56	8.4	9,897	37.1	33,290	44.5	118,613	46.7	582,591	32.7
道路上	386,940	18.1	76,606	21.5	97	14.6	5,587	20.9	16,128	21.5	54,794	21.6	310,334	17.4
都市公園	14,121	0.7	5,886	1.7	41	6.2	1,796	6.7	1,525	2.0	2,524	1.0	8,235	0.5
空き地	17,978	0.8	2,927	0.8	13	2.0	194	0.7	692	0.9	2,028	0.8	15,051	0.8
列車内	141,134	6.6	1,258	0.4	1	0.2	15	0.1	95	0.1	1,147	0.5	139,876	7.9
駅・鉄道施設	15,394	0.7	5,381	1.5	4	0.6	74	0.3	662	0.9	4,641	1.8	10,013	0.6
その他	297,270	13.9	44,551	12.5	173	26.0	3,323	12.4	9,808	13.1	31,247	12.3	252,719	14.2

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表 4 - 11 - (2) - 5 罪種別・場所別被害発生件数（平成16年）

区分	殺入	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
被害総数	1,414	6,795	2,176	23,691	35,937	2,436	14,169	1,698,380	64,656	9,184	981	639	320	276,544	2,137,322
少年計	181	762	986	6,378	6,943	369	6,798	302,233	1,333	5,505	548	155	252	23,983	356,426
一戸建住宅	63	19	92	112	244	69	161	15,246	327	236	0	5	11	404	16,989
共同住宅	52	47	233	477	480	54	214	21,148	214	980	31	17	12	1,441	25,400
学校（幼稚園）	2	8	14	184	651	16	160	14,023	22	71	6	1	5	409	15,572
駐車（輪）場	11	93	88	416	760	21	1,004	150,382	38	357	29	22	27	8,608	161,856
道路上	13	409	164	3,593	2,370	115	3,145	54,682	122	2,313	355	78	139	9,108	76,606
都市公園	1	40	34	279	743	13	446	3,402	9	228	27	1	11	652	5,886
空き地	5	12	37	40	101	1	93	1,830	4	83	8	1	1	711	2,927
列車内	0	0	0	100	45	0	13	636	0	374	19	0	0	71	1,258
駅・鉄道施設	1	2	7	204	160	4	162	4,386	24	79	27	2	4	319	5,381
その他	33	132	317	973	1,389	76	1,400	36,498	573	784	46	28	42	2,260	44,551

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

第 5 資料

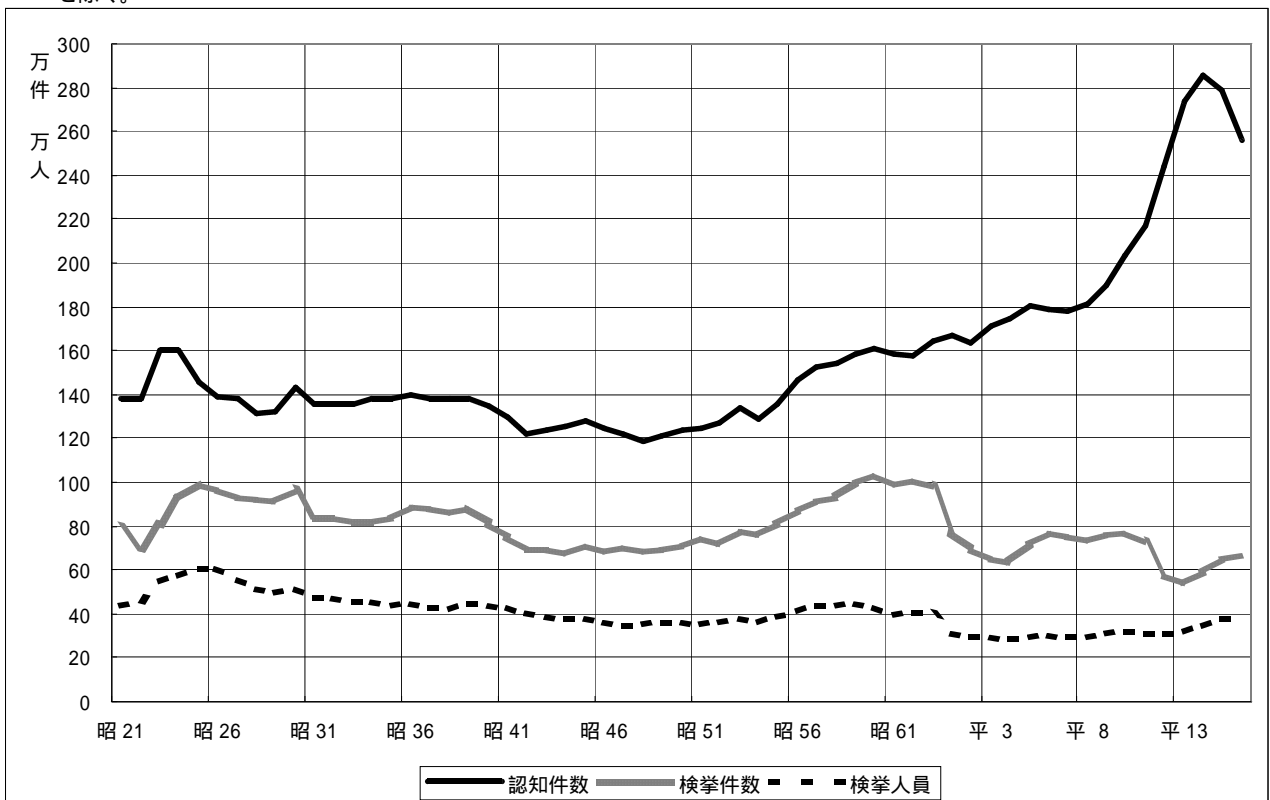
(余白)

図表 5 - 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,536	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表5 - 2 刑法犯の

区分	年次	平7	平8	平9	平10	平11
人口(10万人)		1,256	1,259	1,262	1,265	1,267
刑法犯総数	認知件数	1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626
	犯罪率	1,419.5	1,439.3	1,505.2	1,607.5	1,709.3
重要犯罪	認知件数	10,652	11,286	12,366	12,725	14,682
	犯罪率	8.5	9.0	9.8	10.1	11.6
重要窃盗犯	認知件数	313,922	301,310	305,328	330,369	367,174
	犯罪率	249.9	239.3	241.9	261.2	289.8
凶悪犯	認知件数	6,768	7,010	7,684	8,253	9,087
	犯罪率	5.4	5.6	6.1	6.5	7.2
殺人	認知件数	1,281	1,218	1,282	1,388	1,265
	犯罪率	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0
強盗	認知件数	2,277	2,463	2,809	3,426	4,237
	犯罪率	1.8	2.0	2.2	2.7	3.3
放火	認知件数	1,710	1,846	1,936	1,566	1,728
	犯罪率	1.4	1.5	1.5	1.2	1.4
強姦	認知件数	1,500	1,483	1,657	1,873	1,857
	犯罪率	1.2	1.2	1.3	1.5	1.5
粗暴犯	認知件数	35,860	37,506	40,570	41,751	43,822
	犯罪率	28.6	29.8	32.1	33.0	34.6
うち)暴行	認知件数	6,190	6,469	7,254	7,367	7,792
	犯罪率	4.9	5.1	5.7	5.8	6.1
うち)傷害	認知件数	17,482	17,876	19,288	19,476	20,233
	犯罪率	13.9	14.2	15.3	15.4	16.0
うち)恐喝	認知件数	11,207	12,226	12,947	13,900	14,768
	犯罪率	8.9	9.7	10.3	11.0	11.7
窃盗犯	認知件数	1,570,492	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393
	犯罪率	1,250.4	1,261.9	1,319.8	1,414.3	1,507.8
侵入窃盗	認知件数	234,586	223,590	221,678	237,703	260,981
	犯罪率	186.8	177.6	175.7	187.9	206.0
乗り物盗	認知件数	664,508	687,960	696,370	705,431	694,375
	犯罪率	529.1	546.4	551.8	557.7	548.0
非侵入窃盗	認知件数	671,398	677,148	747,495	845,915	955,037
	犯罪率	534.6	537.8	592.3	668.7	753.8
知能犯	認知件数	56,928	61,187	61,316	59,271	53,528
	犯罪率	45.3	48.6	48.6	46.9	42.2
うち)詐欺	認知件数	45,923	49,394	49,426	48,279	43,431
	犯罪率	36.6	39.2	39.2	38.2	34.3
風俗犯	認知件数	6,157	6,439	6,763	6,686	7,448
	犯罪率	4.9	5.1	5.4	5.3	5.9
うち)強制わいせつ	認知件数	3,644	4,025	4,398	4,251	5,346
	犯罪率	2.9	3.2	3.5	3.4	4.2
その他の刑法犯	認知件数	106,739	111,279	117,688	128,536	141,348
	犯罪率	85.0	88.4	93.3	101.6	111.6

注1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）である。

罪種別犯罪率の推移

平12	平13	平14	平15	平16	年次	
					区分	
1,269	1,273	1,274	1,276	1,277	人口(10万人)	
2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	認知件数	刑法犯総数
1,925.5	2,148.9	2,240.0	2,186.6	2,006.9	犯罪率	
18,281	21,530	22,294	23,971	22,568	認知件数	重要犯罪
14.4	16.9	17.5	18.8	17.7	犯罪率	
423,281	443,502	478,476	469,148	407,929	認知件数	重要窃盗犯
333.6	348.4	375.6	367.7	319.4	犯罪率	
10,567	11,967	12,567	13,658	13,064	認知件数	凶悪犯
8.3	9.4	9.9	10.7	10.2	犯罪率	
1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	認知件数	殺人
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	犯罪率	
5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	認知件数	強盗
4.1	5.0	5.5	6.0	5.7	犯罪率	
1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	認知件数	放火
1.4	1.6	1.4	1.6	1.7	犯罪率	
2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	認知件数	強姦
1.8	1.8	1.9	1.9	1.7	犯罪率	
64,418	72,801	76,573	78,759	76,616	認知件数	粗暴犯
50.8	57.2	60.1	61.7	60.0	犯罪率	
13,225	16,928	19,442	21,937	23,691	認知件数	うち)暴行
10.4	13.3	15.3	17.2	18.6	犯罪率	
30,184	33,965	36,324	36,568	35,937	認知件数	うち)傷害
23.8	26.7	28.5	28.7	28.1	犯罪率	
18,926	19,566	18,403	17,595	14,424	認知件数	うち)恐喝
14.9	15.4	14.4	13.8	11.3	犯罪率	
2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	認知件数	窃盗犯
1,679.4	1,838.6	1,866.2	1,752.2	1,551.7	犯罪率	
296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	認知件数	侵入窃盗
233.6	238.6	265.5	261.2	227.6	犯罪率	
754,939	827,593	775,435	695,791	629,722	認知件数	乗り物盗
594.9	650.1	608.7	545.3	493.1	犯罪率	
1,079,739	1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	認知件数	非侵入窃盗
850.9	949.9	992.0	945.8	831.1	犯罪率	
55,184	53,007	62,751	74,754	99,258	認知件数	知能犯
43.5	41.6	49.3	58.6	77.7	犯罪率	
44,384	43,104	49,482	60,298	83,015	認知件数	うち)詐欺
35.0	33.9	38.8	47.3	65.0	犯罪率	
9,801	11,841	12,220	13,034	12,346	認知件数	風俗犯
7.7	9.3	9.6	10.2	9.7	犯罪率	
7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	認知件数	うち)強制わいせつ
5.8	7.3	7.4	7.9	7.2	犯罪率	
172,336	245,485	312,140	374,087	379,909	認知件数	その他の刑法犯
135.8	192.8	245.0	293.2	297.5	犯罪率	

図表 5 - 3 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
認知件数(件)	1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470
北海道	77,838	75,969	84,863	82,688	81,820	86,786
札幌	51,073	50,005	55,619	52,417	53,208	59,084
函館	6,314	6,049	7,069	6,726	6,257	6,337
旭川	8,248	8,243	9,925	10,471	9,842	9,518
釧路	9,429	8,753	8,632	9,135	8,843	8,530
北見	2,774	2,919	3,618	3,939	3,670	3,317
東北管区	91,956	99,767	108,935	113,628	116,770	129,958
青森	11,322	11,496	11,116	10,755	12,941	16,730
岩手	14,800	15,042	15,925	14,997	13,610	13,865
宮城	29,887	33,418	35,854	38,821	42,820	47,207
秋田	6,578	6,766	10,240	12,201	11,419	12,159
山形	9,049	8,832	10,223	11,151	11,749	12,171
福島	20,320	24,213	25,577	25,703	24,231	27,826
東京	235,325	232,103	235,767	251,180	268,006	291,371
関東管区	528,968	531,482	549,966	605,107	650,000	724,467
茨城	34,596	36,211	37,198	41,168	44,356	52,110
栃木	26,357	27,795	27,733	28,620	31,996	33,819
群馬	21,883	23,220	24,768	29,657	29,744	28,822
埼玉	121,646	121,897	119,319	131,984	142,972	156,842
千葉	99,791	96,667	107,287	122,549	136,521	152,516
神奈川	114,081	116,526	123,328	134,613	143,134	169,968
新潟	26,406	25,894	25,179	24,530	25,827	25,309
山梨	8,363	8,476	8,682	9,335	9,978	12,533
長野	25,422	25,682	27,141	28,173	29,252	32,110
静岡	50,423	49,114	49,331	54,478	56,220	60,438
中部管区	171,346	170,370	183,375	209,203	247,302	276,653
富山	9,918	9,699	9,660	10,841	11,154	12,005
石川	10,201	9,371	8,763	10,304	11,376	12,804
福井	7,125	7,377	8,374	9,542	9,666	10,886
岐阜	23,878	23,373	26,503	28,068	33,266	39,177
愛知	100,667	101,498	109,317	129,383	158,791	176,119
三重	19,557	19,052	20,758	21,065	23,049	25,662
近畿管区	330,784	343,787	362,040	384,956	393,293	473,887
滋賀	19,824	20,046	21,114	22,405	22,907	26,288
京都	34,925	42,884	44,636	49,637	49,176	54,078
大阪	181,949	184,976	192,435	196,383	200,102	252,367
兵庫	63,586	64,635	68,685	75,166	78,857	94,150
奈良	13,871	15,386	16,483	20,063	20,477	25,043
和歌山	16,629	15,860	18,687	21,302	21,774	21,961
中国管区	92,803	95,140	102,819	107,967	115,581	121,984
鳥取	6,028	6,323	6,007	6,348	6,509	6,682
島根	6,499	7,097	8,042	7,508	6,915	7,533
岡山	24,717	23,862	26,633	28,174	30,135	31,883
広島	40,414	40,675	44,207	48,185	53,388	52,827
山口	15,145	17,183	17,930	17,752	18,634	23,059
四国管区	44,728	46,858	47,876	52,882	53,792	61,257
徳島	6,585	7,262	6,976	8,296	8,846	10,717
香川	8,618	8,736	8,427	10,002	12,047	13,412
愛媛	18,185	19,583	20,891	22,530	21,386	24,407
高知	11,340	11,277	11,582	12,054	11,513	12,721
九州管区	209,196	216,643	223,923	225,935	239,062	277,107
福岡	115,743	119,954	126,006	124,071	133,238	153,630
佐賀	6,263	6,803	7,448	7,304	7,960	11,025
長崎	9,597	9,641	10,137	10,420	11,917	13,493
熊本	21,093	21,559	20,659	21,824	21,814	26,874
大分	11,233	11,884	11,715	12,248	13,292	15,202
宮崎	11,614	13,043	13,818	13,881	14,586	15,905
鹿児島	16,094	18,663	19,168	19,379	17,677	19,487
沖縄	17,559	15,096	14,972	16,808	18,578	21,491

認知件数の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	-227,369	-8.1	認知件数(件)
92,832	94,091	93,863	88,249	-5,614	-6.0	北海道
63,359	63,792	62,143	59,413	-2,730	-4.4	札幌
6,921	6,617	7,717	7,920	203	2.6	函館
9,617	10,637	10,817	9,042	-1,775	-16.4	旭川
9,425	9,312	9,564	8,912	-652	-6.8	釧路
3,510	3,733	3,622	2,962	-660	-18.2	北見
142,929	145,801	135,031	120,581	-14,450	-10.7	東北管区
17,051	19,202	18,940	17,360	-1,580	-8.3	青森
15,125	15,011	13,686	12,885	-801	-5.9	岩手
49,887	49,261	43,376	40,211	-3,165	-7.3	宮城
12,768	11,978	10,616	9,565	-1,051	-9.9	秋田
13,029	14,331	12,852	11,423	-1,429	-11.1	山形
35,069	36,018	35,561	29,137	-6,424	-18.1	福島
292,579	301,913	299,406	283,326	-16,080	-5.4	関東管区
786,208	831,091	819,702	782,924	-36,778	-4.5	茨城
60,681	67,672	64,844	55,633	-9,211	-14.2	栃木
36,321	39,061	40,469	37,943	-2,526	-6.2	群馬
32,544	39,803	40,753	42,643	1,890	4.6	埼玉
170,963	177,762	179,276	181,350	2,074	1.2	千葉
164,721	168,366	164,278	147,587	-16,691	-10.2	神奈川
179,692	190,173	186,290	183,148	-3,142	-1.7	新潟
33,205	35,947	35,413	31,391	-4,022	-11.4	山梨
13,761	15,245	14,130	12,967	-1,163	-8.2	長野
34,764	34,054	31,974	29,822	-2,152	-6.7	静岡
59,556	63,008	62,275	60,440	-1,835	-2.9	中部管区
323,682	342,534	361,021	328,699	-32,322	-9.0	富山
17,660	16,311	15,501	14,206	-1,295	-8.4	石川
16,805	16,666	17,770	14,648	-3,122	-17.6	福井
11,671	13,884	12,501	10,060	-2,441	-19.5	岐阜
48,088	51,956	46,956	43,160	-3,796	-8.1	愛知
190,212	196,117	225,706	208,170	-17,536	-7.8	三重
39,246	47,600	42,587	38,455	-4,132	-9.7	近畿管区
606,204	617,794	578,761	520,896	-57,865	-10.0	滋賀
31,258	32,183	27,801	23,841	-3,960	-14.2	京都
63,051	65,082	63,291	63,593	302	0.5	大阪
327,262	300,429	285,307	255,697	-29,610	-10.4	兵庫
129,197	164,445	153,080	135,119	-17,961	-11.7	奈良
31,163	32,017	28,018	23,942	-4,076	-14.5	和歌山
24,273	23,638	21,264	18,704	-2,560	-12.0	中国管区
138,510	147,661	139,054	119,383	-19,671	-14.1	鳥取
7,468	8,215	9,302	8,688	-614	-6.6	島根
8,695	9,055	9,217	8,864	-353	-3.8	岡山
37,678	45,386	43,423	37,195	-6,228	-14.3	広島
59,352	59,330	53,512	44,325	-9,187	-17.2	山口
25,317	25,675	23,600	20,311	-3,289	-13.9	四国管区
66,853	69,314	75,122	69,488	-5,634	-7.5	徳島
11,181	11,432	12,369	10,552	-1,817	-14.7	香川
15,744	19,475	22,185	20,800	-1,385	-6.2	愛媛
26,987	25,599	27,380	24,654	-2,726	-10.0	高知
12,941	12,808	13,188	13,482	294	2.2	九州管区
285,815	303,540	288,176	249,221	-38,955	-13.5	福岡
157,749	168,190	154,834	128,545	-26,289	-17.0	佐賀
12,391	13,222	14,351	13,033	-1,318	-9.2	長崎
14,097	13,952	14,454	13,911	-543	-3.8	熊本
27,034	28,684	28,973	25,628	-3,345	-11.5	大分
15,625	17,158	17,362	15,482	-1,880	-10.8	宮崎
15,588	17,703	16,389	13,610	-2,779	-17.0	鹿児島
19,905	18,990	18,899	17,128	-1,771	-9.4	沖縄
23,426	25,641	22,914	21,884	-1,030	-4.5	

図表5 - 4 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
検挙件数(件)	753,174	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771
北海道	18,856	16,943	15,391	17,407	14,287	13,927
札幌	11,390	9,989	9,484	10,088	8,066	8,253
函館	1,295	1,398	1,200	1,416	1,284	994
旭川	2,304	1,996	2,009	2,967	2,320	2,103
釧路	2,959	2,762	1,725	1,892	1,799	1,902
北見	908	798	973	1,044	818	675
東北管区	49,025	48,648	51,566	49,894	44,749	35,915
青森	7,913	7,625	7,843	7,656	5,819	4,368
岩手	5,264	5,013	4,995	4,216	4,414	3,553
宮城	10,018	10,090	11,003	10,030	9,871	9,045
秋田	4,734	4,348	5,351	5,599	4,941	5,068
山形	6,814	6,631	7,309	7,216	5,597	4,485
福島	14,282	14,941	15,065	15,177	14,107	9,396
東京	95,192	87,916	86,424	87,184	87,021	76,585
関東管区	206,313	208,041	219,863	223,597	216,317	155,527
茨城	21,492	21,328	21,035	22,224	17,046	11,289
栃木	13,286	11,885	12,422	11,998	10,658	8,304
群馬	12,357	13,558	13,476	12,215	12,526	10,267
埼玉	27,230	30,535	28,757	28,478	26,839	26,239
千葉	30,293	27,775	29,264	31,134	31,833	24,462
神奈川	56,471	58,499	62,570	68,758	70,269	41,611
新潟	13,278	14,976	14,700	14,000	13,191	10,400
山梨	5,120	3,203	4,250	4,185	3,982	2,679
長野	13,372	12,568	13,951	12,503	11,412	7,604
静岡	13,414	13,714	19,438	18,102	18,561	12,672
中部管区	90,309	88,045	88,315	90,289	84,249	56,722
富山	5,497	6,044	5,548	5,854	4,636	3,577
石川	6,555	5,465	5,474	5,650	5,373	3,647
福井	5,277	5,254	6,112	6,454	5,304	4,308
岐阜	9,091	9,981	11,750	11,356	10,290	6,617
愛知	55,465	52,100	50,239	50,691	47,130	30,932
三重	8,424	9,201	9,192	10,284	11,516	7,641
近畿管区	126,013	130,526	137,526	141,252	127,518	101,872
滋賀	7,930	7,370	7,660	7,018	5,612	5,536
京都	12,856	13,765	15,219	16,592	14,882	13,774
大阪	63,175	65,019	66,852	65,291	54,390	41,255
兵庫	22,986	25,958	27,477	30,556	31,581	25,844
奈良	9,237	9,094	9,480	10,567	10,153	9,873
和歌山	9,829	9,320	10,838	11,228	10,900	5,590
中国管区	47,080	45,661	48,714	51,420	46,596	43,809
鳥取	4,248	3,904	3,790	4,146	3,970	3,642
島根	4,106	4,593	4,779	4,451	3,767	3,376
岡山	10,898	10,803	10,941	11,435	11,550	10,413
広島	21,943	20,399	22,292	23,305	19,742	17,956
山口	5,885	5,962	6,912	8,083	7,567	8,422
四国管区	27,138	25,323	24,677	24,792	25,574	23,918
徳島	4,287	4,903	4,765	4,754	4,769	4,666
香川	6,388	6,061	4,996	5,147	5,882	4,808
愛媛	8,645	6,987	7,673	7,138	7,452	7,010
高知	7,818	7,372	7,243	7,753	7,471	7,434
九州管区	93,248	84,778	87,133	86,447	84,973	68,496
福岡	35,418	31,367	32,040	37,815	37,560	27,234
佐賀	3,960	3,710	4,307	3,639	3,363	3,194
長崎	7,223	6,749	7,566	6,896	6,277	5,912
熊本	13,114	12,500	11,200	11,691	10,891	9,692
大分	4,735	3,924	4,497	4,355	4,861	4,103
宮崎	5,671	6,198	5,952	5,719	5,539	4,744
鹿児島	10,241	9,252	11,261	9,032	8,493	7,391
沖縄	12,886	11,078	10,310	7,300	7,989	6,226

検挙件数の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
542,115	592,359	648,319	667,620	19,301	3.0	検挙件数(件)
13,369	14,612	17,909	21,213	3,304	18.4	北海道
8,228	9,138	11,181	14,041	2,860	25.6	札幌
1,268	1,207	1,561	2,086	525	33.6	函館
1,663	1,962	2,077	2,244	167	8.0	旭川
1,364	1,594	2,025	1,939	-86	-4.2	釧路
846	711	1,065	903	-162	-15.2	北見
36,609	40,534	43,432	38,726	-4,706	-10.8	東北管区
4,226	5,398	5,855	5,235	-620	-10.6	青森
3,562	4,265	4,495	4,452	-43	-1.0	岩手
10,081	10,412	11,976	10,516	-1,460	-12.2	宮城
4,720	4,600	4,869	4,589	-280	-5.8	秋田
4,152	4,808	5,130	4,125	-1,005	-19.6	山形
9,868	11,051	11,107	9,809	-1,298	-11.7	福島
75,288	75,952	85,995	89,252	3,257	3.8	東京
147,948	157,464	170,652	189,826	19,174	11.2	関東管区
11,870	13,864	13,977	16,662	2,685	19.2	茨城
6,332	7,603	9,355	10,268	913	9.8	栃木
9,256	9,909	10,054	14,067	4,013	39.9	群馬
25,019	22,735	25,788	32,413	6,625	25.7	埼玉
24,131	29,908	33,458	32,902	-556	-1.7	千葉
37,531	36,537	40,019	46,458	6,439	16.1	神奈川
9,693	10,123	10,096	9,127	-969	-9.6	新潟
2,033	2,667	3,245	3,062	-183	-5.6	山梨
7,239	8,533	8,748	8,970	222	2.5	長野
14,844	15,585	15,912	15,897	-15	-0.1	静岡
55,510	81,883	80,140	76,286	-3,854	-4.8	中部管区
3,845	4,650	4,829	4,085	-744	-15.4	富山
3,939	8,296	6,667	6,406	-261	-3.9	石川
3,500	4,191	4,369	3,520	-849	-19.4	福井
6,548	8,089	9,446	8,284	-1,162	-12.3	岐阜
30,398	48,600	46,468	45,095	-1,373	-3.0	愛知
7,280	8,057	8,361	8,896	535	6.4	三重
91,039	93,386	106,410	105,720	-690	-0.6	近畿管区
5,629	6,228	8,191	7,565	-626	-7.6	滋賀
13,766	12,811	15,908	16,089	181	1.1	京都
37,497	39,100	42,137	41,341	-796	-1.9	大阪
21,799	23,803	25,973	28,817	2,844	10.9	兵庫
7,902	6,844	9,253	7,802	-1,451	-15.7	奈良
4,446	4,600	4,948	4,106	-842	-17.0	和歌山
37,631	40,844	41,564	39,438	-2,126	-5.1	中国管区
2,889	3,598	4,541	3,574	-967	-21.3	鳥取
3,166	3,246	3,506	3,166	-340	-9.7	島根
10,572	9,515	9,710	9,713	3	0.0	岡山
13,251	13,424	13,525	14,568	1,043	7.7	広島
7,753	11,061	10,282	8,417	-1,865	-18.1	山口
21,187	20,065	21,543	20,703	-840	-3.9	四国管区
5,155	4,413	5,084	3,899	-1,185	-23.3	徳島
4,385	4,906	5,415	5,791	376	6.9	香川
6,381	6,278	6,694	7,150	456	6.8	愛媛
5,266	4,468	4,350	3,863	-487	-11.2	高知
63,534	67,619	80,674	86,456	5,782	7.2	九州管区
24,259	27,197	37,121	40,152	3,031	8.2	福岡
3,960	4,066	4,176	4,137	-39	-0.9	佐賀
5,837	6,377	6,896	8,465	1,569	22.8	長崎
9,003	8,884	9,546	11,731	2,185	22.9	熊本
3,825	4,866	5,483	5,716	233	4.2	大分
4,757	3,954	4,606	4,412	-194	-4.2	宮崎
6,625	7,581	6,619	6,083	-536	-8.1	鹿児島
5,268	4,694	6,227	5,760	-467	-7.5	沖縄

図表 5 - 5 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
検挙人員(人)	293,252	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649
北海道	8,691	8,726	9,479	10,876	9,287	10,119
札幌	5,421	5,459	6,020	7,068	5,952	6,428
函館	625	742	690	860	739	738
旭川	1,212	1,130	1,348	1,315	1,164	1,342
釧路	970	938	901	1,034	920	1,079
北見	463	457	520	599	512	532
東北管区	17,916	18,317	21,133	21,744	20,361	20,372
青森	2,712	2,623	2,606	2,867	2,658	2,391
岩手	2,300	2,409	2,612	2,706	2,453	2,197
宮城	4,299	4,462	5,569	5,602	5,059	5,444
秋田	2,007	2,158	2,641	2,705	2,785	2,462
山形	2,114	2,050	2,284	2,704	2,438	2,828
福島	4,484	4,615	5,421	5,160	4,968	5,050
東京	60,914	55,829	49,246	47,630	47,957	46,562
関東管区	72,664	73,822	82,141	80,770	79,027	80,034
茨城	5,041	5,249	6,401	5,966	5,750	5,613
栃木	2,985	2,832	3,552	3,746	3,555	3,596
群馬	3,134	3,580	3,918	4,180	3,790	4,079
埼玉	11,294	11,358	11,248	11,358	11,187	12,767
千葉	9,939	9,375	10,790	11,000	11,493	11,223
神奈川	23,707	24,234	26,869	25,664	24,102	22,737
新潟	5,178	5,705	6,496	5,806	5,474	5,306
山梨	1,143	1,182	1,304	1,252	1,348	1,390
長野	3,814	3,938	5,120	4,705	4,828	4,788
静岡	6,429	6,369	6,443	7,093	7,500	8,535
中部管区	22,031	24,004	25,294	26,392	26,244	25,906
富山	1,857	2,236	2,354	2,414	2,553	2,487
石川	1,582	1,705	1,769	1,827	2,020	2,013
福井	1,643	1,697	1,935	1,954	1,703	1,999
岐阜	2,584	3,023	3,486	3,408	3,134	3,419
愛知	11,427	12,216	12,460	12,928	13,502	12,854
三重	2,938	3,127	3,290	3,861	3,332	3,134
近畿管区	53,073	55,294	60,948	66,970	65,798	59,594
滋賀	2,101	2,025	2,187	2,160	1,704	2,112
京都	6,453	6,996	8,055	9,401	8,533	7,512
大阪	28,145	28,797	30,447	32,858	33,600	29,605
兵庫	11,956	13,099	15,433	17,454	17,014	15,354
奈良	2,524	2,362	2,657	2,800	2,818	2,960
和歌山	1,894	2,015	2,169	2,297	2,129	2,051
中国管区	18,159	19,688	21,888	23,649	22,283	22,582
鳥取	1,766	1,751	1,899	1,938	1,957	1,910
島根	1,250	1,443	1,977	1,864	1,606	1,778
岡山	4,838	4,892	5,082	5,887	5,496	5,973
広島	6,977	8,213	8,894	9,346	8,657	8,482
山口	3,328	3,389	4,036	4,614	4,567	4,439
四国管区	9,486	9,370	10,641	10,952	10,451	10,347
徳島	1,657	1,801	1,870	2,024	1,784	1,939
香川	2,014	2,118	2,365	2,790	2,696	2,591
愛媛	3,764	3,431	4,035	3,634	3,633	3,795
高知	2,051	2,020	2,371	2,504	2,338	2,022
九州管区	30,318	30,534	32,803	35,280	33,947	34,133
福岡	13,582	13,570	14,349	15,571	15,097	13,570
佐賀	1,348	1,556	1,612	1,924	1,798	1,969
長崎	2,964	2,912	3,252	3,319	3,124	3,418
熊本	3,859	3,733	4,023	4,180	3,688	3,823
大分	1,974	1,964	2,177	2,470	2,331	2,677
宮崎	1,796	1,850	2,039	1,898	2,032	2,292
鹿児島	2,851	3,080	3,425	3,590	3,405	3,779
沖縄	1,944	1,869	1,926	2,328	2,472	2,605

検拳人員の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
325,292	347,558	379,602	389,027	9,425	2.5	検拳人員(人)
10,302	10,801	12,484	14,383	1,899	15.2	北海道
6,563	7,112	8,323	9,590	1,267	15.2	札幌
811	826	993	1,300	307	30.9	函館
1,268	1,234	1,328	1,394	66	5.0	旭川
1,026	1,083	1,210	1,449	239	19.8	釧路
634	546	630	650	20	3.2	北見
22,092	25,636	26,731	24,975	-1,756	-6.6	東北管区
2,979	3,649	4,005	3,537	-468	-11.7	青森
2,377	2,923	2,910	2,886	-24	-0.8	岩手
6,127	7,214	7,772	7,413	-359	-4.6	宮城
2,874	2,837	2,758	2,652	-106	-3.8	秋田
2,540	2,941	2,958	2,635	-323	-10.9	山形
5,195	6,072	6,328	5,852	-476	-7.5	福島
47,026	47,828	54,280	57,612	3,332	6.1	東京
83,177	88,294	96,636	103,931	7,295	7.5	関東管区
5,957	5,630	5,960	6,957	997	16.7	茨城
3,773	4,332	5,114	5,680	566	11.1	栃木
4,113	4,568	4,756	4,870	114	2.4	群馬
14,017	14,438	15,631	18,433	2,802	17.9	埼玉
12,210	13,652	15,411	16,308	897	5.8	千葉
22,411	23,928	26,576	28,817	2,241	8.4	神奈川
5,337	5,566	5,550	5,739	189	3.4	新潟
1,469	1,743	1,968	1,934	-34	-1.7	山梨
4,522	5,133	5,403	5,125	-278	-5.1	長野
9,368	9,304	10,267	10,068	-199	-1.9	静岡
29,152	33,566	34,389	35,756	1,367	4.0	中部管区
2,878	3,052	3,076	2,791	-285	-9.3	富山
2,284	2,906	2,994	2,964	-30	-1.0	石川
2,043	2,415	2,438	1,965	-473	-19.4	福井
3,661	5,165	5,199	5,449	250	4.8	岐阜
14,532	15,825	16,344	18,058	1,714	10.5	愛知
3,754	4,203	4,338	4,529	191	4.4	三重
63,293	66,169	69,678	69,537	-141	-0.2	近畿管区
2,669	3,133	3,231	3,152	-79	-2.4	滋賀
8,636	8,333	8,667	9,784	1,117	12.9	京都
31,015	31,235	33,456	32,201	-1,255	-3.8	大阪
15,800	17,590	17,560	17,743	183	1.0	兵庫
3,022	3,455	3,710	3,439	-271	-7.3	奈良
2,151	2,423	3,054	3,218	164	5.4	和歌山
22,812	23,669	24,941	23,614	-1,327	-5.3	中国管区
2,167	2,071	2,390	2,081	-309	-12.9	鳥取
1,620	1,735	1,813	1,894	81	4.5	島根
6,406	6,309	7,196	6,476	-720	-10.0	岡山
8,179	8,519	8,500	8,586	86	1.0	広島
4,440	5,035	5,042	4,577	-465	-9.2	山口
10,783	11,562	12,519	12,648	129	1.0	四国管区
2,063	2,218	2,454	2,275	-179	-7.3	徳島
2,664	2,954	3,387	3,456	69	2.0	香川
3,919	3,982	4,105	4,225	120	2.9	愛媛
2,137	2,408	2,573	2,692	119	4.6	高知
36,655	40,033	47,944	46,571	-1,373	-2.9	九州管区
14,221	16,407	22,838	21,912	-926	-4.1	福岡
2,325	2,118	2,243	2,200	-43	-1.9	佐賀
3,727	3,886	3,907	3,894	-13	-0.3	長崎
4,391	4,598	4,963	4,812	-151	-3.0	熊本
2,640	2,936	3,378	3,517	139	4.1	大分
2,340	2,489	2,724	2,691	-33	-1.2	宮崎
3,667	3,765	3,836	3,569	-267	-7.0	鹿児島
3,344	3,834	4,055	3,976	-79	-1.9	沖縄

図表 5 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
刑法犯	認知件数(件)	1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	
	検挙件数(件)	753,174	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	
	検挙人員(人)	293,252	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	
凶悪犯	認知件数	6,768	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	
	検挙件数	6,173	6,237	6,733	6,991	6,859	7,175	
	検挙人員	5,309	5,459	6,633	6,949	7,217	7,488	
粗暴犯	認知件数	35,860	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	
	検挙件数	28,486	28,046	29,967	29,638	28,488	39,211	
	検挙人員	37,370	37,110	40,432	39,755	37,874	50,419	
窃盗犯	認知件数	1,570,492	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	
	検挙件数	587,266	566,207	586,648	597,283	561,148	407,246	
	検挙人員	159,453	162,675	175,632	181,329	172,147	162,610	
知能犯	認知件数	56,928	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	
	検挙件数	53,742	58,178	57,811	55,118	47,827	44,322	
	検挙人員	11,738	11,478	11,639	11,286	10,562	11,341	
風俗犯	認知件数	6,157	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	
	検挙件数	5,717	5,841	6,124	5,899	5,438	5,809	
	検挙人員	8,473	7,655	6,923	7,239	6,110	6,112	
その他の 刑法犯	認知件数	106,739	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	
	検挙件数	71,790	71,372	72,326	77,353	81,524	73,008	
	検挙人員	70,909	71,207	72,314	77,705	81,445	71,679	

図表 5 - 7 凶悪犯の罪種別

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
凶悪犯	認知件数(件)	6,768	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	
	検挙件数(件)	6,173	6,237	6,733	6,991	6,859	7,175	
	検挙人員(人)	5,309	5,459	6,633	6,949	7,217	7,488	
殺人	認知件数	1,281	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	
	検挙件数	1,236	1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	
	検挙人員	1,295	1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	
強盗	認知件数	2,277	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	
	検挙件数	1,882	1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	
	検挙人員	2,169	2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	
放火	認知件数	1,710	1,846	1,936	1,566	1,728	1,743	
	検挙件数	1,645	1,749	1,804	1,369	1,458	1,372	
	検挙人員	685	710	749	693	750	789	
強姦	認知件数	1,500	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	
	検挙件数	1,410	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	
	検挙人員	1,160	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	-227,369	-8.1	認知件数(件)	刑法犯
542,115	592,359	648,319	667,620	19,301	3.0	検挙件数(件)	
325,292	347,558	379,602	389,027	9,425	2.5	検挙人員(人)	
11,967	12,567	13,658	13,064	-594	-4.3	認知件数	凶悪犯
7,320	7,604	8,238	7,924	-314	-3.8	検挙件数	
7,490	7,726	8,362	7,519	-843	-10.1	検挙人員	
72,801	76,573	78,759	76,616	-2,143	-2.7	認知件数	粗暴犯
39,924	40,425	42,296	41,128	-1,168	-2.8	検挙件数	
50,428	49,615	49,530	46,801	-2,729	-5.5	検挙人員	
2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	-254,270	-11.4	認知件数	窃盗犯
367,643	403,872	433,918	447,950	14,032	3.2	検挙件数	
168,919	180,725	191,403	195,151	3,748	2.0	検挙人員	
53,007	62,751	74,754	99,258	24,504	32.8	認知件数	知能犯
37,800	39,884	40,574	36,299	-4,275	-10.5	検挙件数	
11,539	13,173	13,653	14,850	1,197	8.8	検挙人員	
11,841	12,220	13,034	12,346	-688	-5.3	認知件数	風俗犯
6,066	5,633	6,165	6,070	-95	-1.5	検挙件数	
6,166	5,912	5,886	5,688	-198	-3.4	検挙人員	
245,485	312,140	374,087	379,909	5,822	1.6	認知件数	その他の 刑法犯
83,362	94,941	117,128	128,249	11,121	9.5	検挙件数	
80,750	90,407	110,768	119,018	8,250	7.4	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
11,967	12,567	13,658	13,064	-594	-4.3	認知件数(件)	凶悪犯
7,320	7,604	8,238	7,924	-314	-3.8	検挙件数(件)	
7,490	7,726	8,362	7,519	-843	-10.1	検挙人員(人)	
1,340	1,396	1,452	1,419	-33	-2.3	認知件数	殺人
1,261	1,336	1,366	1,342	-24	-1.8	検挙件数	
1,334	1,405	1,456	1,391	-65	-4.5	検挙人員	
6,393	6,984	7,664	7,295	-369	-4.8	認知件数	強盗
3,115	3,566	3,855	3,666	-189	-4.9	検挙件数	
4,096	4,151	4,698	4,154	-544	-11.6	検挙人員	
2,006	1,830	2,070	2,174	104	5.0	認知件数	放火
1,540	1,234	1,448	1,513	65	4.5	検挙件数	
783	815	866	867	1	0.1	検挙人員	
2,228	2,357	2,472	2,176	-296	-12.0	認知件数	強姦
1,404	1,468	1,569	1,403	-166	-10.6	検挙件数	
1,277	1,355	1,342	1,107	-235	-17.5	検挙人員	

図表5 - 8 粗暴犯の罪種別

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
粗暴犯	認知件数(件)	35,860	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	
	検挙件数(件)	28,486	28,046	29,967	29,638	28,488	39,211	
	検挙人員(人)	37,370	37,110	40,432	39,755	37,874	50,419	
凶器準備集合	認知件数	38	31	41	37	34	36	
	検挙件数	40	31	41	36	33	36	
	検挙人員	394	259	384	193	180	222	
暴行	認知件数	6,190	6,469	7,254	7,367	7,792	13,225	
	検挙件数	5,034	4,993	5,274	5,035	4,751	7,195	
	検挙人員	5,976	5,877	6,492	5,885	5,505	8,119	
傷害	認知件数	17,482	17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	
	検挙件数	15,209	15,078	16,098	15,892	15,644	21,731	
	検挙人員	20,972	21,076	22,826	22,795	21,952	29,359	
脅迫	認知件数	943	904	1,040	971	995	2,047	
	検挙件数	908	852	943	910	869	1,524	
	検挙人員	892	844	974	961	896	1,458	
恐喝	認知件数	11,207	12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	
	検挙件数	7,295	7,092	7,611	7,765	7,191	8,725	
	検挙人員	9,136	9,054	9,756	9,921	9,341	11,261	

図表5 - 9 窃盗犯の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
窃盗犯	認知件数(件)	1,570,492	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	
	検挙件数(件)	587,266	566,207	586,648	597,283	561,148	407,246	
	検挙人員(人)	159,453	162,675	175,632	181,329	172,147	162,610	
侵入窃盗	認知件数	234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	
	検挙件数	189,368	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	
	検挙人員	16,275	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	
乗り物盗	認知件数	664,508	687,960	696,370	705,431	694,375	754,939	
	検挙件数	136,893	125,117	127,704	121,075	108,657	69,698	
	検挙人員	54,042	51,920	50,401	50,426	48,672	39,469	
非侵入窃盗	認知件数	671,398	677,148	747,495	845,915	955,037	1,079,739	
	検挙件数	261,005	266,974	292,825	310,390	299,507	228,420	
	検挙人員	89,136	94,889	109,372	115,423	108,241	109,490	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
72,801	76,573	78,759	76,616	-2,143	-2.7	認知件数(件)	粗暴犯
39,924	40,425	42,296	41,128	-1,168	-2.8	検挙件数(件)	
50,428	49,615	49,530	46,801	-2,729	-5.5	検挙人員(人)	
42	30	34	27	-7	-20.6	認知件数	凶器準備集合
43	30	29	28	-1	-3.4	検挙件数	
497	283	419	279	-140	-33.4	検挙人員	
16,928	19,442	21,937	23,691	1,754	8.0	認知件数	暴行
7,852	8,348	9,539	10,666	1,127	11.8	検挙件数	
8,636	9,132	10,124	11,002	878	8.7	検挙人員	
33,965	36,324	36,568	35,937	-631	-1.7	認知件数	傷害
22,544	23,453	23,659	22,938	-721	-3.0	検挙件数	
29,584	29,862	28,999	27,069	-1,930	-6.7	検挙人員	
2,300	2,374	2,625	2,537	-88	-3.4	認知件数	脅迫
1,590	1,572	1,567	1,581	14	0.9	検挙件数	
1,525	1,527	1,457	1,388	-69	-4.7	検挙人員	
19,566	18,403	17,595	14,424	-3,171	-18.0	認知件数	恐喝
7,895	7,022	7,502	5,915	-1,587	-21.2	検挙件数	
10,186	8,811	8,531	7,063	-1,468	-17.2	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	-254,270	-11.4	認知件数(件)	窃盗犯
367,643	403,872	433,918	447,950	14,032	3.2	検挙件数(件)	
168,919	180,725	191,403	195,151	3,748	2.0	検挙人員(人)	
303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8	認知件数	侵入窃盗
89,456	98,335	109,920	104,816	-5,104	-4.6	検挙件数	
13,712	13,696	14,208	13,548	-660	-4.6	検挙人員	
827,593	775,435	695,791	629,722	-66,069	-9.5	認知件数	乗り物盗
65,435	57,928	56,867	61,308	4,441	7.8	検挙件数	
39,813	39,589	41,265	38,952	-2,313	-5.6	検挙人員	
1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	-145,563	-12.1	認知件数	非侵入窃盗
212,752	247,609	267,131	281,826	14,695	5.5	検挙件数	
115,394	127,440	135,930	142,651	6,721	4.9	検挙人員	

図表 5 - 10 侵入窃盗の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
侵入窃盗	認知件数(件)		234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486
	検挙件数(件)		189,368	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128
	検挙人員(人)		16,275	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651
うち)住宅対象	認知件数		119,598	113,827	113,782	123,863	134,492	154,074
	検挙件数		103,197	92,482	86,664	87,351	82,373	57,893
	検挙人員		6,061	5,774	5,688	5,813	5,755	5,275
空き巣	認知件数		84,224	80,361	79,746	87,393	99,174	117,725
	検挙件数		73,378	68,716	62,427	62,106	58,433	43,163
	検挙人員		4,226	4,026	3,920	4,064	3,963	3,734
忍込み	認知件数		28,038	26,619	27,335	28,971	28,268	28,537
	検挙件数		23,765	18,311	19,307	20,268	19,593	11,972
	検挙人員		1,020	993	1,002	959	1,039	867
居空き	認知件数		7,336	6,847	6,701	7,499	7,050	7,812
	検挙件数		6,054	5,455	4,930	4,977	4,347	2,758
	検挙人員		815	755	766	790	753	674
うち)金庫破り	認知件数		4,996	5,474	5,885	6,197	7,923	11,942
	検挙件数		2,167	2,523	2,945	3,120	2,494	2,881
	検挙人員		315	335	420	369	376	472
うち)学校荒し	認知件数		5,743	5,872	6,354	5,992	6,061	6,099
	検挙件数		4,359	4,416	4,438	4,402	3,522	2,642
	検挙人員		1,120	1,240	1,352	1,163	1,134	1,012
うち)事務所荒し	認知件数		37,603	36,926	35,921	38,668	43,781	54,483
	検挙件数		26,451	27,150	26,413	27,771	24,222	17,670
	検挙人員		2,090	2,073	1,956	1,865	1,968	1,718
うち)出店荒し	認知件数		40,138	35,716	33,875	36,728	41,714	41,613
	検挙件数		31,473	27,609	26,568	25,308	24,262	16,677
	検挙人員		2,944	2,705	2,715	2,612	2,400	2,085

図表 5 - 11 乗り物盗の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
乗り物盗	認知件数(件)		664,508	687,960	696,370	705,431	694,375	754,939
	検挙件数(件)		136,893	125,117	127,704	121,075	108,657	69,698
	検挙人員(人)		54,042	51,920	50,401	50,426	48,672	39,469
自動車盗	認知件数		35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205
	検挙件数		20,821	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415
	検挙人員		5,806	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590
オートバイ盗	認知件数		241,509	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433
	検挙件数		55,141	49,883	50,610	43,678	40,356	23,708
	検挙人員		20,249	19,669	19,131	18,697	17,296	15,143
自転車盗	認知件数		387,269	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301
	検挙件数		60,931	55,970	58,803	59,187	53,060	34,575
	検挙人員		27,987	26,871	26,006	26,234	26,348	19,736

手口別認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8	認知件数(件)	侵入窃盗
89,456	98,335	109,920	104,816	-5,104	-4.6	検挙件数(件)	
13,712	13,696	14,208	13,548	-660	-4.6	検挙人員(人)	
161,883	189,336	190,473	170,991	-19,482	-10.2	認知件数	うち)住宅対象
45,752	51,897	59,133	57,948	-1,185	-2.0	検挙件数	
5,144	5,241	5,318	5,209	-109	-2.0	検挙人員	
124,387	147,500	146,808	133,159	-13,649	-9.3	認知件数	空き巣
35,319	37,950	44,368	43,521	-847	-1.9	検挙件数	
3,678	3,721	3,776	3,686	-90	-2.4	検挙人員	
29,093	32,860	34,893	29,456	-5,437	-15.6	認知件数	忍込み
8,235	11,642	12,452	12,211	-241	-1.9	検挙件数	
796	832	863	889	26	3.0	検挙人員	
8,403	8,976	8,772	8,376	-396	-4.5	認知件数	居空き
2,198	2,305	2,313	2,216	-97	-4.2	検挙件数	
670	688	679	634	-45	-6.6	検挙人員	
10,643	10,345	9,262	7,844	-1,418	-15.3	認知件数	うち)金庫破り
3,154	3,212	3,294	3,157	-137	-4.2	検挙件数	
577	615	678	509	-169	-24.9	検挙人員	
5,987	6,365	6,647	5,024	-1,623	-24.4	認知件数	うち)学校荒し
2,564	1,949	2,400	2,214	-186	-7.8	検挙件数	
1,067	1,001	1,239	1,115	-124	-10.0	検挙人員	
51,333	49,411	43,686	36,511	-7,175	-16.4	認知件数	うち)事務所荒し
15,235	16,897	16,472	13,016	-3,456	-21.0	検挙件数	
1,774	1,648	1,588	1,421	-167	-10.5	検挙人員	
43,678	48,719	48,526	39,739	-8,787	-18.1	認知件数	うち)出店荒し
13,068	14,700	17,385	16,922	-463	-2.7	検挙件数	
2,211	2,213	2,311	2,055	-256	-11.1	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
827,593	775,435	695,791	629,722	-66,069	-9.5	認知件数(件)	乗り物盗
65,435	57,928	56,867	61,308	4,441	7.8	検挙件数(件)	
39,813	39,589	41,265	38,952	-2,313	-5.6	検挙人員(人)	
63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5	認知件数	自動車盗
13,390	12,791	11,931	13,765	1,834	15.4	検挙件数	
4,933	4,775	4,599	3,823	-776	-16.9	検挙人員	
242,517	198,642	154,979	126,717	-28,262	-18.2	認知件数	オートバイ盗
19,440	15,725	12,447	11,715	-732	-5.9	検挙件数	
14,707	13,106	11,213	9,203	-2,010	-17.9	検挙人員	
521,801	514,120	476,589	444,268	-32,321	-6.8	認知件数	自転車盗
32,605	29,412	32,489	35,828	3,339	10.3	検挙件数	
20,173	21,708	25,453	25,926	473	1.9	検挙人員	

図表 5 - 12 非侵入窃盗の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
非侵入窃盗	認知件数(件)	671,398	677,148	747,495	845,915	955,037	1,079,739	
	検挙件数(件)	261,005	266,974	292,825	310,390	299,507	228,420	
	検挙人員(人)	89,136	94,889	109,372	115,423	108,241	109,490	
うち) ひったくり	認知件数	19,220	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	
	検挙件数	9,525	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	
	検挙人員	1,408	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	
うち) すり	認知件数	24,386	23,483	22,181	21,019	21,928	24,526	
	検挙件数	11,512	11,718	11,064	9,597	8,189	5,012	
	検挙人員	934	932	972	953	967	813	
うち) 車上ねらい	認知件数	222,473	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	
	検挙件数	72,061	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	
	検挙人員	3,069	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	
うち) 部品ねらい	認知件数	46,629	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	
	検挙件数	8,942	9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	
	検挙人員	1,982	1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	
うち) 自動販売機 ねらい	認知件数	108,075	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	
	検挙件数	29,581	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	
	検挙人員	2,025	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	
うち) 万引き	認知件数	84,131	90,496	106,181	112,237	105,227	112,559	
	検挙件数	72,927	77,940	91,870	96,828	88,532	87,366	
	検挙人員	68,932	74,723	89,333	94,656	85,832	86,643	

図表 5 - 13 知能犯の罪種別

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
知能犯	認知件数(件)	56,928	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	
	検挙件数(件)	53,742	58,178	57,811	55,118	47,827	44,322	
	検挙人員(人)	11,738	11,478	11,639	11,286	10,562	11,341	
詐欺	認知件数	45,923	49,394	49,426	48,279	43,431	44,384	
	検挙件数	42,940	46,582	46,233	44,405	38,340	35,255	
	検挙人員	8,846	8,256	8,748	8,651	8,178	8,492	
横領	認知件数	1,632	1,621	1,569	1,355	1,229	1,553	
	検挙件数	1,533	1,518	1,483	1,242	1,112	1,229	
	検挙人員	878	913	930	882	759	971	
偽造	認知件数	9,159	9,973	10,100	9,458	8,737	9,091	
	検挙件数	9,054	9,879	9,873	9,293	8,245	7,690	
	検挙人員	1,702	1,999	1,598	1,474	1,388	1,631	
汚職	認知件数	176	147	173	147	100	115	
	検挙件数	177	147	172	146	99	112	
	検挙人員	259	240	282	228	172	188	
あっせん 利得処罰法	認知件数	-	-	-	-	-	-	
	検挙件数	-	-	-	-	-	-	
	検挙人員	-	-	-	-	-	-	
背任	認知件数	38	52	48	32	31	41	
	検挙件数	38	52	50	32	31	36	
	検挙人員	53	70	81	51	65	59	

手口別認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	-145,563	-12.1	認知件数(件)	非侵入窃盗
212,752	247,609	267,131	281,826	14,695	5.5	検挙件数(件)	
115,394	127,440	135,930	142,651	6,721	4.9	検挙人員(人)	
50,838	52,919	46,354	39,399	-6,955	-15.0	認知件数	うち) ひったくり
12,925	18,434	14,861	13,561	-1,300	-8.7	検挙件数	
3,078	3,158	2,953	2,259	-694	-23.5	検挙人員	
25,691	24,590	25,338	19,198	-6,140	-24.2	認知件数	うち) すり
4,412	4,400	4,149	3,791	-358	-8.6	検挙件数	
770	796	836	970	134	16.0	検挙人員	
432,140	443,298	414,819	328,921	-85,898	-20.7	認知件数	うち) 車上ねらい
43,176	48,881	60,479	63,171	2,692	4.5	検挙件数	
3,027	3,322	3,491	3,238	-253	-7.2	検挙人員	
129,380	128,539	120,726	112,161	-8,565	-7.1	認知件数	うち) 部品ねらい
6,650	7,260	8,515	10,668	2,153	25.3	検挙件数	
2,082	2,429	2,345	2,134	-211	-9.0	検挙人員	
170,470	174,718	147,878	112,965	-34,913	-23.6	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
18,851	28,962	28,152	29,748	1,596	5.7	検挙件数	
2,329	2,850	3,231	2,560	-671	-20.8	検挙人員	
126,110	140,002	146,308	158,020	11,712	8.0	認知件数	うち) 万引き
92,319	101,445	106,925	114,465	7,540	7.1	検挙件数	
91,816	100,849	105,792	112,783	6,991	6.6	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
53,007	62,751	74,754	99,258	24,504	32.8	認知件数(件)	知能犯
37,800	39,884	40,574	36,299	-4,275	-10.5	検挙件数(件)	
11,539	13,173	13,653	14,850	1,197	8.8	検挙人員(人)	
43,104	49,482	60,298	83,015	22,717	37.7	認知件数	詐欺
30,017	31,547	30,364	26,617	-3,747	-12.3	検挙件数	
8,495	9,507	10,194	11,238	1,044	10.2	検挙人員	
1,995	2,151	2,183	2,543	360	16.5	認知件数	横領
1,505	1,503	1,375	1,517	142	10.3	検挙件数	
1,067	1,184	1,088	1,210	122	11.2	検挙人員	
7,671	10,883	12,103	13,547	1,444	11.9	認知件数	偽造
6,050	6,608	8,675	8,032	-643	-7.4	検挙件数	
1,634	2,112	2,124	2,236	112	5.3	検挙人員	
171	178	130	111	-19	-14.6	認知件数	汚職
170	174	127	107	-20	-15.7	検挙件数	
255	283	195	139	-56	-28.7	検挙人員	
-	1	0	1	1	-	認知件数	あっせん 利得処罰法
-	1	0	1	1	-	検挙件数	
-	2	0	0	0	0.0	検挙人員	
66	56	40	41	1	2.5	認知件数	背任
58	51	33	25	-8	-24.2	検挙件数	
88	85	52	27	-25	-48.1	検挙人員	

図表 5 - 14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
風俗犯	認知件数(件)	6,157	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	
	検挙件数(件)	5,717	5,841	6,124	5,899	5,438	5,809	
	検挙人員(人)	8,473	7,655	6,923	7,239	6,110	6,112	
賭博	認知件数	702	590	604	515	293	278	
	検挙件数	703	588	604	515	291	278	
	検挙人員	5,270	4,100	3,253	3,372	2,327	1,905	
わいせつ	認知件数	5,455	5,849	6,159	6,171	7,155	9,523	
	検挙件数	5,014	5,253	5,520	5,384	5,147	5,531	
	検挙人員	3,203	3,555	3,670	3,867	3,783	4,207	
うち) 強制わいせつ	認知件数	3,644	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	
	検挙件数	3,232	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	
	検挙人員	1,464	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	
うち) 公然わいせつ	認知件数	1,108	1,203	1,290	1,250	1,212	1,554	
	検挙件数	1,080	1,193	1,261	1,217	1,163	1,377	
	検挙人員	882	1,114	1,143	1,096	1,102	1,179	

図表 5 - 15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
その他の刑法犯	認知件数(件)	106,739	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	
	検挙件数(件)	71,790	71,372	72,326	77,353	81,524	73,008	
	検挙人員(人)	70,909	71,207	72,314	77,705	81,445	71,679	
うち) 占有離脱物横領	認知件数	59,512	58,592	58,955	64,025	67,635	55,850	
	検挙件数	59,348	58,361	58,726	63,783	67,383	55,271	
	検挙人員	61,127	61,107	61,372	66,687	70,053	57,138	
うち) 公務執行妨害	認知件数	1,188	1,268	1,434	1,395	1,531	2,082	
	検挙件数	1,184	1,256	1,423	1,384	1,508	2,049	
	検挙人員	1,147	1,379	1,567	1,492	1,569	1,997	
うち) 住居侵入	認知件数	11,009	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	
	検挙件数	3,724	3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	
	検挙人員	2,324	2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	
うち) 逮捕・監禁	認知件数	357	366	437	429	417	564	
	検挙件数	340	359	418	405	382	509	
	検挙人員	506	587	658	663	640	754	
うち) 略取・誘拐	認知件数	240	251	284	221	249	302	
	検挙件数	238	250	279	211	244	272	
	検挙人員	196	189	167	141	164	180	
うち) 盗品等	認知件数	1,353	1,188	1,258	1,382	1,502	1,731	
	検挙件数	1,342	1,193	1,248	1,373	1,495	1,725	
	検挙人員	1,294	1,197	1,197	1,373	1,486	1,688	
うち) 器物損壊等	認知件数	31,231	36,406	41,064	46,009	53,552	87,943	
	検挙件数	4,041	4,585	4,574	4,714	4,958	6,364	
	検挙人員	2,418	2,494	2,773	2,850	2,861	4,062	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
11,841	12,220	13,034	12,346	-688	-5.3	認知件数(件)	風俗犯
6,066	5,633	6,165	6,070	-95	-1.5	検挙件数(件)	
6,166	5,912	5,886	5,688	-198	-3.4	検挙人員(人)	
290	300	208	249	41	19.7	認知件数	賭博
290	300	202	243	41	20.3	検挙件数	
2,077	1,928	1,725	1,422	-303	-17.6	検挙人員	
11,551	11,920	12,826	12,097	-729	-5.7	認知件数	わいせつ
5,776	5,333	5,963	5,827	-136	-2.3	検挙件数	
4,089	3,984	4,161	4,266	105	2.5	検挙人員	
9,326	9,476	10,029	9,184	-845	-8.4	認知件数	うち) 強制わいせつ
3,887	3,367	3,893	3,656	-237	-6.1	検挙件数	
2,236	2,130	2,273	2,225	-48	-2.1	検挙人員	
1,771	2,052	2,422	2,391	-31	-1.3	認知件数	うち) 公然わいせつ
1,438	1,573	1,706	1,669	-37	-2.2	検挙件数	
1,261	1,371	1,456	1,451	-5	-0.3	検挙人員	

罪種別認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
245,336	312,140	374,087	379,909	5,822	1.6	認知件数(件)	その他の刑法犯
83,362	94,941	117,128	128,249	11,121	9.5	検挙件数(件)	
80,750	90,407	110,768	119,018	8,250	7.4	検挙人員(人)	
63,775	71,782	90,163	101,869	11,706	13.0	認知件数	うち) 占有離脱物横領
62,773	70,240	87,587	95,845	8,258	9.4	検挙件数	
64,628	72,283	89,358	96,083	6,725	7.5	検挙人員	
2,354	2,621	3,007	3,129	122	4.1	認知件数	うち) 公務執行妨害
2,302	2,544	2,909	2,957	48	1.7	検挙件数	
2,057	2,194	2,508	2,705	197	7.9	検挙人員	
26,686	33,872	40,348	37,857	-2,491	-6.2	認知件数	うち) 住居侵入
5,245	6,461	7,820	8,566	746	9.5	検挙件数	
3,856	4,214	5,361	5,993	632	11.8	検挙人員	
586	630	643	639	-4	-0.6	認知件数	うち) 逮捕・監禁
492	523	522	480	-42	-8.0	検挙件数	
847	887	822	762	-60	-7.3	検挙人員	
237	251	284	320	36	12.7	認知件数	うち) 略取・誘拐
211	215	231	232	1	0.4	検挙件数	
179	173	151	187	36	23.8	検挙人員	
2,388	2,987	4,519	5,547	1,028	22.7	認知件数	うち) 盗品等
2,372	2,967	4,457	5,310	853	19.1	検挙件数	
2,322	2,916	4,345	4,935	590	13.6	検挙人員	
145,936	196,018	230,743	226,059	-4,684	-2.0	認知件数	うち) 器物損壊等
7,662	9,607	11,100	12,332	1,232	11.1	検挙件数	
4,222	4,931	5,331	5,522	191	3.6	検挙人員	

図表5 - 16 街頭犯罪・侵入犯罪の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
街頭 犯 罪 関 係	路上強盗	認知件数(件)	620	826	1,034	1,119	1,495	2,070
		検挙件数(件)	544	684	824	873	925	930
		検挙人員(人)	850	1,058	1,497	1,503	1,609	1,645
		うち少年(人)	615	791	1,178	1,098	1,111	1,122
		少年の割合(%)	72.4	74.8	78.7	73.1	69.0	68.2
	ひったくり	認知件数	19,220	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064
		検挙件数	9,525	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796
		検挙人員	1,408	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072
		うち少年	973	1,331	1,568	1,871	2,420	2,179
		少年の割合	69.1	72.1	74.0	71.8	73.2	70.9
	強姦	認知件数	1,500	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260
		うち街頭	403	454	535	668	648	825
		街頭の割合	26.9	30.6	32.3	35.7	34.9	36.5
	強制わいせつ	認知件数	3,644	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412
		うち街頭	1,914	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475
		街頭の割合	52.5	59.6	61.1	56.4	59.8	60.4
	略取・誘拐	認知件数	240	251	284	221	249	302
		うち街頭	161	170	202	166	181	216
		街頭の割合	67.1	67.7	71.1	75.1	72.7	71.5
	暴行	認知件数	6,190	6,469	7,254	7,367	7,792	13,225
うち街頭		3,429	4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	
街頭の割合		55.4	64.6	65.1	65.2	64.8	66.0	
傷害	認知件数	17,482	17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	
	うち街頭	9,111	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	
	街頭の割合	52.1	57.5	58.6	57.3	57.8	56.2	
恐喝	認知件数	11,207	12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	
	うち街頭	6,805	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	
	街頭の割合	60.7	67.1	68.0	67.2	70.6	69.9	
自動車盗	認知件数	35,730	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	
	検挙件数	20,821	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	
	検挙人員	5,806	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	
	うち少年	2,752	2,257	2,106	2,091	1,658	1,531	
	少年の割合	47.4	42.0	40.0	38.1	33.0	33.4	
オートバイ盗	認知件数	241,509	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	
	検挙件数	55,141	49,883	50,610	43,678	40,356	23,708	
	検挙人員	20,249	19,669	19,131	18,697	17,296	15,143	
	うち少年	19,770	19,109	18,749	18,202	16,872	14,746	
	少年の割合	97.6	97.2	98.0	97.4	97.5	97.4	
自転車盗	認知件数	387,269	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	
	検挙件数	60,931	55,970	58,803	59,187	53,060	34,575	
	検挙人員	27,987	26,871	26,006	26,234	26,348	19,736	
	うち少年	14,227	15,466	16,476	16,675	16,271	12,991	
	少年の割合	50.8	57.6	63.4	63.6	61.8	65.8	
車上ねらい	認知件数	222,473	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	
	検挙件数	72,061	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	
	検挙人員	3,069	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	
	うち少年	1,037	798	793	742	704	658	
	少年の割合	33.8	28.8	30.0	26.0	24.3	22.4	
部品ねらい	認知件数	46,629	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	
	検挙件数	8,942	9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	
	検挙人員	1,982	1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	
	うち少年	1,241	1,149	1,024	1,054	1,234	1,259	
	少年の割合	62.6	61.3	59.7	60.4	62.8	62.8	
自動販売機ねらい	認知件数	108,075	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	
	検挙件数	29,581	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	
	検挙人員	2,025	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	
	うち少年	802	740	821	789	1,044	1,196	
	少年の割合	39.6	41.0	46.1	39.3	47.6	57.4	
侵入 犯 罪 関 係	侵入強盗	認知件数(件)	1,032	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786
		検挙件数(件)	792	727	734	897	1,020	1,024
		検挙人員(人)	679	610	719	854	993	982
		来日外国人検挙件数(件)	51	46	37	56	103	91
		来日外国人検挙人員(人)	74	65	43	63	160	132
	侵入窃盗	認知件数	234,586	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486
		検挙件数	189,368	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128
		検挙人員	16,275	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651
		来日外国人検挙件数	2,473	2,402	2,416	2,885	4,744	6,396
		来日外国人検挙人員	268	308	362	390	438	674
住居侵入	認知件数	11,009	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	
	検挙件数	3,724	3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	
	検挙人員	2,324	2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	
	来日外国人検挙件数	80	97	100	95	182	159	
	来日外国人検挙人員	43	65	67	44	78	98	

認知・検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分	
				件数・人員	率(%)			
2,509	2,888	2,955	2,695	-260	-8.8	認知件数(件)	路上強盗	
968	1,104	1,226	955	-271	-22.1	検挙件数(件)		
1,658	1,631	1,865	1,377	-488	-26.2	検挙人員(人)		
1,103	1,027	1,227	763	-464	-37.8	うち少年(人)		
66.5	63.0	65.8	55.4	-10.4	ポイント	少年の割合(%)		
50,838	52,919	46,354	39,399	-6,955	-15.0	認知件数	ひったくり	
12,925	18,434	14,861	13,561	-1,300	-8.7	検挙件数		
3,078	3,158	2,953	2,259	-694	-23.5	検挙人員		
2,190	2,166	1,957	1,352	-605	-30.9	うち少年		
71.2	68.6	66.3	59.8	-6.4	ポイント	少年の割合		
2,228	2,357	2,472	2,176	-296	-12.0	認知件数	強姦	
806	869	832	732	-100	-12.0	うち街頭		
36.2	36.9	33.7	33.6	0.0	ポイント	街頭の割合		
9,326	9,476	10,029	9,184	-845	-8.4	認知件数	強制わいせつ	
5,786	5,915	6,145	5,510	-635	-10.3	うち街頭		
62.0	62.4	61.3	60.0	-1.3	ポイント	街頭の割合		
237	251	284	320	36	12.7	認知件数	略取・誘拐	
179	175	213	237	24	11.3	うち街頭		
75.5	69.7	75.0	74.1	-0.9	ポイント	街頭の割合		
16,928	19,442	21,937	23,691	1,754	8.0	認知件数	暴行	
11,352	12,814	14,477	15,319	842	5.8	うち街頭		
67.1	65.9	66.0	64.7	-1.3	ポイント	街頭の割合		
33,965	36,324	36,568	35,937	-631	-1.7	認知件数	傷害	
19,400	20,465	20,097	19,218	-879	-4.4	うち街頭		
57.1	56.3	55.0	53.5	-1.5	ポイント	街頭の割合		
19,566	18,403	17,595	14,424	-3,171	-18.0	認知件数	恐喝	
13,856	12,514	11,089	8,534	-2,555	-23.0	うち街頭		
70.8	68.0	63.0	59.2	-3.9	ポイント	街頭の割合		
63,275	62,673	64,223	58,737	-5,486	-8.5	認知件数	自動車盗	
13,390	12,791	11,931	13,765	1,834	15.4	検挙件数		
4,933	4,775	4,599	3,823	-776	-16.9	検挙人員		
1,691	1,680	1,542	1,216	-326	-21.1	うち少年		
34.3	35.2	33.5	31.8	-1.7	ポイント	少年の割合		
242,517	198,642	154,979	126,717	-28,262	-18.2	認知件数	オートバイ盗	
19,440	15,725	12,447	11,715	-732	-5.9	検挙件数		
14,707	13,106	11,213	9,203	-2,010	-17.9	検挙人員		
14,288	12,650	10,669	8,735	-1,934	-18.1	うち少年		
97.2	96.5	95.1	94.9	-0.2	ポイント	少年の割合		
521,801	514,120	476,589	444,268	-32,321	-6.8	認知件数	自転車盗	
32,605	29,412	32,489	35,828	3,339	10.3	検挙件数		
20,173	21,708	25,453	25,926	473	1.9	検挙人員		
13,843	14,710	16,316	15,342	-974	-6.0	うち少年		
68.6	67.8	64.1	59.2	-4.9	ポイント	少年の割合		
432,140	443,298	414,819	328,921	-85,898	-20.7	認知件数	車上ねらい	
43,176	48,881	60,479	63,171	2,692	4.5	検挙件数		
3,027	3,322	3,491	3,238	-253	-7.2	検挙人員		
663	816	776	681	-95	-12.2	うち少年		
21.9	24.6	22.2	21.0	-1.2	ポイント	少年の割合		
129,380	128,539	120,726	112,161	-8,565	-7.1	認知件数	部品ねらい	
6,650	7,260	8,515	10,668	2,153	25.3	検挙件数		
2,082	2,429	2,345	2,134	-211	-9.0	検挙人員		
1,329	1,574	1,468	1,255	-213	-14.5	うち少年		
63.8	64.8	62.6	58.8	-3.8	ポイント	少年の割合		
170,470	174,718	147,878	112,965	-34,913	-23.6	認知件数	自動販売機ねらい	
18,851	28,962	28,152	29,748	1,596	5.7	検挙件数		
2,329	2,850	3,231	2,560	-671	-20.8	検挙人員		
1,593	2,163	2,453	1,933	-520	-21.2	うち少年		
68.4	75.9	75.9	75.5	-0.4	ポイント	少年の割合		
2,335	2,436	2,865	2,776	-89	-3.1	認知件数(件)	侵入強盗	侵入
1,116	1,314	1,402	1,458	56	4.0	検挙件数(件)		
1,094	1,134	1,310	1,356	46	3.5	検挙人員(人)		
97	157	141	154	13	9.2	来日外国人検挙件数(件)	侵入窃盗	犯罪
138	163	218	201	-17	-7.8	来日外国人検挙人員(人)		
303,698	338,294	333,233	290,595	-42,638	-12.8	認知件数		
89,456	98,335	109,920	104,816	-5,104	-4.6	検挙件数		
13,712	13,696	14,208	13,548	-660	-4.6	検挙人員		
6,147	6,754	8,482	8,396	-86	-1.0	来日外国人検挙件数	住居侵入	係
688	658	704	565	-139	-19.7	来日外国人検挙人員		
26,686	33,872	40,348	37,857	-2,491	-6.2	認知件数		
5,245	6,461	7,820	8,566	746	9.5	検挙件数	住居侵入	
3,856	4,214	5,361	5,993	632	11.8	検挙人員		
195	205	283	314	31	11.0	来日外国人検挙件数		
99	110	134	127	-7	-5.2	来日外国人検挙人員		

図表5 - 17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
総数	検挙件数(件)		17,213	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947
	検挙人員(人)		6,527	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329
凶悪犯	検挙件数		176	162	187	228	267	242
	検挙人員		201	212	213	251	347	318
うち)殺人	検挙件数		36	53	69	52	41	44
	検挙人員		41	73	83	62	50	54
うち)強盗	検挙件数		104	84	87	130	195	164
	検挙人員		135	114	103	160	278	236
侵入強盗	検挙件数		51	46	37	56	103	91
	検挙人員		74	65	43	63	160	132
非侵入強盗	検挙件数		53	38	50	74	92	67
	検挙人員		61	49	60	97	118	104
粗暴犯	検挙件数		247	272	265	272	282	494
	検挙人員		255	279	313	305	338	568
うち)傷害	検挙件数		166	164	184	192	178	347
	検挙人員		167	191	199	213	224	393
窃盗犯	検挙件数		14,145	15,952	19,128	19,078	22,404	19,952
	検挙人員		3,900	3,399	3,155	3,098	3,404	3,803
侵入窃盗	検挙件数		2,473	2,402	2,416	2,885	4,744	6,396
	検挙人員		268	308	362	390	438	674
うち)住宅対象	検挙件数		1,752	1,080	1,300	1,685	3,032	4,518
	検挙人員		75	102	117	124	148	335
乗り物盗	検挙件数		1,756	6,626	8,506	4,692	1,173	776
	検挙人員		786	725	608	526	459	383
うち)自動車盗	検挙件数		134	197	316	520	217	225
	検挙人員		46	66	94	109	92	92
非侵入窃盗	検挙件数		9,916	6,924	8,206	11,501	16,487	12,780
	検挙人員		2,846	2,366	2,185	2,182	2,507	2,746
うち)部品ねらい	検挙件数		127	146	102	600	994	828
	検挙人員		42	51	43	48	59	64
うち)車上ねらい	検挙件数		1,664	869	1,371	1,551	4,151	1,702
	検挙人員		55	42	48	74	109	129
うち)ひったくり	検挙件数		105	74	79	538	165	133
	検挙人員		25	20	19	60	29	33
うち)すり	検挙件数		914	1,033	1,919	1,501	1,252	762
	検挙人員		75	57	96	96	152	117
うち)自動販売機 ねらい	検挙件数		4,235	1,862	1,520	4,377	7,036	6,706
	検挙人員		508	269	135	210	295	173
うち)万引き	検挙件数		1,684	1,572	1,829	1,732	1,830	1,867
	検挙人員		1,536	1,342	1,363	1,364	1,467	1,820
知能犯	検挙件数		770	1,513	680	740	523	819
	検挙人員		302	497	305	319	264	277
うち)偽造	検挙件数		549	1,111	339	404	300	418
	検挙人員		229	424	209	185	186	187
風俗犯	検挙件数		85	50	93	107	79	85
	検挙人員		150	132	173	169	150	122
うち)強制わいせつ	検挙件数		48	15	37	77	58	51
	検挙人員		19	16	33	35	32	35
その他の刑法犯	検挙件数		1,790	1,564	1,317	1,264	1,580	1,355
	検挙人員		1,719	1,507	1,276	1,240	1,460	1,241
うち)占有離脱物 横領	検挙件数		1,542	1,353	1,065	1,037	1,202	974
	検挙人員		1,555	1,351	1,051	1,049	1,214	967
うち)住居侵入	検挙件数		80	97	100	95	182	159
	検挙人員		43	65	67	44	78	98
うち)略取・誘拐	検挙件数		2	4	10	10	13	10
	検挙人員		8	7	33	24	32	16

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
18,199	24,258	27,258	32,087	4,829	17.7	検挙件数(件)	総数
7,168	7,690	8,725	8,898	173	2.0	検挙人員(人)	
308	323	336	345	9	2.7	検挙件数	凶悪犯
403	353	477	421	-56	-11.7	検挙人員	
45	34	37	40	3	8.1	検挙件数	うち)殺人
59	41	61	52	-9	-14.8	検挙人員	
219	247	255	269	14	5.5	検挙件数	うち)強盗
309	280	369	338	-31	-8.4	検挙人員	
97	157	141	154	13	9.2	検挙件数	侵入強盗
138	163	218	201	-17	-7.8	検挙人員	
122	90	114	115	8	14.3	検挙件数	非侵入強盗
171	117	151	137	0	0.0	検挙人員	
508	550	568	526	-42	-7.4	検挙件数	粗暴犯
578	628	633	591	-42	-6.6	検挙人員	
339	372	386	331	-55	-14.2	検挙件数	うち)傷害
378	430	438	379	-59	-13.5	検挙人員	
14,823	20,604	22,830	27,521	4,691	20.5	検挙件数	窃盗犯
4,135	4,395	4,555	4,717	162	3.6	検挙人員	
6,147	6,754	8,482	8,396	-86	-1.0	検挙件数	侵入窃盗
688	658	704	565	-139	-19.7	検挙人員	
3,617	4,852	6,722	7,006	284	4.2	検挙件数	うち)住宅対象
275	345	399	346	-53	-13.3	検挙人員	
923	1,180	1,108	1,579	471	42.5	検挙件数	乗り物盗
501	505	620	580	-40	-6.5	検挙人員	
450	700	601	958	357	59.4	検挙件数	うち)自動車盗
142	136	155	112	-43	-27.7	検挙人員	
7,753	12,670	13,240	17,546	4,306	32.5	検挙件数	非侵入窃盗
2,946	3,232	3,231	3,572	341	10.6	検挙人員	
634	888	566	766	200	35.3	検挙件数	うち)部品ねらい
91	69	69	70	1	1.4	検挙人員	
1,883	3,111	3,010	4,795	1,785	59.3	検挙件数	うち)車上ねらい
124	105	100	179	79	79.0	検挙人員	
156	164	126	35	-91	-72.2	検挙件数	うち)ひったくり
40	43	52	26	-26	-50.0	検挙人員	
901	831	853	817	-36	-4.2	検挙件数	うち)すり
76	84	81	87	6	7.4	検挙人員	
1,061	4,384	5,335	7,336	2,001	37.5	検挙件数	うち)自動販売機 ねらい
51	37	61	29	-32	-52.5	検挙人員	
2,349	2,564	2,441	2,844	403	16.5	検挙件数	うち)万引き
2,175	2,415	2,389	2,588	199	8.3	検挙人員	
643	678	728	797	69	9.5	検挙件数	知能犯
267	339	497	564	67	13.5	検挙人員	
249	448	461	538	77	16.7	検挙件数	うち)偽造
154	228	343	381	38	11.1	検挙人員	
95	87	90	85	-5	-5.6	検挙件数	風俗犯
133	76	93	139	46	49.5	検挙人員	
67	64	70	58	-12	-17.1	検挙件数	うち)強制わいせつ
47	30	42	46	4	9.5	検挙人員	
1,822	2,016	2,706	2,813	107	4.0	検挙件数	その他の刑法犯
1,652	1,899	2,470	2,466	-4	-0.2	検挙人員	
1,336	1,487	2,022	1,968	-54	-2.7	検挙件数	うち)占有離脱物 横領
1,342	1,516	2,009	1,938	-71	-3.5	検挙人員	
195	205	283	314	31	11.0	検挙件数	うち)住居侵入
99	110	134	127	-7	-5.2	検挙人員	
12	8	8	2	-6	-75.0	検挙件数	うち)略取・誘拐
19	18	7	6	-1	-14.3	検挙人員	

図表 5 - 18 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12
総数	検挙件数(件)	17,213	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	
	検挙人員(人)	6,527	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	
アジア州	検挙件数	13,181	15,960	17,903	16,454	17,399	18,201	
	検挙人員	5,081	4,763	4,241	4,043	4,514	4,804	
韓国	検挙件数	1,545	1,940	1,984	1,758	1,984	2,001	
	検挙人員	731	725	509	538	580	590	
中国	検挙件数	7,828	6,186	5,849	7,918	12,487	14,331	
	検挙人員	2,919	2,661	2,457	2,401	2,823	3,111	
うち)台湾	検挙件数	885	309	129	260	138	99	
	検挙人員	153	124	93	87	92	60	
うち)香港等	検挙件数	100	81	184	229	61	56	
	検挙人員	41	33	44	33	10	13	
イラン	検挙件数	380	458	294	210	155	100	
	検挙人員	167	150	103	72	66	64	
インドネシア	検挙件数	189	128	101	83	75	72	
	検挙人員	53	85	53	68	77	35	
スリランカ	検挙件数	28	36	57	114	16	23	
	検挙人員	21	24	34	19	16	23	
タイ	検挙件数	607	276	186	120	117	125	
	検挙人員	213	145	119	84	90	85	
パキスタン	検挙件数	227	97	247	88	63	93	
	検挙人員	59	46	34	32	40	56	
バングラディシュ	検挙件数	57	32	52	23	18	21	
	検挙人員	30	31	32	17	16	24	
フィリピン	検挙件数	633	629	541	887	727	375	
	検挙人員	301	326	315	269	237	241	
ベトナム	検挙件数	693	5,557	7,755	4,123	848	501	
	検挙人員	252	274	329	340	347	377	
マレーシア	検挙件数	634	280	561	812	597	211	
	検挙人員	169	135	115	81	60	40	
ミャンマー	検挙件数	111	71	106	132	70	39	
	検挙人員	55	50	46	36	41	29	
トルコ	検挙件数	8	63	20	45	89	138	
	検挙人員	9	12	13	12	40	33	
その他	検挙件数	241	207	150	141	153	171	
	検挙人員	102	99	82	74	81	96	
ヨーロッパ州	検挙件数	321	307	317	314	268	392	
	検挙人員	321	257	247	236	238	270	
イギリス	検挙件数	51	50	68	61	26	120	
	検挙人員	55	34	63	38	27	33	
フランス	検挙件数	25	36	19	31	19	19	
	検挙人員	25	17	20	15	11	18	
ロシア	検挙件数	155	123	132	143	151	153	
	検挙人員	158	121	112	129	136	150	
その他	検挙件数	90	98	98	79	72	100	
	検挙人員	83	85	52	54	64	69	
南北アメリカ州	検挙件数	3,551	3,138	3,308	4,804	7,369	4,237	
	検挙人員	1,027	906	859	1,018	1,129	1,156	
アメリカ	検挙件数	351	496	365	111	131	160	
	検挙人員	135	131	107	89	79	102	
コロンビア	検挙件数	291	387	557	215	217	24	
	検挙人員	43	56	53	61	36	27	
ブラジル	検挙件数	1,503	979	1,202	3,278	5,110	3,273	
	検挙人員	318	304	347	536	658	682	
ペルー	検挙件数	1,170	1,098	990	1,023	1,250	482	
	検挙人員	386	310	264	255	263	261	
その他	検挙件数	236	178	194	177	661	298	
	検挙人員	145	105	88	77	93	84	
アフリカ州	検挙件数	100	56	58	56	43	60	
	検挙人員	36	43	46	46	40	56	
オセアニア州	検挙件数	57	51	82	61	54	57	
	検挙人員	58	57	41	39	41	43	
無国籍・国籍不明	検挙件数	3	1	2	0	2	0	
	検挙人員	4	0	1	0	1	0	

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 13	平 14	平 15	平 16	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
18,199	24,258	27,258	32,087	4,829	17.7	検挙件数(件)	総数	
7,168	7,690	8,725	8,898	173	2.0	検挙人員(人)		
13,245	17,406	20,199	22,530	2,331	11.5	検挙件数	アジア州	
5,160	5,573	6,498	6,516	18	0.3	検挙人員		
1,134	1,211	1,424	1,454	30	2.1	検挙件数	韓国	
581	473	496	617	121	24.4	検挙人員		
9,491	9,691	11,677	11,638	-39	-0.3	検挙件数	中国	
3,343	3,632	4,554	4,408	-146	-3.2	検挙人員		
117	429	116	215	99	85.3	検挙件数	うち)台湾	
94	102	82	85	3	3.7	検挙人員		
429	88	26	83	57	219.2	検挙件数	うち)香港等	
17	27	28	38	10	35.7	検挙人員		
271	94	70	29	-41	-58.6	検挙件数	イラン	
68	69	47	23	-24	-51.1	検挙人員		
47	88	82	87	5	6.1	検挙件数	インドネシア	
43	79	65	84	19	29.2	検挙人員		
36	120	34	301	267	785.3	検挙件数	スリランカ	
26	34	27	49	22	81.5	検挙人員		
83	96	70	79	9	12.9	検挙件数	タイ	
71	83	68	72	4	5.9	検挙人員		
178	84	60	122	62	103.3	検挙件数	パキスタン	
57	51	44	37	-7	-15.9	検挙人員		
15	33	43	46	3	7.0	検挙件数	バングラディシュ	
19	30	28	43	15	53.6	検挙人員		
370	458	420	364	-56	-13.3	検挙件数	フィリピン	
243	294	329	353	24	7.3	検挙人員		
688	760	681	739	58	8.5	検挙件数	ベトナム	
469	583	549	576	27	4.9	検挙人員		
261	284	48	46	-2	-4.2	検挙件数	マレーシア	
50	54	40	56	16	40.0	検挙人員		
66	19	45	29	-16	-35.6	検挙件数	ミャンマー	
25	18	25	25	0	0.0	検挙人員		
412	4,272	5,353	7,350	1,997	37.3	検挙件数	トルコ	
27	26	67	27	-40	-59.7	検挙人員		
193	196	192	246	54	28.1	検挙件数	その他	
138	147	159	146	-13	-8.2	検挙人員		
362	378	370	432	62	16.8	検挙件数	ヨーロッパ州	
325	348	336	387	51	15.2	検挙人員		
51	68	57	63	6	10.5	検挙件数	イギリス	
48	71	47	56	9	19.1	検挙人員		
10	34	60	29	-31	-51.7	検挙件数	フランス	
11	29	35	27	-8	-22.9	検挙人員		
241	164	153	251	98	64.1	検挙件数	ロシア	
204	151	160	220	60	37.5	検挙人員		
60	112	100	89	-11	-11.0	検挙件数	その他	
62	97	94	84	-10	-10.6	検挙人員		
4,466	6,314	6,505	8,930	2,425	37.3	検挙件数	南北アメリカ州	
1,565	1,636	1,733	1,824	91	5.3	検挙人員		
183	137	154	154	0	0.0	検挙件数	アメリカ	
106	128	119	135	16	13.4	検挙人員		
249	645	1,066	862	-204	-19.1	検挙件数	コロンビア	
76	116	109	86	-23	-21.1	検挙人員		
3,457	4,967	4,520	7,001	2,481	54.9	検挙件数	ブラジル	
958	952	1,005	1,116	111	11.0	検挙人員		
425	436	620	631	11	1.8	検挙件数	ペルー	
326	327	364	344	-20	-5.5	検挙人員		
152	129	145	282	137	94.5	検挙件数	その他	
99	113	136	143	7	5.1	検挙人員		
78	91	107	106	-1	-0.9	検挙件数	アフリカ州	
66	67	81	81	0	0.0	検挙人員		
46	69	75	87	12	16.0	検挙件数	オセアニア州	
50	63	75	86	11	14.7	検挙人員		
2	0	2	2	0	0.0	検挙件数	無国籍・国籍不明	
2	3	2	4	2	100.0	検挙人員		

図表5 - 19 刑法犯の発生場所別認知件数（全刑法犯、

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯					放火	強姦	粗暴犯
				殺人	強盗					
						うち侵入強盗	うち路上強盗			
		2,562,767	13,064	1,419	7,295	2,776	2,695	2,174	2,176	76,616
住宅		499,289	4,054	823	1,104	954	19	1,174	953	11,919
一戸建住宅		262,972	1,890	456	488	464	2	746	200	4,888
共同住宅		236,317	2,164	367	616	490	17	428	753	7,031
共同住宅（4階建以上）		105,193	1,014	172	363	263	12	114	365	3,553
共同住宅（3階建以下）		131,124	1,150	195	253	227	5	314	388	3,478
事業所等		668,125	3,232	143	2,392	1,805	13	407	290	17,039
一般事務所		95,250	240	31	70	57	0	115	24	1,794
店舗		497,828	2,754	85	2,266	1,724	7	177	226	12,723
商店		325,667	1,759	14	1,647	1,242	4	85	13	4,077
デパート		42,504	48	0	42	5	1	5	1	504
コンビニエンスストア		28,326	902	1	895	812	1	4	2	1,223
ドラッグストア		12,861	57	0	56	37	0	1	0	74
ディスカウントストア		19,081	50	0	40	10	0	10	0	133
その他のスーパーマーケット		111,287	276	4	241	89	2	30	1	939
リサイクルストア		5,598	56	0	53	43	0	2	1	134
貴金属店		906	7	0	7	6	0	0	0	2
古物店		2,658	8	0	8	5	0	0	0	30
給油所		10,620	26	2	24	19	0	0	0	210
その他の商店		91,826	329	7	281	216	0	33	8	828
サービス営業店		172,161	995	71	619	482	3	92	213	8,646
生活環境営業		122,778	750	67	392	292	1	85	206	7,839
一般ホテル・旅館		8,227	87	12	19	11	0	9	47	334
銭湯等公衆浴場		11,003	8	1	4	3	0	2	1	176
映画館劇場等		960	3	1	1	1	0	0	1	51
ばちこ屋・まあじゃん屋等		22,358	55	5	44	28	0	5	1	809
景品交換所		117	33	0	31	19	0	2	0	10
ゲームセンター		10,006	20	0	14	8	0	4	2	601
その他の風俗営業店		6,305	54	4	34	27	0	7	9	775
個室付浴場		116	3	0	3	3	0	0	0	9
モーテル・ラブホテル等		2,708	177	7	56	32	0	0	114	126
その他の店舗型風俗特殊営業店		1,038	28	0	26	24	0	2	0	108
深夜飲食店		15,575	96	17	50	41	1	12	17	2,313
その他の飲食店		44,365	186	20	110	95	0	42	14	2,527
金融機関等		31,436	227	2	221	189	0	4	0	457
質屋		252	15	0	14	13	0	1	0	2
貸金業		2,748	52	0	51	45	0	1	0	39
銀行		18,626	42	2	40	20	0	0	0	260
郵便局		4,773	94	0	93	92	0	1	0	66
信用金庫・組合		2,545	12	0	12	9	0	0	0	56
農(漁)業協同組合		2,492	12	0	11	10	0	1	0	34
公営競技場		964	0	0	0	0	0	0	0	52
競馬場		312	0	0	0	0	0	0	0	11
競輪場		334	0	0	0	0	0	0	0	21
オートレース場		53	0	0	0	0	0	0	0	5
競艇場		265	0	0	0	0	0	0	0	15
スポーツ・行楽施設		16,983	18	2	6	1	2	3	7	298
ゴルフ場		3,592	2	1	0	0	0	0	1	17
その他のスポーツ施設		11,623	16	1	6	1	2	3	6	243
遊園地動物園		1,768	0	0	0	0	0	0	0	38
学校(幼稚園)		43,516	94	2	18	1	1	53	21	1,761
病(医)院診療所		18,479	61	22	20	19	0	10	9	533
神社仏閣		13,052	83	3	18	4	5	52	10	228
街頭		1,259,002	4,930	351	3,599	1	2,591	248	732	43,713
道路上		407,708	3,392	208	2,826	0	2,238	62	296	30,614
駐車(輪)場		771,357	898	63	525	0	259	133	177	6,618
都市公園		16,735	180	21	86	0	62	17	56	2,089
空き地		21,041	129	20	23	0	14	25	61	447
公共交通機関等		38,497	90	21	43	0	12	11	15	3,256
地下鉄内		1,679	0	0	0	0	0	0	0	117
新幹線内		728	0	0	0	0	0	0	0	20
その他の列車内		12,133	1	0	0	0	0	0	1	638
駅		18,934	51	1	31	0	8	8	11	2,111
その他の鉄道施設		1,088	7	1	4	0	0	0	2	133
航空機内		42	0	0	0	0	0	0	0	9
空港		682	2	0	2	0	0	0	0	40
船舶内		471	2	1	0	0	0	1	0	12
海港		2,302	25	17	5	0	4	2	1	86
バス内		438	2	1	1	0	0	0	0	90
その他の交通機関		2,196	222	17	79	0	2	0	126	510
タクシー内		1,295	42	1	38	0	0	0	3	228
その他の自動車内		901	180	16	41	0	2	0	123	282
その他の街頭		1,468	19	1	17	1	4	0	1	179
地下街地下道路		942	8	0	8	0	4	0	0	113
高速道路		526	11	1	9	1	0	0	1	66
その他		136,351	848	102	200	16	72	345	201	3,945

凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯) (平成16年)

凶器準備集合	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯				罪種・手口	発生場所
					侵入窃盗	乗り物盗	自動車盗			
27	23,691	35,937	2,537	14,424	1,981,574	290,595	629,722	58,737	総数	
2	2,769	6,067	1,037	2,044	366,103	174,519	92,935	5,756	住宅	
1	820	2,462	555	1,050	191,954	101,711	41,397	3,616	一戸建住宅	
1	1,949	3,605	482	994	174,149	72,808	51,538	2,140	共同住宅	
1	1,102	1,710	239	501	74,426	27,242	26,474	945	共同住宅(4階建以上)	
0	847	1,895	243	493	99,723	45,566	25,064	1,195	共同住宅(3階建以下)	
2	4,566	8,619	710	3,142	533,394	104,397	42,261	3,426	事務所等	
1	309	905	193	386	75,927	41,362	4,114	2,051	一般事務所	
1	3,735	6,179	384	2,424	402,373	50,194	25,662	1,264	店舗	
0	1,476	1,530	143	928	286,965	26,404	18,818	920	商店	
0	172	135	12	185	39,557	325	2,650	17	デパート	
0	482	492	31	218	22,380	516	2,512	297	コンビニエンスストア	
0	30	29	2	13	11,929	626	401	10	ドラッグストア	
0	53	45	9	26	17,888	560	657	22	ディスカウントストア	
0	359	306	27	247	103,733	2,143	8,233	98	その他のスーパーマーケット	
0	57	41	2	34	4,620	320	768	16	インタビデール店	
0	2	0	0	0	703	137	33	3	貴金属店	
0	10	9	2	9	2,206	492	132	29	古物店	
0	58	117	11	24	6,795	2,982	195	103	給油所	
0	253	356	47	172	77,154	18,303	3,237	325	その他の商店	
1	2,259	4,649	241	1,496	115,408	23,790	6,844	344	サービス営業店	
0	2,098	4,385	209	1,147	90,933	21,893	5,358	274	生活環境営業	
0	74	178	20	62	5,777	769	187	32	一般ホテル・旅館	
0	69	95	1	11	10,391	267	121	12	サウナ等公衆浴場	
0	18	19	1	13	805	16	80	2	映画館劇場等	
0	260	370	36	143	18,312	550	1,188	89	ばちこ屋・まあじゃん屋等	
0	2	3	0	5	36	15	1	0	景品交換所	
0	156	205	7	233	8,391	210	1,231	7	ゲームセンター	
0	206	505	16	48	4,052	959	474	19	その他の風俗営業店	
0	0	7	1	1	86	16	2	0	個室付浴場	
0	15	70	3	38	1,428	109	27	9	モーテル・ラブホテル等	
0	30	54	3	21	681	143	36	2	その他の店舗型風俗特殊営業店	
0	623	1,546	47	97	9,551	4,394	268	25	深夜飲食店	
0	645	1,333	74	475	31,423	14,445	1,743	77	その他の飲食店	
1	51	60	28	317	8,536	626	320	29	金融機関等	
0	1	0	0	1	124	23	0	0	質屋	
0	3	9	3	24	682	93	1	0	貸金業	
0	21	13	13	213	4,219	9	138	1	銀行	
0	20	11	3	32	1,304	54	52	2	郵便局	
0	2	7	5	42	610	29	28	3	信用金庫・組合	
1	4	20	4	5	1,597	418	101	23	農(漁)業協同組合	
0	22	30	0	0	763	14	65	1	公営競技場	
0	6	5	0	0	264	1	14	0	競馬場	
0	5	16	0	0	253	11	41	0	競輪場	
0	2	3	0	0	41	0	6	1	オートレース場	
0	9	6	0	0	205	2	4	0	競艇場	
0	88	174	4	32	15,176	1,257	1,101	40	スポーツ・行業施設	
0	3	12	1	1	3,342	527	38	24	ゴルフ場	
0	75	141	2	25	10,226	691	1,038	16	その他のスポーツ施設	
0	10	21	1	6	1,608	39	25	0	遊園地動物園	
0	335	1,149	76	201	28,538	6,247	11,336	33	学校(幼稚園)	
0	141	271	54	67	15,574	4,804	848	56	病(医)院診療所	
0	46	115	3	64	10,982	1,790	301	22	神社仏閣	
23	15,319	19,218	619	8,534	976,192	409	475,845	45,774	街頭	
9	11,431	13,217	427	5,530	278,496	0	138,751	7,203	道路上	
7	1,500	3,080	110	1,921	644,531	155	324,599	37,083	駐車(輪)場	
2	431	1,060	23	573	8,756	32	2,295	15	都市公園	
3	90	227	12	115	15,391	0	4,738	1,428	空き地	
2	1,646	1,334	24	250	27,979	215	5,439	40	公共交通機関等	
0	66	49	0	2	1,391	0	0	0	地下鉄内	
0	11	6	1	2	648	0	0	0	新幹線内	
0	381	241	1	15	10,532	0	0	0	その他の列車内	
2	1,031	864	15	199	11,969	110	5,260	4	駅	
0	52	70	1	10	381	52	56	1	その他の鉄道施設	
0	7	2	0	0	27	0	0	0	航空機内	
0	25	10	0	5	520	7	4	1	空港	
0	3	8	0	1	419	0	0	0	船舶内	
0	20	51	3	12	1,819	46	119	34	海港	
0	50	33	3	4	273	0	0	0	バス内	
0	155	229	18	108	231	1	0	0	その他の交通機関	
0	111	98	2	17	89	0	0	0	タクシー内	
0	44	131	16	91	142	1	0	0	その他の自動車内	
0	66	71	5	37	808	6	23	5	その他の街頭	
0	43	34	4	32	635	2	13	1	地下街地下道路	
0	23	37	1	5	173	4	10	4	高速道路	
0	1,037	2,033	171	704	105,885	11,270	18,681	3,781	その他	

図表5 - 20 刑法犯の発生場所別認知件数（非侵入窃盗、

発生場所	罪種・手口								知能犯
	オートバイ盗	自転車盗	非侵入窃盗	うちひったくり	うちすり	うち車上ねらい	うち部品ねらい	うち自動販売機ねらい	
総数	126,717	444,268	1,061,257	39,399	19,198	328,921	112,161	112,965	99,258
住宅	28,975	58,204	98,649	124	0	27,844	13,430	5,700	33,065
一戸建住宅	13,073	24,708	48,846	0	0	17,607	5,163	2,383	22,957
共同住宅	15,902	33,496	49,803	124	0	10,237	8,267	3,317	10,108
共同住宅（4階建以上）	7,608	17,921	20,710	94	0	4,649	4,523	1,298	5,572
共同住宅（3階建以下）	8,294	15,575	29,093	30	0	5,588	3,744	2,019	4,536
事業所等	5,192	33,643	386,736	210	7,953	21,383	4,784	49,478	50,423
一般事務所	697	1,366	30,451	2	14	2,243	2,254	15,724	5,214
店舗	3,693	20,705	326,517	193	7,508	16,237	2,128	32,554	44,579
商店	2,330	15,568	241,743	149	4,441	8,787	1,518	26,193	14,363
デパート	236	2,397	36,582	32	1,922	357	56	205	1,148
コンビニエンスストア	350	1,865	19,352	7	67	1,400	114	1,421	1,502
ドラッグストア	34	357	10,902	9	52	437	14	676	231
ディスカウントストア	88	547	16,671	4	172	538	52	546	438
その他のスーパーマーケット	846	7,289	93,357	87	1,774	3,640	248	4,586	2,014
リサイクル店	88	664	3,532	2	18	410	27	173	377
貴金属店	6	24	533	0	1	34	14	19	124
古物店	17	86	1,582	0	6	66	91	61	173
給油所	49	43	3,618	0	0	177	63	485	2,605
その他の商店	616	2,296	55,614	8	429	1,728	839	18,021	5,751
サービス営業店	1,363	5,137	84,774	44	3,067	7,450	610	6,361	30,216
生活環境営業	1,182	3,902	63,682	39	2,563	6,474	476	3,771	9,545
一般ホテル・旅館	42	113	4,821	0	38	178	23	272	1,498
娯楽等公衆浴場	30	79	10,003	0	40	521	15	166	146
映画館劇場等	10	68	709	2	135	15	2	15	16
ばちこ屋・まあじゃん屋等	398	701	16,574	29	647	3,069	156	275	405
景品交換所	0	1	20	2	0	0	0	0	24
ゲームセンター	160	1,064	6,950	3	677	205	46	323	109
その他の風俗営業店	60	395	2,619	0	107	155	45	272	480
個室付浴場	0	2	68	0	0	1	2	6	7
モーテル・ラブホテル等	7	11	1,292	0	2	54	4	91	673
その他の店舗型風俗特殊営業店	6	28	502	0	13	17	6	88	66
深夜飲食店	67	176	4,889	1	312	327	18	122	1,686
その他の飲食店	402	1,264	15,235	2	592	1,932	159	2,141	4,435
金融機関等	74	217	7,590	4	67	209	66	679	20,526
質屋	0	0	101	1	2	1	0	4	61
貸金業	0	1	588	0	1	5	0	4	1,787
銀行	22	115	4,072	3	45	62	20	10	13,504
郵便局	4	46	1,198	0	12	32	5	22	3,052
信用金庫・組合	4	21	553	0	4	24	5	14	1,693
農(漁)業協同組合	44	34	1,078	0	3	85	36	625	429
公営競技場	14	50	684	0	257	18	5	25	42
競馬場	5	9	249	0	65	9	1	6	16
競輪場	6	35	201	0	93	5	1	10	17
オートレース場	1	4	35	0	14	2	2	5	0
競艇場	2	2	199	0	85	2	1	4	9
スポーツ・行楽施設	93	968	12,818	1	180	749	63	1,886	103
ゴルフ場	7	7	2,777	0	2	159	10	574	27
その他のスポーツ施設	82	940	8,497	1	90	567	52	1,122	58
遊園地動物園	4	21	1,544	0	88	23	1	190	18
学校(幼稚園)	567	10,736	10,955	5	53	2,025	257	874	185
病(医)院診療所	180	612	9,922	5	104	440	109	262	395
神社仏閣	55	224	8,891	5	274	438	36	64	50
街頭	88,578	341,493	499,938	38,718	10,181	273,116	90,615	36,981	11,674
道路上	28,052	103,496	139,745	38,178	1,861	55,241	9,515	17,962	6,968
駐車(輪)場	58,930	228,586	319,777	408	100	212,222	79,042	14,224	1,546
都市公園	260	2,020	6,429	47	107	1,418	101	775	53
空き地	933	2,377	10,653	5	3	3,781	1,355	3,450	43
公共交通機関等	400	4,999	22,325	56	7,971	397	590	541	1,863
地下鉄内	0	0	1,391	2	886	0	0	0	10
新幹線内	0	0	648	0	330	0	0	1	2
その他の列車内	0	0	10,532	4	5,066	0	0	2	33
駅	365	4,891	6,599	49	1,556	74	141	419	1,678
その他の鉄道施設	4	51	273	1	0	13	45	33	29
航空機内	0	0	27	0	1	0	0	0	3
空港	2	1	509	0	24	15	4	6	79
船舶内	0	0	419	0	2	7	50	1	1
海港	29	56	1,654	0	7	288	350	79	9
バス内	0	0	273	0	99	0	0	0	19
その他の交通機関	0	0	230	1	16	0	0	0	971
タクシー内	0	0	89	0	2	0	0	0	883
その他の自動車内	0	0	141	1	14	0	0	0	88
その他の街頭	3	15	779	23	123	57	12	29	230
地下街地下道路	1	11	620	22	114	5	2	13	34
高速道路	2	4	159	1	9	52	10	16	196
その他	3,972	10,928	75,934	347	1,064	6,578	3,332	20,806	4,096

知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成16年)

うち詐欺	風俗犯	うち強制わいせつ	その他の刑法犯	うち占有離脱物横断	うち公務執行妨害	うち住居侵入	うち略取・誘拐	うち器物損壊等	罪種・手口	
									発生場所	その他
83,015	12,346	9,184	379,909	101,869	3,129	37,857	320	226,059	総数	
32,122	2,657	2,299	81,491	3,341	201	23,730	28	52,554	住宅	
22,393	500	416	40,783	532	93	13,065	12	26,302	一戸建住宅	
9,729	2,157	1,883	40,708	2,809	108	10,665	16	26,252	共同住宅	
5,414	1,371	1,211	19,257	1,421	51	3,776	6	13,570	共同住宅(4階建以上)	
4,315	786	672	21,451	1,388	57	6,889	10	12,682	共同住宅(3階建以下)	
39,731	1,446	734	62,591	5,746	356	11,911	33	42,304	事務所等	
3,702	106	59	11,969	318	111	3,517	2	7,597	一般事務所	
35,539	1,100	470	34,299	4,118	205	5,127	25	23,444	店舗	
9,360	548	203	17,955	2,464	61	2,649	15	12,161	商店	
834	65	36	1,182	278	12	47	6	784	デパート	
792	74	18	2,245	610	21	60	1	1,482	コンビニエンスストア	
110	9	4	561	106	0	117	0	330	ドラッグストア	
274	11	4	561	105	1	91	1	342	ディスカウントストア	
1,218	105	72	4,220	956	9	487	6	2,570	その他のスーパーマーケット	
334	93	9	318	70	2	40	1	195	インタビデオ店	
95	0	0	70	3	0	10	0	56	貴金属店	
123	13	0	228	8	0	58	0	117	古物店	
2,499	6	2	978	60	7	237	0	654	給油所	
3,081	172	58	7,592	268	9	1,502	0	5,631	その他の商店	
26,179	552	267	16,344	1,654	144	2,478	10	11,283	サービス営業店	
8,322	516	244	13,195	1,201	123	2,137	10	9,151	生活環境営業	
1,415	53	49	478	55	5	84	0	295	一般ホテル・旅館	
121	37	34	245	43	0	42	0	146	サウナ等公衆浴場	
9	9	0	76	15	0	4	0	57	映画館劇場等	
190	26	12	2,751	510	8	291	0	1,849	ばちこ屋・まあじゃん屋等	
16	0	0	14	0	0	7	0	7	景品交換所	
48	48	11	837	205	1	36	0	569	ゲームセンター	
416	139	26	805	65	13	83	2	609	その他の風俗営業店	
5	0	0	11	1	0	0	0	7	個室付浴場	
642	29	27	275	8	4	20	1	219	モーテル・ラブホテル等	
39	36	1	119	9	1	13	0	89	その他の店舗型風俗特殊営業店	
1,620	37	35	1,892	42	46	306	3	1,427	深夜飲食店	
3,801	102	49	5,692	248	45	1,251	4	3,877	その他の飲食店	
17,763	6	0	1,684	240	17	149	0	1,153	金融機関等	
29	0	0	50	1	0	6	0	11	質屋	
1,160	0	0	188	6	1	21	0	153	貸金業	
12,168	0	0	601	152	6	5	0	373	銀行	
2,667	6	0	251	27	9	30	0	173	郵便局	
1,435	0	0	174	31	0	9	0	129	信用金庫・組合	
304	0	0	420	23	1	78	0	314	農(漁)業協同組合	
24	1	0	106	47	0	3	0	30	公営競技場	
11	0	0	21	9	0	1	0	9	競馬場	
8	0	0	43	25	0	0	0	5	競輪場	
0	0	0	7	2	0	0	0	4	オートレース場	
5	1	0	35	11	0	2	0	12	競艇場	
70	29	23	1,359	166	4	189	0	949	スポーツ・行楽施設	
19	1	1	203	9	0	59	0	124	ゴルフ場	
46	20	15	1,060	134	3	123	0	769	その他のスポーツ施設	
5	8	7	96	23	1	7	0	56	遊園地動物園	
131	100	79	12,838	1,004	12	2,431	5	9,142	学校(幼稚園)	
320	79	75	1,837	106	25	428	1	1,110	病(医)院診療所	
39	61	51	1,648	200	3	408	0	1,011	神社仏閣	
8,927	7,420	5,510	215,073	88,623	2,090	225	237	118,333	街頭	
5,323	4,986	3,722	83,252	55,158	1,692	1	183	22,691	道路上	
1,185	909	688	116,855	26,902	233	116	32	88,413	駐車(輪)場	
30	382	259	5,275	3,112	18	18	11	1,773	都市公園	
18	122	103	4,909	2,507	12	14	1	2,283	空き地	
1,556	915	647	4,394	906	95	73	8	2,964	公共交通機関等	
3	82	66	79	4	7	1	0	56	地下鉄内	
2	8	4	50	1	0	0	0	47	新幹線内	
21	560	431	369	63	2	0	0	291	その他の列車内	
1,471	190	100	2,935	720	72	51	3	1,980	駅	
24	33	18	505	72	6	7	1	276	その他の鉄道施設	
0	2	0	1	0	0	0	0	1	航空機内	
17	0	0	41	8	1	3	0	22	空港	
1	1	1	36	0	0	7	1	22	船舶内	
3	10	5	353	30	2	4	3	261	海港	
14	29	22	25	8	5	0	0	8	バス内	
739	84	76	178	8	31	0	1	58	その他の交通機関	
672	5	5	48	3	2	0	0	40	タクシー内	
67	79	71	130	5	29	0	1	18	その他の自動車内	
76	22	15	210	30	9	3	1	151	その他の街頭	
25	17	13	135	22	3	2	1	100	地下街地下道路	
51	5	2	75	8	6	1	0	51	高速道路	
2,235	823	641	20,754	4,159	482	1,991	22	12,868	その他	